

令和5年度

所沢市行政報告書

(決算に係る主要な施策の成果)

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定及び所沢市議会基本条例第15条第2項の規定に基づく求めにより、令和5年度会計年度における主要な施策の成果を説明する書類として、本資料を提出します。

令和6年8月26日

所沢市長 小野塚 勝 俊

# 目 次

一 般 会 計		1
秘書室		13
危機管理室		15
経営企画部		17
・ イタリア都市文化交流推進事業	企画総務課	20
・ 第6次所沢市総合計画・後期基本計画策定事業	経営企画課	20
・ eスポーツ啓発推進事業	経営企画課	21
・ U-29(ユニーク)な市民参加推進事業	経営企画課	21
・ 新所沢パルコ土地利用検討事業	経営企画課	22
・ 公民つながるプロジェクト推進事業	経営企画課	22
・ オレゴン州ポートランド市から学ぶ都市研究事業	経営企画課	23
・ 市民向けメール配信システム改修事業(LINE連携)	広報課	23
・ 業務改善プラットフォーム活用事業	デジタル戦略課	24
・ AI等技術推進事業	デジタル戦略課	24
・ 生成AI導入事業	デジタル戦略課	25
総務部		27
・ 文書管理システム導入事業	文書行政課	29
・ 財務会計システム更新事業(総務部所管分)	契約課	29
財務部		31
・ 財務会計システム更新事業(財務部所管分)	財政課	33
・ 市庁舎施設整備事業(トイレ改修設計業務委託)	管財課	33
・ 税系システム改修事業(定額減税対応分)	市民税課	34
・ 税系システム改修事業(市県民税特別徴収分納入済通知書の電子化)	収税課	34
市民部		35
・ 狭山ヶ丘コミュニティセンターLED化整備事業	地域づくり推進課	40
・ 新所沢コミュニティセンター吹抜け天井LED化整備事業	地域づくり推進課	40
・ 中富南コミュニティセンター空調設備改修事業	地域づくり推進課	41
・ 新所沢コミュニティセンター受水槽給水加圧ポンプ修繕事業	地域づくり推進課	41
・ 三ヶ島アートなベンチ設置事業	文化芸術振興課	42
・ 空飛ぶ音楽祭開催支援事業	文化芸術振興課	42
・ 所沢市民文化センター駐車場等外灯LED化整備事業	文化芸術振興課	43
・ 所沢市民文化センター光熱費等高騰対策支援事業	文化芸術振興課	43
・ マイナンバーカード交付事業	市民課	44
・ 所沢市斎場駐車場外灯LED化整備事業	市民課	44
・ 住民記録システム等改修事業(住民票等への振り仮名記載対応)	市民課	45
・ 所沢市斎場光熱費等高騰対策支援事業	市民課	45
・ 西所沢駅西口改札口開設事業	防犯交通安全課	46
・ 市営自転車駐車場照明灯LED化整備事業	防犯交通安全課	46
・ 新所沢駅西口自転車駐車場整備事業	防犯交通安全課	47
福祉部		49
・ 住民税非課税世帯価格高騰重点支援給付金支給事業	福祉総務課	53
・ 低所得世帯価格高騰重点支援給付金支給事業	福祉総務課	53
・ 生活困窮者自立促進支援事業	生活福祉課	54
・ 生活保護システム改修事業(令和5年度基準額等の見直し対応)	生活福祉課	54
・ 生活保護システム改修事業(被保護者調査調査項目追加等対応)	生活福祉課	55
・ 所沢市立障害者施設照明灯LED化整備事業	障害福祉課	55
・ 所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	障害福祉課	56

・福祉総合システム(障害福祉システム)改修事業(福祉部所管分)	障害福祉課	56
・老人憩の家とみおか荘空調等設備改修事業	高齢者支援課	57
・指定管理者の指定事業(老人福祉センターうしぬま荘、あづま荘)	高齢者支援課	57
<b>こども未来部</b>		<b>59</b>
・若者応援事業(16歳の未来へ)	こども政策課	64
・出産・子育て応援事業(経済的支援)	こども政策課	64
・こどもの居場所づくり応援事業	こども政策課	65
・子育て家庭応援事業	こども政策課	65
・低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	こども支援課	66
・福祉総合システム(障害福祉システム)改修事業(こども未来部所管分)	こども福祉課	66
・児童館ecoプロジェクト事業	青少年課	67
・放課後児童健全育成事業(民設民営児童クラブ)	青少年課	67
・保育園施設整備事業	保育幼稚園課	68
・保育園給食調理業務委託事業	保育幼稚園課	68
・保育施設等応援事業	保育幼稚園課	69
・送迎用バス安全装置設置補助事業	保育幼稚園課	69
・保育士奨学金返済支援事業	保育幼稚園課	70
・西所沢保育園空調設備改修事業	保育幼稚園課	70
・出産・子育て応援事業(伴走型相談支援)	こども家庭センター	71
・こども家庭センター開設準備事業(こども未来部所管分)	こども家庭センター	71
<b>健康推進部</b>		<b>73</b>
・保健事業と介護予防の一体的実施事業	国民健康保険課	75
・保健センター多目的ホールLED化事業	健康管理課	75
・精神障害者アウトリーチ支援事業	健康管理課	76
・情報システム標準化対応事業(健康管理システム分)	健康管理課	76
・こども家庭センター開設準備事業(健康推進部所管分)	健康管理課	77
・トコトコ健幸マイレージ事業	健康づくり支援課	77
<b>環境クリーン部</b>		<b>79</b>
・所沢市からはじめるマチごとゼロカーボン運動事業	マチごとエコタウン推進課	84
・0円太陽光推進補助事業	マチごとエコタウン推進課	84
・再生可能エネルギー普及推進事業	マチごとエコタウン推進課	85
・公共施設太陽光発電設備設置事業	マチごとエコタウン推進課	85
・生きものと子どもが出会う森づくり事業	みどり自然課	86
・里山保全地域等指定整備事業	みどり自然課	86
・みどりのエコスポット整備事業	みどり自然課	87
・ナラ枯れ被害木等伐採及び植樹補助事業	みどり自然課	87
・非プラスチック製容器等使用促進支援事業	資源循環推進課	88
・一般廃棄物処理施設検討事業	資源循環推進課	88
・第2一般廃棄物最終処分場整備に伴う周辺整備事業	資源循環推進課	89
・一般廃棄物減量化方策推進事業	資源循環推進課	89
・第2一般廃棄物最終処分場整備事業	資源循環推進課	90
・西部クリーンセンター長期包括運営業務委託に係る家庭ごみ等受入業務追加事業	西部クリーンセンター	90
・収集管理事務所等照明LED化整備事業	収集管理事務所	91
<b>産業経済部</b>		<b>93</b>
・企業誘致活動推進事業	産業振興課	95
・「まち」×「みどり」のおさんぽコース道標等整備事業	商業観光課	95
・にぎわいトコロ創出支援事業	商業観光課	96
・「所沢市観光情報・物産館」活用事業(COOL JAPAN FOREST構想事業)	商業観光課	96
・環境にやさしい農業推進事業	農業振興課	97

街づくり計画部			99
・	ところバスEV導入事業	都市計画課	102
・	魅力ある街なか空間創出推進事業	都市計画課	102
・	元町交差点改良事業	市街地整備課	103
・	出歩きストリート創出(歩行空間整備)事業	市街地整備課	103
・	脱マイカー・エコマチシェアリング促進事業	市街地整備課	104
・	市営住宅松郷団地施設整備事業	市街地整備課	104
・	土地利用転換推進事業	市街地整備課	105
・	日東地区まちづくり事業	市街地整備課	105
・	ファルマン通り交差点改良事業	市街地整備課	106
・	ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	市街地整備課	106
・	こぶし団地における一団地認定基準等検討事業	建築指導課	107
・	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業(1工区)	所沢駅西口区画整理事務所	107
・	所沢駅西口区画まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所	108
建設部			109
・	道路の環境配慮推進事業	道路建設課	113
・	県道所沢青梅線狭山湖入口交差点改良事業	道路建設課	113
・	市道4-1386号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路3工区)築造事業	道路建設課	114
・	所沢市総合治水対策事業(清柳橋改築事業)	道路建設課	114
・	北野下富線道路築造事業	道路建設課	115
・	所沢カルチャーパークを考える未来会議事業	公園課	115
・	北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	公園課	116
出納室			117
教育委員会			119
・	小学校施設整備事業	教育施設課	125
・	学校施設長寿命化改修事業(公共施設マネジメント推進事業の一環)	教育施設課	125
・	小中学校校舎照明LED化事業	教育施設課	126
・	中学校施設整備事業	教育施設課	126
・	学校施設太陽光発電設備設置事業	教育施設課	127
・	中学校校舎内部改修(木質化)事業	教育施設課	127
・	小中学校LED化整備事業	教育施設課	128
・	公民館施設整備事業	社会教育課	128
・	小手指公民館太陽光発電設備設置事業	社会教育課	129
・	富岡公民館屋上防水改修事業	社会教育課	129
・	イタリア選手団事前キャンプ受入れ事業(世界水泳2023福岡大会)	スポーツ振興課	130
・	所沢市民武道館太陽光発電設備設置及び屋根改修事業	スポーツ振興課	130
・	歴史的建造物整備活用事業	文化財保護課	131
・	埋蔵文化財調査センター空調設備改修事業(施工時期の平準化)	文化財保護課	131
・	第9期図書館電算システム再構築事業	所沢図書館	132
・	「南極・北極から地球の未来を考えてみよう」開催事業	所沢図書館	132
・	所沢図書館本館照明LED化整備事業	所沢図書館	133
・	「トコロん のびのび塾」算数基礎学力向上プロジェクト事業	学校教育課	133
・	「学び創造アクティブPLUS」学力向上推進事業	学校教育課	134
・	第1学校給食センター受水槽外改修事業	保健給食課	134
・	小中学校給食食材費補助事業	保健給食課	135
・	PPA方式による第2学校給食センター太陽光発電設備設置事業	保健給食課	135
・	小中学校給食費保護者負担軽減事業	保健給食課	136
・	ホームページ作成システム導入事業	教育センター	136
・	ICT支援員配置事業	教育センター	137
・	道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業	教育センター	137

議会事務局		139
選挙管理委員会事務局		141
監査事務局		143
農業委員会事務局		145
<b>特別会計</b>		<b>147</b>
交通災害共済特別会計		149
所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計		151
所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理特別会計		153
国民健康保険特別会計		155
・トコトコ健幸マイレージ事業	国民健康保険課	158
・特定保健指導業務委託事業	国民健康保険課	158
・税系システム改修事業(産前産後期間の保険税軽減措置)	国民健康保険課	159
介護保険特別会計		161
・介護保険システム改修事業(法改正対応等分)	介護保険課	164
後期高齢者医療特別会計		165
<b>(参考)事業会計</b>		<b>167</b>
水道事業会計		169
・上下水道局庁舎照明LED化整備事業	総務課	173
・インボイス制度の開始に伴う料金システム改修事業	窓口サービス課	173
・水道管整備事業	水道建設課	174
・浄水場整備事業(耐震補強工事)	給水管理課	174
・浄水場整備事業(西部浄水場更新工事)	給水管理課	175
下水道事業会計		177
・下水道事業経営計画改定事業	経営課	181
・雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業	下水道整備課	181
・雨天時浸入水対策事業	窓口サービス課・ 下水道整備課・ 下水道維持課	182
・下水道管渠布設事業	下水道整備課	182
・下水道地震対策事業	下水道整備課	183
病院事業会計		185
・所沢市市民医療センター再整備基本計画・経営強化プラン策定事業	市民医療センター	189

※水道事業会計、下水道事業会計及び病院事業会計は、地方公営企業法を適用していることから、参考として掲載するものです。

# 一 般 会 計



## 令和5年度所沢市一般会計補正状況一覧表

単位:千円

区 分	議決(承認)年月日	当初予算額及び 補正前の額	補 正 額	計
当 初 予 算 令和5年第1回定例会	令和5年3月16日	114,830,000	—	114,830,000
補正予算第1号 令和5年第1回定例会	令和5年3月23日	114,830,000	△ 1,428,796	113,401,204
補正予算第2号 令和5年第2回臨時会	令和5年5月17日	113,401,204	1,720,395	115,121,599
補正予算第3号 令和5年第2回定例会	令和5年6月16日	115,121,599	1,520,839	116,642,438
補正予算第4号 令和5年第3回定例会	令和5年9月14日	116,642,438	217,967	116,860,405
補正予算第5号 令和5年第3回定例会	令和5年9月27日	116,642,438	0	116,642,438
補正予算第6号 令和5年第4回定例会	令和5年12月14日	116,860,405	10,093,229	126,953,634
補正予算第7号 令和5年第4回定例会	令和5年12月21日	126,953,634	2,493,631	129,447,265
補正予算第8号 令和6年第1回臨時会	令和6年2月15日	129,447,265	803,362	130,250,627
補正予算第9号 令和6年第1回定例会	令和6年3月14日	130,250,627	324,458	130,575,085
補正予算第10号 令和6年第1回定例会	令和6年3月26日	130,575,085	1,543,480	132,118,565
合 計		—	17,288,565	132,118,565

# 令和5年度所沢市一般会計歳入歳出決算表

## (1) 歳入

区 分 款 別	当初予算額	補正予算額	前 年 度 か ら の 繰 越 額	予算現額	収入済額	予算現額に 対 する 増 減	予算現額に 対 する 収入比率
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%
1 市税	54,428,999	0	0	54,428,999	55,598,917	1,169,918	102.1
2 地方譲与税	601,000	0	0	601,000	622,244	21,244	103.5
3 利子割交付金	18,000	0	0	18,000	19,722	1,722	109.6
4 配当割交付金	590,000	0	0	590,000	360,469	△ 229,531	61.1
5 株式等譲渡所得割交付金	309,000	0	0	309,000	419,287	110,287	135.7
6 法人事業税交付金	524,000	0	0	524,000	530,946	6,946	101.3
7 地方消費税交付金	8,199,000	0	0	8,199,000	7,684,464	△ 514,536	93.7
8 ゴルフ場利用税交付金	24,000	0	0	24,000	22,734	△ 1,266	94.7
9 環境性能割交付金	66,000	0	0	66,000	116,788	50,788	177.0
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金等	446,600	0	0	446,600	447,695	1,095	100.2
11 地方特例交付金	387,001	4,538	0	391,539	379,934	△ 11,605	97.0
12 地方交付税	2,220,000	637,821	0	2,857,821	3,042,045	184,224	106.4
13 交通安全対策特別交付金	36,000	0	0	36,000	30,505	△ 5,495	84.7
14 分担金及び負担金	617,822	0	168	617,990	618,906	916	100.1
15 使用料及び手数料	1,402,741	0	0	1,402,741	1,346,403	△ 56,338	96.0
16 国庫支出金	21,551,813	5,439,293	785,503	27,776,609	25,997,350	△ 1,779,259	93.6
17 県支出金	7,880,607	189,603	89,003	8,159,213	7,690,702	△ 468,511	94.3
18 財産収入	191,284	7,411	0	198,695	212,426	13,731	106.9
19 寄附金	11	11,367	0	11,378	24,473	13,095	215.1
20 繰入金	6,240,096	1,659,485	0	7,899,581	7,852,783	△ 46,798	99.4
21 繰越金	1,000,000	8,996,235	288,079	10,284,314	10,284,314	0	100.0
22 諸収入	1,196,726	417,019	0	1,613,745	1,680,307	66,562	104.1
23 市債	6,899,300	△ 74,207	1,333,900	8,158,993	5,650,756	△ 2,508,237	69.3
<b>歳 入 合 計</b>	<b>114,830,000</b>	<b>17,288,565</b>	<b>2,496,653</b>	<b>134,615,218</b>	<b>130,634,170</b>	<b>△ 3,981,048</b>	<b>97.0</b>

## (2) 歳 出

区 分 款 別	当初予算額	補正予算額	前 年 度 か ら の 繰 越 額	予 備 費 充 用 額	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度への 繰 越 額	不 用 額	予算現額に 対 する 支 出 比 率
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%
1 議会費	600,330	13,957	0	0	614,287	579,074	0	35,213	94.3
2 総務費	9,805,785	7,212,771	0	1,082	17,019,638	16,440,094	88,805	490,739	96.6
3 民生費	53,661,459	8,308,674	513,716	0	62,483,849	58,478,150	1,055,618	2,950,081	93.6
4 衛生費	12,297,954	1,813,224	192,605	0	14,303,783	12,762,828	54,212	1,486,743	89.2
5 労働費	103,011	65	0	0	103,076	98,312	0	4,764	95.4
6 農林水産業費	253,294	△ 1,815	0	0	251,479	234,230	0	17,249	93.1
7 商工費	665,608	473	0	0	666,081	630,073	0	36,008	94.6
8 土木費	10,846,942	△ 35,153	223,031	0	11,034,820	9,411,028	1,267,927	355,865	85.3
9 消防費	4,146,742	△ 1,358	0	0	4,145,384	4,116,206	0	29,178	99.3
10 教育費	14,937,375	31,294	1,567,301	0	16,535,970	13,617,598	1,866,456	1,051,916	82.4
11 災害復旧費	4	0	0	0	4	0	0	4	0.0
12 公債費	7,441,496	△ 53,567	0	0	7,387,929	7,381,482	0	6,447	99.9
13 予備費	70,000	0	0	△ 1,082	68,918	0	0	68,918	0.0
<b>歳 出 合 計</b>	<b>114,830,000</b>	<b>17,288,565</b>	<b>2,496,653</b>	<b>0</b>	<b>134,615,218</b>	<b>123,749,075</b>	<b>4,333,018</b>	<b>6,533,125</b>	<b>91.9</b>

## (3) 性質別決算額

区 分	決 算 額	特 定 財 源			一 般 財 源	決 算 額 構 成 比
		国県支出金	地 方 債	そ の 他		
	千円	千円	千円	千円	千円	%
1 人件費	18,287,657	849,659	0	392,955	17,045,043	14.8
2 物件費	17,855,228	2,629,676	25,400	1,660,376	13,539,776	14.4
3 維持補修費	896,822	2,026	0	31,585	863,211	0.7
4 扶助費	35,120,804	22,316,061	0	149,515	12,655,228	28.4
5 補助費等	16,808,885	1,209,519	0	634,358	14,965,008	13.6
6 普通建設事業費	10,952,798	1,181,389	4,995,900	1,284,731	3,490,778	8.9
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0.0
8 公債費	7,381,482	0	0	8	7,381,474	6.0
9 積立金	7,492,582	0	0	32,736	7,459,846	6.1
10 投資及び出資金	0	0	0	0	0	0.0
11 貸付金	0	0	0	0	0	0.0
12 繰出金	8,952,817	1,689,337	0	13,112	7,250,368	7.1
歳 出 合 計	123,749,075	29,877,667	5,021,300	4,199,376	84,650,732	100.0

# 所沢市一般会計決算前年度比較

## (1) 歳入

款 別	令和5年度		令和4年度		比較増減	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 市税	55,598,917	42.6	54,972,793	43.4	626,124	1.1
2 地方譲与税	622,244	0.5	613,662	0.5	8,582	1.4
3 利子割交付金	19,722	0.0	22,014	0.0	△ 2,292	△ 10.4
4 配当割交付金	360,469	0.3	316,968	0.2	43,501	13.7
5 株式等譲渡所得割交付金	419,287	0.3	246,759	0.2	172,528	69.9
6 法人事業税交付金	530,946	0.4	510,595	0.4	20,351	4.0
7 地方消費税交付金	7,684,464	5.9	7,727,613	6.1	△ 43,149	△ 0.6
8 ゴルフ場利用税交付金	22,734	0.0	23,831	0.0	△ 1,097	△ 4.6
9 環境性能割交付金	116,788	0.1	103,303	0.1	13,485	13.1
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金等	447,695	0.3	454,783	0.4	△ 7,088	△ 1.6
11 地方特例交付金	379,934	0.3	407,550	0.3	△ 27,616	△ 6.8
12 地方交付税	3,042,045	2.3	3,048,138	2.4	△ 6,093	△ 0.2
13 交通安全対策特別交付金	30,505	0.0	33,586	0.0	△ 3,081	△ 9.2
14 分担金及び負担金	618,906	0.5	595,527	0.5	23,379	3.9
15 使用料及び手数料	1,346,403	1.0	1,364,997	1.1	△ 18,594	△ 1.4
16 国庫支出金	25,997,350	19.9	28,523,112	22.5	△ 2,525,762	△ 8.9
17 県支出金	7,690,702	5.9	7,595,462	6.0	95,240	1.3
18 財産収入	212,426	0.2	188,487	0.1	23,939	12.7
19 寄附金	24,473	0.0	23,541	0.0	932	4.0
20 繰入金	7,852,783	6.0	6,060,677	4.8	1,792,106	29.6
21 繰越金	10,284,314	7.9	7,929,557	6.3	2,354,757	29.7
22 諸収入	1,680,307	1.3	1,834,129	1.4	△ 153,822	△ 8.4
23 市債	5,650,756	4.3	4,126,219	3.3	1,524,537	36.9
<b>歳入合計</b>	<b>130,634,170</b>	<b>100.0</b>	<b>126,723,303</b>	<b>100.0</b>	<b>3,910,867</b>	<b>3.1</b>

## (2) 歳出

区 分 款 別	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較 増 減	増 減 率
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 議会費	579,074	0.5	557,428	0.5	21,646	3.9
2 総務費	16,440,094	13.3	15,053,196	12.9	1,386,898	9.2
3 民生費	58,478,150	47.3	55,131,855	47.4	3,346,295	6.1
4 衛生費	12,762,828	10.3	12,447,125	10.7	315,703	2.5
5 労働費	98,312	0.1	84,699	0.1	13,613	16.1
6 農林水産業費	234,230	0.2	263,324	0.2	△ 29,094	△ 11.0
7 商工費	630,073	0.5	717,198	0.6	△ 87,125	△ 12.1
8 土木費	9,411,028	7.6	9,822,302	8.4	△ 411,274	△ 4.2
9 消防費	4,116,206	3.3	4,099,524	3.5	16,682	0.4
10 教育費	13,617,598	10.9	10,777,006	9.3	2,840,592	26.4
11 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	-
12 公債費	7,381,482	6.0	7,485,332	6.4	△ 103,850	△ 1.4
13 予備費	0	0.0	0	0.0	0	-
<b>歳出合計</b>	<b>123,749,075</b>	<b>100.0</b>	<b>116,438,989</b>	<b>100.0</b>	<b>7,310,086</b>	<b>6.3</b>

## (3) 性質別決算額

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較 増 減	増 減 率
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 人件費	18,287,657	14.8	17,854,720	15.3	432,937	2.4
2 物件費	17,855,228	14.4	19,396,697	16.7	△ 1,541,469	△ 7.9
3 維持補修費	896,822	0.7	1,290,051	1.1	△ 393,229	△ 30.5
4 扶助費	35,120,804	28.4	33,310,487	28.6	1,810,317	5.4
5 補助費等	16,808,885	13.6	16,190,934	13.9	617,951	3.8
6 普通建設事業費	10,952,798	8.9	7,334,000	6.3	3,618,798	49.3
7 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	-
8 公債費	7,381,482	6.0	7,485,332	6.4	△ 103,850	△ 1.4
9 積立金	7,492,582	6.1	6,153,773	5.3	1,338,809	21.8
10 投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	-
11 貸付金	0	0.0	0	0.0	0	-
12 繰出金	8,952,817	7.1	7,422,995	6.4	1,529,822	20.6
<b>歳 出 合 計</b>	<b>123,749,075</b>	<b>100.0</b>	<b>116,438,989</b>	<b>100.0</b>	<b>7,310,086</b>	<b>6.3</b>



## 一 般 会 計

---

- (1) 令和 5 年度一般会計当初予算は、1,148 億 3,000 万円を計上し、その後の補正予算において 172 億 8,856 万 5 千円の増額を行い、最終予算額は、1,321 億 1,856 万 5 千円となった。

補正予算の主な内容としては、住民税非課税世帯価格高騰重点支援給付金支給事業、低所得世帯価格高騰重点支援給付金支給事業などが挙げられる。

なお、前年度からの繰越額を加えた予算現額については、1,346 億 1,521 万 8 千円となった。

- (2) 令和 5 年度一般会計決算は、収入済額が 1,306 億 3,417 万円となり、前年度比 3.1%、39 億 1,086 万 7 千円の増となった。

歳入の主なものは、市税 555 億 9,891 万 7 千円（構成比 42.6%）、国庫支出金 259 億 9,735 万円（構成比 19.9%）などで、予算現額に対する収入割合は 97.0%となった。

このうち、市税収入は、前年度比 1.1%、6 億 2,612 万 4 千円の増となった。

次に、国庫支出金は、前年度比△8.9%、25 億 2,576 万 2 千円の減となった。主な要因としては、前年度にあった新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金の減が挙げられる。

一方、支出済額は、1,237 億 4,907 万 5 千円、前年度比 6.3%、73 億 1,008 万 6 千円の増となった。

目的別の歳出の主なものは、民生費 584 億 7,815 万円（構成比 47.3%）、総務費 164 億 4,009 万 4 千円（構成比 13.3%）、教育費 136 億 1,759 万 8 千円（構成比 10.9%）等で執行率は 91.9%となった。

なお、令和 5 年度も前年度と同様、民生費が歳出の最も多くを占めており、前年度比 6.1%、33 億 4,629 万 5 千円の増となった。これは、住民税非課税世帯価格高騰重点支援給付金の増などによるものである。

総務費では、前年度比 9.2%、13 億 8,689 万 8 千円の増となった。

これは、中富南コミュニティセンター空調設備改修工事費などの増によるものである。

教育費では、前年度比 26.4%、28 億 4,059 万 2 千円の増となった。主な要因としては、第 2 学校給食センター建設工事費の増が挙げられる。

参考として、性質別の歳出は扶助費 351 億 2,080 万 4 千円（構成比 28.4%）、人件費 182 億 8,765 万 7 千円（構成比 14.8%）、物件費 178 億 5,522 万 8 千円（構成比 14.4%）等となった。

この結果、令和 5 年度の純剰余金は、歳入歳出差引額 68 億 8,509 万 5 千円から、翌年度への繰越財源 9 億 8,681 万 3 千円を差し引いた 58 億 9,828 万 2 千円となった。

- (3) 経常収支比率は前年度と比較し、2.5 ポイント増加し 95.2%に、財政力指数は前年度と比較し、0.010 ポイント減少し 0.939 となった。

- (1) 市長及び副市長の業務の円滑な遂行のために、通年で秘書業務を行った。
  - ① 交際費の支出について、引き続き適正な執行と支出の節減に努めるとともに、市ホームページに交際費の支出状況を掲載した。
  - ② 市長の行事記録について市ホームページに掲載したり、市長メッセージを随時更新したりするなど、情報の積極的な公開を図った。
- (2) 栄典事務について、所沢市表彰のほか、春秋叙勲及び紺綬褒章並びに埼玉県表彰等、国や県の表彰に関する事務を行った。
  - ① 所沢市表彰式は、令和5年11月12日に市役所大会議室にて開催し、市勢振興への貢献に対する感謝の意を表すものとして、功績の顕著であった功労表彰51人、善行表彰16組の表彰を行った。
  - ② 叙勲候補者の内申や春秋叙勲潜在候補者の調査、埼玉県表彰候補者の推薦等を適切に執行した。
- (3) 「所沢市新春のつどい」について、令和6年1月16日にくすのきホールにて、4年ぶりに飲食を伴う形式で開催した（参加者718人）。また、市長挨拶を市ホームページに掲載した。



## 危 機 管 理 室

---

- (1) 防災情報発信のデジタル化及び多言語化を図るため、カタログポケット（アプリ）を導入し、防災ガイド・避難所マップやハザードマップなどを掲載した。
- (2) 所沢市総合防災訓練について、災害対策本部訓練、災害対策支部設置訓練、指定緊急避難場所参集訓練、各地区自主防災活動訓練（市内 11 地区 39 会場）を令和 5 年 9 月 2 日（土）に実施し、計 36,355 人が参加した。
- (3) 災害時、臨時災害 FM 放送として FM77.1MHz が使用できるようになったことから、総合防災訓練時に、放送局開設訓練及び放送受信訓練を行った。
- (4) 避難行動要支援者支援事業として、令和 5 年度の要件に新たに該当する方へ個人情報の提供に関する同意の確認を行い、同意した方の名簿を避難支援等関係者へ配布した。また、要件に該当するすべての方に、再度、同意の確認を行った。
- (5) 防災倉庫等整備・管理事業として、柳瀬小学校の防災備蓄倉庫を更新した。
- (6) 消防団第 4 分団詰所借地取得事業として、用地の取得を行った。



## 経 営 企 画 部

---

### 1 企画総務課

- (1) 平和推進事業については、平和の語り部を小学校等へ派遣し講演を行ったほか、市役所及び山口まちづくりセンターにおいて平和祈念資料展を開催した。また、平和大使と共に、広島平和記念式典に参加した。
- (2) 男女共同参画事業については、DV 被害者支援の総合窓口である配偶者暴力相談支援センター事業を実施し、被害者への支援を行った。
- (3) 男女共同参画推進センターふらっとについては、各種講座や相談事業、ふらっと祭り、女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボンキャンペーン）、みんなの子育てフォトコンテスト等を実施した。  
また、デート DV と LGBTQ 等についての啓発パンフレットや男女共同参画情報誌「SUN」の発行を行った。
- (4) 人権啓発推進事業については、「性の多様性」、「部落差別」、「インターネットと人権」等の各テーマについて、市職員及び企業向け研修会を開催した。
- (5) 国際交流事業については、4 年ぶりの実施となったアメリカ合衆国・ディケイター市への高校生 6 人の派遣に加え、韓国・安養市との姉妹都市締結 25 周年を記念する事業として、代表訪問団を派遣し、姉妹都市との交流を深めた。
- (6) 基地対策事業については、東西連絡道路用地に続く新たな返還の実現に向け、所沢市基地対策協議会で協議を行った。

### 2 経営企画課

- (1) 第 6 次所沢市総合計画・後期基本計画策定事業については、所沢市総合計画審議会、市民検討会議と職員プロジェクトチームの委員で構成する「絆」ミーティング、庁内策定委員会等において検討を行い、計画の素案を作成した。

- (2) 公共施設マネジメントについては、長寿命化改修の検討、各施設の日常点検、公共施設マネジメントシステムを用いた情報管理等を実施し、所沢市公共施設長寿命化計画の推進を図った。
- (3) マイナンバーカードの普及を図るため、国が実施するマイナポイント事業については、本庁舎高層棟 8 階ロビーの特設窓口にて、マイナポイント第 2 弾が終了する 9 月末まで、自身での申込手続きが困難な市民のための支援を行った。
- (4) 行政改革関連事業については、所沢市行政経営のための職員行動ガイドラインに基づく推進体制として、次長級職員で構成する事務改善委員会を旗振り役とし、「一人一改善」、「職員提案」等の取組を実施した。あわせて、取り組まれた改革改善事例を広く職員に周知するため、「有言実行発表会」を開催するとともに、各業務における改善を促進するため、各種情報や課題を集約しチームで共有するアプリを開発し、一部所属での試行を始めた。
- (5) 地方創生の取組については、市政への e スポーツの活用可能性を検討することを目的とした e スポーツ啓発推進事業として、事業者向け所沢 e スポーツサミット、職員向け講習会、市民向け親子大会を開催した。
- (6) 市民参加の取組については、市長と職員が直接市政を伝える場として、「市の仕事報告会」を開催した。また、全国的な課題である若者の市民参加を促すため、18 歳から 28 歳の若者を対象に、ユニークな意見出しを目的とした U-29（ユニーク）な市民参加推進事業を実施したところ、想定を上回る応募があり、若い世代の意見を直接聞く貴重な機会となった。

また、海外先進都市からまちづくりを学び、職員の知見を高めるオレゴン州ポートランド市から学ぶ都市研究事業として、8 人の職員がアメリカ合衆国ポートランド市への視察研究を実施した。

- (7) 公民連携については、これまで以上に効果的・効率的に連携を進めるため、公民連携プラットフォームを開始した。市の課題を市ホームページに掲載し、民間企業や大学等からの提案を募集し、所管

部署と提案者とのマッチングに向けた取組を行った。あわせて、公民連携ガイドラインを作成し、庁内はもとより対外的にも共通の認識のもと公民連携が進むよう、環境の整備を図った。

- (8) 中核市移行に向けた取組については、プロジェクトチームを含め庁内体制を整備し、移譲事務調査等を行った。

### 3 広報課

- (1) 広報紙発行事業については、市民カメラマンの協力も得て親しみのある紙面の作成に努めた。全戸配布により、広く市民へ情報提供を行った。

- (2) 市ホームページについては、アクセス分析ツールの入替え作業を行うとともに、安定的な運用の維持に努めた。

また、所沢市公式 LINE アカウントとほっとメールの自動連携や、広報課 Instagram の開設により、情報発信の強化を行った。

アクセシビリティの点では、公式 YouTube 掲載の動画には、手話や字幕を表示し、聴覚に障害のある方でも動画の内容が分かる取組を進めた。

### 4 デジタル戦略課

- (1) DX については、専門知識が不要で簡単に業務アプリが作成できる「業務改善プラットフォーム」、オンライン上で住宅地図を確認できる「住宅地図 for Web」、文書作成事務の効率化を図る「生成 AI」の 3 つを新たに整備した。

- (2) 情報セキュリティについては、兵庫県尼崎市における情報流出事件を受け、情報セキュリティ監査の対象を従来の基幹システム所管課から全所属に広げ、計画的に実施することとした。

また、情報セキュリティ研修の対象を会計年度任用職員を含めた全職員に広げるとともに、抜き打ちで実際の攻撃メールに近い内容を送信し、その対応を確認する標的型攻撃メール訓練を新たに実施し、全庁的なセキュリティ意識の向上に努めた。

事務事業名 イタリア都市文化交流推進事業	予算現額	3,111,000円
	決算額	50,982円
所 管 経営企画部企画総務課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 6 説明 08 国際交流費	不用額	3,060,018円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.14)	前年度決算額	2,480,192円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>航空にゆかりのあるイタリア共和国ヴェネト州ティエーネ市と都市文化交流を進めることにより、本市における国際理解や多文化共生の推進を図っていくものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○ティエーネ市代表訪問団の受入れ（延期）</p> <p>ティエーネ市長をはじめとする代表訪問団を受け入れる予定であったが、先方の都合により延期となった。次の機会に向け、先方と連絡を取り、調整を進めている。</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの絵による交流 所沢市国際交流フォーラムにおいて、ティエーネ市の子どもの絵5点を市民ホールに展示した。</li> <li>・特産品による経済交流 市職員等にティエーネ市産のブドウを使ったワイン423本を販売した。</li> <li>・ティエーネ市民の受入れ 3月10日、ティエーネ市民2人を受け入れ、国際交流フォーラムや所沢航空発祥記念館を案内した。</li> </ul>		
		
		ティエーネ市の子どもの絵

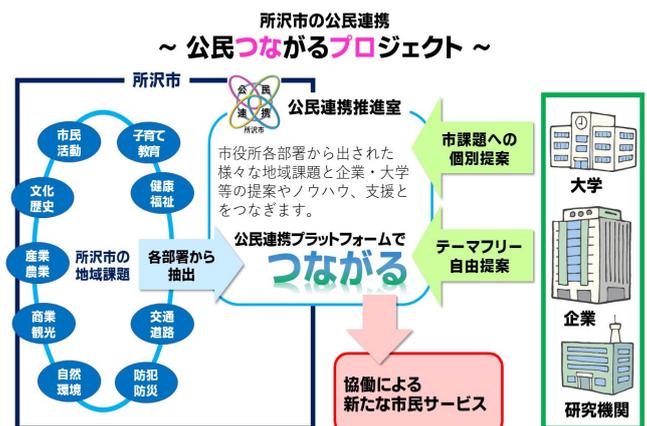
事務事業名 第6次所沢市総合計画・後期基本計画策定事業	予算現額	8,295,000円
	決算額	6,972,622円
所 管 経営企画部経営企画課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 6 説明 01 市政計画事務費	不用額	1,322,378円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.15)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、現行の第6次所沢市総合計画・前期基本計画の計画期間が令和6年度をもって終了することから、令和7年度から令和10年度までの4年間を計画期間とする後期基本計画を新たに策定するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢市総合計画審議会（会議4回）</li> <li>・第6次所沢市総合計画後期基本計画策定委員会（会議4回）</li> <li>・第6次所沢市総合計画後期基本計画職員プロジェクトチーム（会議4回）</li> <li>・「絆」ミーティング（市民検討会議・職員プロジェクトチーム合同会議）（会議4回）</li> </ul> <p>○第6次所沢市総合計画後期基本計画策定支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（5者）</li> <li>・委 託 先：株式会社地域計画連合</li> <li>・委託期間：令和5年4月17日～令和6年3月31日</li> <li>・委託金額：4,158,000円</li> <li>・内 容：「絆」ミーティングの運営支援等</li> </ul>		
		
		「絆」ミーティングの様子

事務事業名 eスポーツ啓発推進事業	予算現額	1,429,000円
	決算額	1,379,900円
所管 経営企画部経営企画課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 6 説明 01 市政計画事務費	不用額	49,100円
事業概要 (R5-1 議案第9~18号 P.16)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;  近年、全国的に急速な広がりを見せているeスポーツについて市施策への活用を図るとともに、その周知啓発を行っていくものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○「ぷよぷよeスポーツファミリーカップ」業務委託 ○職員向けeスポーツ講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社セガ</li> <li>・委託期間：令和5年6月12日~8月31日</li> <li>・委託金額：969,100円</li> <li>・内 容：市内在住小学生とその家族を対象に、親子が絆を深めながら新たな地域間交流の創出を図るため、eスポーツ親子大会を実施</li> <li>・開 催 日：令和5年8月16日</li> <li>・参 加 者：親子47組(94人)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開 催 日：令和5年8月14日</li> <li>・参 加 者：市職員48人</li> <li>・講 師：東京都eスポーツ連合会会長 笥 誠一郎 氏</li> <li>・テ ー マ：所沢市におけるeスポーツ地方創生の活用可能性について</li> </ul>		
		
「ぷよぷよeスポーツファミリーカップ」の様子		

事務事業名 U-29（ユニーク）な市民参加推進事業	予算現額	293,000円
	決算額	171,567円
所管 経営企画部経営企画課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 6 説明 01 市政計画事務費	不用額	121,433円
事業概要 (R5-1 議案第9~18号 P.17)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;  所沢市自治基本条例及び所沢市市民参加を進めるための条例に基づき、本市では市民参加を積極的に進めている。若者の市民参加は全国的な課題となっており、本市においても同様であることから、若者の市民参加を促すため18歳から29歳の若者を対象に、ユニークな意見出しを目的として、本事業を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>参加者40人（公募24人、早稲田大学人間科学学術院学生9人、市職員7人）</p> <p>○グループワーク「主演：U-29な所沢人」</p> <p>※住み続けたいまちを作るのは参加者自身（U-29な所沢人）であることを、参加者が自分事として認識できるように「主演」という表現を用いたグループワーク名とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 7月20日開催 参加者 33人 「住み続けたいまち」</li> <li>・第2回 8月3日開催 参加者 25人 「若者の市民参加・アクションプラン」</li> </ul> <p>○U-29な市長面会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：8月28日</li> <li>・内 容：市長メッセージ、意見交換、グループワークの結果報告</li> <li>・参加者：11人</li> </ul>		
		
グループワークの様子		

事務事業名 新所沢パルコ土地利用検討事業	予算現額	100,000 円
	決算額	0 円
所 管 経営企画部経営企画課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 6 説明 02 行政管理費	不用額	100,000 円
事業概要 (R5-1 議案第 9~18 号 P.18)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>令和 6 年 2 月 29 日に閉店を迎えた新所沢パルコの土地利用の検討に当たり、市として新所沢地区の活性化につながる取組とするため、事業者と調整を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>新所沢パルコ跡地の利活用について、市を含めた地権者で構成される新所沢パルコ将来計画検討会において、市民からの要望を踏まえ協議を進めた。なお、協議については同検討会において実施しているため、有識者からの意見聴取までには至らなかった。</p>		

事務事業名 公民つながるプロジェクト推進事業	予算現額	813,000 円
	決算額	348,640 円
所 管 経営企画部経営企画課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 6 説明 02 行政管理費	不用額	464,360 円
事業概要 (R5-1 議案第 9~18 号 P.19)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>第 2 期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、将来的に目指すまちの姿として「魅力にあふれ、活力ある経済活動の中で安心して暮らせるまち」を掲げ、公民連携の重要性を謳っている。こうした中、近年、社会的に企業の CSR（社会貢献）活動が注目され、多くの民間事業者が地域貢献に積極的に取り組んでいる。</p> <p>本事業は、こうした風潮を好機ととらえ、公共で行う様々な事業に民間事業者からの支援をより効果的かつ効率的につなぐことを目的とするものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公民連携プラットフォームの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内各部署からの課題登録：15 件</li> <li>・ 民間企業からの個別提案：5 件（うちマッチング 2 件）</li> <li>・ 民間企業からの自由提案：10 件（うちマッチング 3 件）</li> </ul> </li> <li>○企業版ふるさと納税の募集 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄附企業数：5 者</li> <li>・ 寄附受入額：2,700,000 円</li> </ul> </li> </ul>		



事務事業名 オレゴン州ポートランド市から学ぶ都市研究事業	予算現額	4,734,000円
	決算額	4,703,970円
所管 経営企画部経営企画課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 6 説明 02 行政管理費	不用額	30,030円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.20)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>急速にグローバル化が進む中、海外の様々な文化や考え方からなるまちづくりを学び、職員の知見を高め、未来のまちづくりに活かしていくため、海外先進都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市の研究及び視察を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○都市研究視察の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間：令和6年3月11日～3月16日（4泊6日）</li> <li>・研究員：8人（公募及び書類・面接審査を経て決定）</li> <li>・内容：有識者からの研修会や本市の現状に係る担当次長による勉強会、研究員同士による研究・グループワーク等を通じて、ポートランド市の文化や歴史、特徴、実施事業とその効果、本市との比較とその課題を整理した上で、各研究員が都市構造や環境、公共交通、市民参加等の分野について現地視察を行った。</li> </ul> <p>○オレゴン州ポートランド市から学ぶ都市研究支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契約先：近畿日本ツーリスト株式会社</li> <li>・契約期間：令和6年1月30日～3月31日</li> <li>・契約金額：724,000円</li> <li>・内容：視察に伴う移動手段及びアシスタントの手配等</li> </ul>		

事務事業名 市民向けメール配信システム改修事業（LINE連携）	予算現額	2,794,000円
	決算額	2,794,000円
所管 経営企画部広報課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 2 説明 01 広報事務費	不用額	0円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.22)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、幅広い世代で利用されている所沢市公式LINEアカウントを市政情報の発信に活用するため、市民向けメール配信システムを改修し、LINEでも情報を受け取れるようにするものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>LINE連携開始から年度末までに6,696人がLINEで受信設定を行った。</p> <p>○メール配信システム改修委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：株式会社エレクトリック・マテリアル</li> <li>・委託期間：令和5年4月19日～7月31日</li> <li>・委託金額：1,562,000円</li> <li>・内容：メール配信システムとLINEとの連携、配信を希望するカテゴリの選択、登録するためのページ作成</li> </ul> <p>○メール配信システム（ASPサービス）利用契約（LINE連携該当部分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契約先：株式会社エレクトリック・マテリアル</li> <li>・契約期間：令和5年6月1日～令和6年3月31日</li> <li>・契約金額：1,232,000円</li> <li>・内容：ところざわほっとメールの配信内容のLINEでの配信</li> </ul>		

事務事業名 業務改善プラットフォーム活用事業	予算現額	4,278,000円
	決算額	3,587,100円
所管 経営企画部デジタル戦略課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 1 説明 08 情報化推進費	不用額	690,900円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.23)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>専門知識が不要で簡単に業務アプリを作成できるクラウド型業務改善プラットフォームを活用することで、業務効率化を進め、企画立案等の業務に集中できる体制の推進を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和5年6月から全庁での活用を開始し、定着のため、6月23日・27日、12月22日の3回、操作研修を実施したほか、ガイドライン・マニュアルの作成、伴走支援を展開した。141個のアプリが運用に至り、業務効率化が進んだ。</p> <p>○業務改善プラットフォーム操作研修委託（1回目／2回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（3者）／随意契約</li> <li>・委託先：リコージャパン株式会社 マーケティング本部 埼玉支社 公共文教営業部</li> <li>・委託期間：令和5年5月25日～令和6年3月31日／令和5年11月24日～12月22日</li> <li>・委託金額：402,160円／201,080円</li> </ul> <p>○業務改善プラットフォーム使用契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（5者）</li> <li>・契約先：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社</li> <li>・契約期間：令和5年4月19日～令和6年3月31日</li> <li>・契約金額：2,983,860円</li> </ul>		

事務事業名 AI等技術推進事業	予算現額	9,098,000円
	決算額	8,870,400円
所管 経営企画部デジタル戦略課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 1 説明 08 情報化推進費	不用額	227,600円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.25)	前年度決算額	5,221,700円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>AI-OCR（人工知能を利用した光学式文字読取装置）やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）等のAI等新技術を活用して、職員が行う作業を自動化することにより、業務効率化及び企画立案等の業務に集中できる体制の推進を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI-OCRサービスを6所属で活用し、延べ596時間の削減効果が得られた。</li> <li>・AI-音声テキスト化サービスを34所属で延べ239回活用し、延べ140時間の削減効果が得られた。</li> <li>・RPAを6所属で活用し、延べ1,039時間の削減効果が得られた。</li> </ul> <p>○AI-OCRサービス使用契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約 ※埼玉県共同調達</li> <li>・契約先：株式会社日立システムズ 関東甲信越支社第一営業本部</li> <li>・使用期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日</li> <li>・契約金額：2,376,000円</li> </ul> <p>○AI音声テキスト化サービス使用契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約 ※埼玉県共同調達</li> <li>・契約先：株式会社アイネス 公共営業部</li> <li>・使用期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日</li> <li>・契約金額：1,320,000円</li> </ul> <p>○RPA使用契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（4者）</li> <li>・契約先：株式会社日東テクノブレーン</li> <li>・使用期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日</li> <li>・契約金額：5,031,400円</li> </ul> <p>○RPA講習（WinActor集合研修）業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：株式会社日東テクノブレーン</li> <li>・委託期間：令和5年6月22日</li> <li>・委託金額：143,000円</li> </ul>		

事務事業名 生成 AI 導入事業	予算現額	165,000 円
	決算額	165,000 円
所 管 経営企画部デジタル戦略課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 1 説明 08 情報化推進費	不用額	0 円
事業概要 (R5-4 議案第 119~125 号 P.21)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>公務の根幹をなす文書作成事務に生成 AI を導入し、業務の効率化を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>全ての正規職員が文章生成 AI を利用できる環境を整備した。</p> <p>安全かつ効果的に利用できるよう、ガイドラインと活用マニュアルを作成するとともに、更なる業務効率化の可能性を検討するため、検索拡張生成 (RAG) の実証実験 (無償) も実施した。</p> <p>○生成 AI サービス利用契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契 約 先：シフトプラス株式会社</li> <li>・契約期間：令和 6 年 1 月 1 日～3 月 31 日</li> <li>・契約金額：165,000 円</li> </ul>		



# 総 務 部

---

## 1 文書行政課

- (1) 総務事務として、次の事務を実施した。
  - ① 市議会に関する事務として、定例会及び臨時会へ計 170 件の議案提出とこれに伴う議案資料作成等を行った。
  - ② 文書管理事務として、ファイリングシステムの維持管理のため、27 所属の巡回点検、令和 3 年度文書 1,554 箱の引継ぎ等を行った。
- (2) 法規事務として、次の事務を実施した。
  - ① 法務推進室において、条例、規則等の立案支援及び審査等を行い、条例及び規則については、新規制定 9 件、一部改正 75 件、廃止 3 件を公布した。
  - ② 顧問弁護士による法律相談を 25 件、任期付職員である法曹有資格職員による法律相談を 226 件実施した。
- (3) 統計事務として、次の事務を実施した。
  - ① 基幹統計調査事務として、学校基本調査、住宅・土地統計調査及び経済センサス調査区管理を行うとともに、翌年度に実施される農林業センサスの準備事務を実施した。
  - ② 市勢統計として、令和 4 年版所沢市統計書を刊行した。
- (4) 公平委員会事務局事務として、所沢市公平委員会を 8 回開催した。

## 2 職員課

- (1) 職員採用試験として、秋の採用試験のほか、他自治体よりもいち早く有能な職員を確保するために、民間企業と併願している学生の受験を可能とする、より人物重視の試験内容の試験を春にも実施するとともに、必要な職種については冬にも試験を実施し、87 人の職員を新規に採用した。
- (2) 人事院勧告に準じ、若年層を重点的に全職員の給料月額について、平均改定率 1.2% 引き上げを行った。また、期末・勤勉手当の支給月数について、再任用職員以外の正規職員は各 0.05 月分、再任用職員は各 0.025 月分引き上げを行った。

- (3) 職員厚生関係では、職員のメンタルヘルス不調の未然防止と職場環境の改善につなげるため、法に基づくストレスチェックを実施し、2,011人の職員が受検した。

### 3 契約課

- (1) 工事契約として、年間85件、55億4,925万5,452円の契約を締結し、契約手続の透明性等を確保する目的で入札監視委員会を2回開催した。

- (2) 物品契約として、指名競争入札66件、指名見積合せ13件、オープンカウンター方式による見積合せ250件、1者特命による見積合せ73件、年間3億5,792万8,565円の入札等事務を行った。

また、令和5・6年度の入札参加資格審査（物品）について、146件の追加受付事務と373件の変更事務を行った。

- (3) 工事検査において、市が発注した建設工事及び施設修繕のうち、請負代金額が500万円以上の工事等について、厳正かつ公正を旨として、完成検査及び中間検査等を含め、合計285件の検査を執行した。

事務事業名 文書管理システム導入事業	予算現額	—
	決算額	—
所 管 総務部文書行政課	翌年度繰越額	—
予算区分 款 2 項 1 目 1 説明 04 文書事務費	不用額	—
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P. 26)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、文書管理システムを導入し、これまで紙媒体で行っていた文書の收受、起案、決裁、保存、廃棄等を電子データで行うことにより、公文書の適正管理や内部事務の効率化等を更に推進するものである。</p> <p>また、システム導入により、所沢市 DX 推進基本方針の重点テーマの一つである「行政サービス力 UP」の実現を目指すものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市文書管理システム開発業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：公募型プロポーザル（2 者）</li> <li>・委 託 先：NEC ソリューションイノベータ株式会社 営業統括本部</li> <li>・委託期間：令和 5 年 10 月 2 日～令和 6 年 9 月 30 日</li> <li>・委託金額：47,174,160 円（債務負担行為）</li> <li>・内 容：システム開発、操作研修及び文書電子化支援等</li> </ul>		

事務事業名 財務会計システム更新事業（総務部所管分）	予算現額	—
	決算額	—
所 管 総務部契約課	翌年度繰越額	—
予算区分 款 2 項 1 目 1 説明 09 契約事務費	不用額	—
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P. 27)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、所沢市競争入札参加資格者名簿の管理や物品購入及び工事請負等の執行準備から契約締結、また工事請負においては完成検査結果及び請負代金の支払い履歴を管理する契約管理システムを、財務会計システムの更新に合わせ、当該システムに包含することにより、両システムを連携させ利便性の向上を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○財務会計システム更新業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：公募型プロポーザル（2 者）</li> <li>・委 託 先：NEC ソリューションイノベータ株式会社 営業統括本部</li> <li>・委託期間：令和 5 年 10 月 2 日～令和 7 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：106,878,640 円（債務負担行為） ※総務部所管分は 40,461,740 円</li> <li>・内 容：システム開発</li> </ul>		



# 財 務 部

---

## 1 財政課

- (1) 財務会計システムについて、平成 19 年度から運用している現行システムのサポートが終了することから、財務会計システム更新事業（財務部所管分）に着手し、令和 6 年度の運用開始に向けて、業務委託を締結した。
- (2) エネルギー・食料品価格等の物価高騰に対し迅速に対応するとともに、令和 6 年度予算の編成に当たっては、前年度に引き続き一件査定方式を採用し、歳出全般に対して精査を行った。
- (3) 新地方公会計制度に対応した財務諸表の作成や、市民に解りやすい財政情報の公表に努めた。

## 2 管財課

- (1) 市庁舎施設整備事業として、所沢市庁舎トイレ外改修工事設計業務委託を実施し、トイレの改修設計を行った。
- (2) 電話設備更新事業として、令和 5 年 12 月 29 日から令和 6 年 1 月 3 日までの間に庁舎内の電話機の入替え、配線、調整、点検を実施した。
- (3) 市有財産活用事業として、宮本町二丁目の市有地を売却し、4,020 万 115 円の売払収入があった。

## 3 市民税課

- (1) 各税目について関係法令等の遵守に努め、適正かつ公平に課税した。
- (2) 個人住民税における定額減税並びに eLTAX 電子申告税目追加及び特別徴収税額通知の電子化に対応するため、税系システムの改修を行い、市民サービスの向上を図った。

#### 4 資産税課

- (1) 土地の令和6年度の評価替えに伴い、評価要綱を見直すとともに、都市計画の変更や区画整理事業の進捗等による地価動向を反映し、適正な評価及び公正な課税を行った。
- (2) 家屋の令和6年度の評価替えに伴い、評価要綱を見直すとともに、適正な評価及び公正な課税を行った。
- (3) 償却資産の申告受付を行い、適正な評価及び公正な課税を行った。

#### 5 収税課

- (1) 所沢市収納率向上計画に基づき、未整理事案の解決を中心とした滞納整理を行った。  
市税（国民健康保険税を除く。）収入は、調定額 565 億 7,691 万 8 千円に対し、収入済額 555 億 9,891 万 7 千円、収納率は 98.3%であった。
- (2) 市県民税（特別徴収分）の一部収納分について、収納した金融機関から送付される収納情報を電子データで受け取るため、税系システムの改修等を行った。

事務事業名 財務会計システム更新事業（財務部所管分）	予算現額	—
	決算額	—
所 管 財務部財政課	翌年度繰越額	—
予算区分 款 2 項 1 目 3 説明 01 財政事務費	不用額	—
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P. 31)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>平成 19 年度から運用している財務会計システムについて、システムのサポート終了に伴い、更新を行うものである。本システムの更新に当たっては、合わせて導入を予定している文書管理システムとの一体的な運用により、伝票の電子化による紙の削減及び伝票事務の効率化を図る。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○財務会計システム更新業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：公募型プロポーザル（2 者）</li> <li>・委 託 先：NEC ソリューションイノベータ株式会社 営業統括本部</li> <li>・委託期間：令和 5 年 10 月 2 日～令和 7 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：106,878,640 円（債務負担行為） ※財務部所管分は 66,416,900 円</li> <li>・内 容：システム開発</li> </ul>		

事務事業名 市庁舎施設整備事業（トイレ改修設計業務委託）	予算現額	13,640,000 円
	決算額	13,200,000 円
所 管 財務部管財課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 5 説明 01 財産維持管理費	不用額	440,000 円
事業概要 (R5-1 議案 9～18 号 P. 33)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する公共施設について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて計画的に整備し、公共施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市庁舎トイレ外改修工事設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(6 者)</li> <li>・委 託 先：株式会社日建設計</li> <li>・委託期間：令和 5 年 4 月 17 日～令和 6 年 2 月 29 日</li> <li>・委託金額：13,200,000 円</li> <li>・内 容：以下設備の改修設計を行った。 トイレ（低層棟 1 階～4 階及び高層棟地下 1 階）、湯沸室の衛生器具、給排水設備、換気設備</li> </ul>		

事務事業名 税系システム改修事業（定額減税対応分）	予算現額	—
	決算額	—
所 管 財務部市民税課	翌年度繰越額	—
予算区分 款 2 項 2 目 2 説明 01 市民税等賦課事務費	不用額	—
事業概要 (R6-1 議案第 3～7 号 P.12)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>令和 6 年度税制改正において、令和 6 年度分の個人住民税について、定額による所得割の額の特別控除を実施することとなり、これに対応するため、特別控除の額を算定、適用する機能を税系システムに追加するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○定額減税に伴う税系システム改修業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：Acrocity ソリューションズ株式会社</li> <li>・委託期間：令和 6 年 3 月 28 日～6 月 28 日</li> <li>・委託金額：2,081,200 円（債務負担行為）</li> </ul>		

事務事業名 税系システム改修事業（市県民税特別徴収分納入済通知書の電子化）	予算現額	1,467,000 円
	決算額	1,460,525 円
所 管 財務部収税課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 2 目 2 説明 03 徴収事務費	不用額	6,475 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.37)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、市県民税（特別徴収分）の一部収納分について、収納した金融機関から送付される収納情報を電子データで受け取るため、税系システムの改修を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>電子データ受領件数：87,025 件（令和 5 年 10 月～令和 6 年 3 月）</p> <p>○税系システム改修委託（市県民税特別徴収分納入済通知書の電子化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：Acrocity ソリューションズ株式会社</li> <li>・委託期間：令和 5 年 7 月 3 日～9 月 30 日</li> <li>・委託金額：1,320,000 円</li> </ul> <p>○特別徴収に係る個人住民税収納明細の磁気媒体等による引渡し手数料：138,600 円</p> <p>○消耗品費（DVD）：1,925 円</p>		

# 市 民 部

---

## 1 地域づくり推進課

- (1) 自治会・町内会の支援として、市政運営への協力に対し報償金を交付するとともに、地域集会施設の修繕、維持管理に係る費用の助成等により、自治会等の活動拠点の整備を行った。
- (2) 市民の心のふれあいや連帯感を高めるとともに、所沢の魅力を発信すること等を目的に所沢市民フェスティバルを令和5年10月28日（土）、29日（日）の2日間開催し、約27万人の来場、419団体の出展があった。市は事務局として円滑な運営となるよう実行委員会の支援を行った。
- (3) 市民活動支援の拠点である市民活動支援センターでは、登録団体への支援及び市民活動の普及啓発を目的として、市民活動支援講座、市民活動フェスタ及び市民活動フェアの開催のほか、市民活動支援システム「トコロん Web」を活用した情報発信に努めた。
- (4) 狭山ヶ丘コミュニティセンターでは、学習室や休養室などの照明のLED化を実施した。
- (5) 新所沢コミュニティセンターでは、吹抜け天井の照明のLED化及び受水槽給水加圧ポンプの修繕を実施し、施設の環境整備に努めた。
- (6) 中富南コミュニティセンターでは、空調設備改修工事を実施し、施設の環境整備に努めた。

## 2 文化芸術振興課

- (1) 「音楽のあるまちづくり」として、まちなかコンサートや音まちファミリーコンサートを開催するとともに、引き続きグランエミオ所沢にストリートピアノを設置し、幅広い年代の方々の演奏や観覧に供した。また、令和5年9月23日（土）、24日（日）に空飛ぶ音楽祭2023の開催支援を行い、2日間で約10万人の来場があった。
- (2) 三ヶ島地区において、座れるアート作品「アートベンチ」を、ワークショップを通して4台制作及び設置した。

- (3) 令和5年度が最後の開催となる第38回市民文化フェアの開催支援を行い、令和5年4月1日（土）、2日（日）の2日間で約18万人の来場があった。
- (4) 所沢駅東口市民ギャラリーについては、指定管理者制度による新たな指定期間に向けて選定を行うとともに、指定管理者による管理運営を行い、施設利用率は67.2%であった。
- (5) 所沢市民文化センター・ミューズについては、指定管理者による管理運営を行うとともに、PFI事業者による維持管理を行い、施設利用率は73.8%であった。

また、駐車場等の外灯を水銀灯からLED照明灯に改修したほか、令和4年度に引き続き、原油価格・物価高騰による影響を大きく受けたため、事業の継続と経営維持を支援し、市民の文化活動等への影響を軽減することを目的に、指定管理者に対し支援金を交付した。

### 3 まちづくりセンター

- (1) 地域づくり支援事業として、次の各事項に取り組んだ。
  - ① 各地区における自治連合会等の地域団体の事務局として、各種事業への参画や、地域コミュニティ活動の支援を行った。
  - ② 地域住民の相談窓口として、関係各課と調整を図りながら、多様な要望・相談等の処理や地域に関する情報共有の促進を行った。
  - ③ 市の基本計画、市政に関する情報及び地域情報を提供した。
  - ④ 地域づくり協議会に交付金を交付し、その活動を支援した。
  - ⑤ 地域ネットワークの強化を図る取組を支援した。
  - ⑥ 所沢市総合防災訓練の会場の円滑な運営を支援した。
- (2) 公民館に係る事業として、次の各事項に取り組んだ。
  - ① 市民等と協働で企画・実施した事業を含め、市民を対象にした学級・講座、行事等の事業を合計331件実施した。
  - ② 「公民館（まちづくりセンター）だより」などの各種印刷物を発行した。
  - ③ 市内全11地区で、二十歳のつどいを開催した（令和6年1月8日）。

- ④ 公民館施設提供事業として、各種学習活動の場を提供し、公民館全館で合計 53,008 件、延べ 597,612 人の利用があった。
- (3) 地域に最も近い行政サービスの拠点として、転居等の届出の受付（並木まちづくりセンターを除く）、住民票等の各種証明書の発行をはじめ、市の各部署から依頼のあった窓口事務を行った。まちづくりセンターでの証明発行件数（市民課小手指サービスコーナー取扱分を含む有料交付分）は、合計 97,282 件で、市全体の件数の 34.10 %であった。
- (4) 高齢者をはじめとするインターネット端末の操作が困難な方を対象に、新型コロナウイルスワクチン Web 予約の支援を実施した。
- (5) SNS 情報発信プロジェクトにより、将来の地域の担い手となる若い市民に自分の住む地域に愛着を持っていただけるよう、市内各地区のおすすめ情報を継続的に発信した。

#### 4 市民相談課

- (1) 市民の方の日常生活に生じる諸問題や悩みごとに応じる一般相談、弁護士や税理士等による各種の専門相談を実施し、3,044 件の相談があった。
- (2) 広聴業務では、市政への提案制度としての「市長への手紙」を 888 件、各種団体等からの陳情書を 15 件受理したほか、陳情書に基づく市政懇談会を 6 回実施した。

また、令和 5 年 11 月より、市長が市民と直接対話をする機会として、市長タウンミーティングを 5 回実施した。
- (3) 市民保養業務では、協定施設の宿泊料金の優待サービスなどを実施し、335 件の利用があった。
- (4) 市政情報センターでは、本市の情報公開制度及び個人情報保護制度の総合窓口として開示請求等に対応した。公文書公開請求は 142 件、個人情報開示請求は 56 件であった。
- (5) 消費生活センターでは、消費生活上の様々な商品やサービスに関する消費生活相談を実施し、2,286 件の相談があった。また、消費者

問題に係る講座及び消費生活展を関係機関と連携して開催するなど、消費生活の啓発を図った。

## 5 市民課

- (1) マイナンバーカード交付については、マイナポイントの付与対象となるカードの申請期限の延長やマイナンバーカードの更新等による交付件数の増加に対して、昨年度に引き続き、派遣業務委託等によって人員を確保し、交付体制を強化した。
- (2) 本市が掲げるゼロカーボンシティの実現のため、所沢市斎場の駐車場に設置されている水銀照明灯を、LED照明灯に改修した。
- (3) 市民生活にとって必要不可欠な施設である所沢市斎場について、原油価格・物価の高騰による影響を大きく受けたため、同施設の事業の継続と経営維持を支援し、市民生活等への影響を軽減することを目的に、指定管理者に対し支援金を交付した。

## 6 防犯交通安全課

- (1) 西所沢駅西口改札口開設事業については、鉄道事業者と協議を行い、基本協定を締結した。また、西武鉄道株式会社に依頼し、駅舎の基本設計の作成を開始した。
- (2) 令和6年2月末の新所沢パルコ閉店に伴い、同店地下に設置している新所沢駅西口第3自転車駐車を廃止した。また、同自転車駐車の利用者を既存の自転車駐車で円滑に受け入れるため、新所沢駅西口第1及び第4自転車駐車の再整備を行った。
- (3) 交通安全運動推進事業及び交通安全教育推進事業については、交通事故の防止に向けて、市民に対して交通ルールの遵守を促すため、啓発活動や交通安全教室等を開催した。
- (4) 所沢市客引き対策事業については、市職員及び会計年度任用職員が禁止地区内においてパトロールを実施し、客引き行為等を行う者に対して指導を行うとともに、通行人に対して地元商店街や警察と連携して啓発活動を行った。

- (5) 地域安全活動推進事業については、自主防犯組織の支援として、青色回転灯装着パトロール車や防犯パトロールに必要な資器材の貸出し、防犯指導者養成講座などを行い、防犯のまちづくりの推進に努めた。
- (6) 空き家対策事業については、市民からの連絡により把握した管理不全な空き家について、現地確認や所有者調査を行い、積極的に所有者に対し指導改善を促した。

事務事業名 狭山ヶ丘コミュニティセンターLED化整備事業	予算現額	1,262,000円
	決算額	638,000円
所管 市民部地域づくり推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 8 説明 04 狭山ヶ丘コミュニティセンター費	不用額	624,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.38)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、狭山ヶ丘コミュニティセンターに設置されている水銀照明灯（外灯）及び蛍光灯（学習室・休養室など）の照明について、LED照明灯に改修するものである。</p> <p>これにより、水銀による環境汚染・健康被害の防止、LED化による維持管理費の削減及び消費電力量の抑制による二酸化炭素の排出削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○狭山ヶ丘コミュニティセンター照明器具交換修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契約先：橋電株式会社</li> <li>・工期：令和5年6月21日～12月31日</li> <li>・契約金額：638,000円</li> </ul>		

事務事業名 新所沢コミュニティセンター吹抜け天井LED化整備事業	予算現額	1,045,000円
	決算額	1,045,000円
所管 市民部地域づくり推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 8 説明 05 新所沢コミュニティセンター費	不用額	0円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.39)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、新所沢コミュニティセンターの吹抜けに設置されている水銀照明灯（ダウンライト）について、LED照明灯に改修するものである。</p> <p>これにより、水銀による環境汚染・健康被害の防止、LED化による維持管理費の削減及び消費電力量の抑制による二酸化炭素の排出削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○新所沢コミュニティセンターホール照明器具修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契約先：橋電株式会社</li> <li>・工期：令和5年4月5日～12月28日</li> <li>・契約金額：1,045,000円</li> </ul>		

事務事業名 中富南コミュニティセンター空調設備改修事業	予算現額	90,394,000円
	決算額	89,262,800円
所管 市民部地域づくり推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 8 説明 06 中富南コミュニティセンター費	不用額	1,131,200円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.40)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する公共施設について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市中富南コミュニティセンター空調設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：平岩設備工業株式会社</li> <li>・工期：令和5年7月25日～令和6年3月29日</li> <li>・契約金額：89,100,000円</li> </ul> <p>○中富南コミュニティセンター自家用電気工作物保安業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契約先：IBS電気管理事務所</li> <li>・契約期間：令和5年12月1日～令和6年3月31日</li> <li>・契約金額：24,200円</li> </ul> <p>○中富南コミュニティセンター施設材質検査委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契約先：株式会社環境テクノ</li> <li>・契約期間：令和5年4月14日～5月31日</li> <li>・契約金額：138,600円</li> </ul>		

事務事業名 新所沢コミュニティセンター受水槽給水加圧ポンプ修繕事業	予算現額	1,295,000円
	決算額	1,295,000円
所管 市民部地域づくり推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 8 説明 05 新所沢コミュニティセンター費	不用額	0円
事業概要 (R5-4 議案第119～125号 P.23)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新所沢コミュニティセンターの受水槽給水加圧ポンプについて、機器の不具合が発生した。当該施設は複合施設となっており、みどり児童館別館及び老人福祉センター緑寿荘にも水道水を供給するための必要な設備であることから、交換修繕を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○新所沢コミュニティセンター受水槽給水加圧ポンプ修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契約先：上野管工株式会社</li> <li>・工期：令和5年12月25日～令和6年3月31日</li> <li>・契約金額：1,295,000円</li> </ul>		

事務事業名 三ヶ島アートなベンチ設置事業	予算現額	2,370,000円
	決算額	2,007,337円
所 管 市民部文化芸術振興課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 7 説明 01 文化芸術振興費	不用額	362,663円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.41)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、緑豊かな大地、歴史的な風土など貴重な資源や要素を備えた三ヶ島地区において、文化芸術により愛着や誇りの醸成、地域活性化を図ることを目的として、座れるアート作品「アートベンチ」を制作し、設置するものである。制作や設置に当たっては、美術家及び地域住民が参加するワークショップを開催し、進めるものとする。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置台数：4台（バス停「芸術総合高校」ほか）</li> <li>・ワークショップ：令和5年10月28日（土）、11月11日（土）、11月25日（土）、12月2日（土） 計4回開催 ※埼玉県立芸術総合高校生徒が延べ34人、小学生が延べ24人参加</li> <li>・依頼先 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 株式会社武蔵野美術大学ソーシャルマネジメント（武蔵野美術大学傘下） <ul style="list-style-type: none"> <li>・謝礼金額：1,900,000円</li> <li>・内 容：ベンチの制作、ワークショップの企画・検討</li> </ul> </li> <li>(2) 埼玉県立芸術総合高校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・謝礼金額：15,000円</li> <li>・内 容：ワークショップへの生徒の参加</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>		



事務事業名 空飛ぶ音楽祭開催支援事業	予算現額	3,850,000円
	決算額	2,289,370円
所 管 市民部文化芸術振興課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 7 説明 01 文化芸術振興費	不用額	1,560,630円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.42)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、あらゆる世代の市民や市内を訪れる方に、音楽でうるおいと安らぎ、そして活力を与える「音楽のあるまちづくり」の核となる事業である空飛ぶ音楽祭2023の開催を支援するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催：空飛ぶ音楽祭実行委員会（共催：所沢市、公益財団法人所沢市文化振興事業団）</li> <li>・日程：令和5年9月23日（土）、24日（日）</li> <li>・会場：所沢航空記念公園 野外ステージ・公園内特設ステージ、所沢市民文化センターミュージズ</li> <li>・内容：(1) 音楽ステージ <ul style="list-style-type: none"> <li>①野外ステージ（有料） ②SORA ステージ（無料）</li> <li>③アーティストリートステージ（無料）</li> <li>④所沢市民文化センターミュージズ（公演ごとに有料）</li> </ul> </li> <li>(2) アトラクション <ul style="list-style-type: none"> <li>①飲食・ワークショップ ②特別企画</li> </ul> </li> <li>・来場者数：2日間で延べ約10万人</li> </ul>		



<b>事務事業名</b> 所沢市民文化センター駐車場等外灯 LED 化整備事業	予算現額	5,157,000 円
	決算額	4,400,000 円
<b>所 管</b> 市民部文化芸術振興課	翌年度繰越額	0 円
<b>予算区分</b> 款 2 項 1 目 7 説明 02 市民文化センター運営費	不用額	757,000 円
<b>事業概要</b> (R5-1 議案第 9~18 号 P.43)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢市民文化センターの駐車場等に設置されている水銀照明灯について、LED 照明灯に改修するものである。</p> <p>これにより、水銀による環境汚染・健康被害の防止、LED 化による維持管理費の削減及び消費電力量の抑制による二酸化炭素の排出削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市民文化センター駐車場他照明 LED 交換修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（3 者）</li> <li>・契 約 先：株式会社橋本電工</li> <li>・工 期：令和 5 年 8 月 31 日～令和 6 年 1 月 17 日</li> <li>・契約金額：4,400,000 円</li> <li>・内 容：地上駐車場外灯           <ul style="list-style-type: none"> <li>中ホール楽屋屋上スポット照明</li> <li>展示棟上部スポット照明</li> <li>公園側外灯</li> </ul> </li> </ul>		
		

<b>事務事業名</b> 所沢市民文化センター光熱費等高騰対策支援事業	予算現額	14,609,000 円																														
	決算額	14,005,000 円																														
<b>所 管</b> 市民部文化芸術振興課	翌年度繰越額	0 円																														
<b>予算区分</b> 款 2 項 1 目 7 説明 02 市民文化センター運営費	不用額	604,000 円																														
<b>事業概要</b> (R5-4 議案第 119~125 号 P.22)	前年度決算額	—																														
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢市民文化センターは、文化芸術公演の鑑賞拠点や市民文化の発表拠点として市民の文化芸術活動の重要な施設であるが、原油価格及び物価の高騰による影響を大きく受けている。</p> <p>本事業は、同施設の事業の継続と経営の維持を支援し、市民の文化活動等への影響を軽減することを目的に、運営事業者に対し支援金を交付するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営事業者：公益財団法人所沢市文化振興事業団</li> <li>・支 援 金 額：光熱費等の予算額と年度末見込額の差額の 8 割の金額※</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">年度末見込額</td> <td style="width: 15%;">74,712,241 円</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>一)</td> <td>予算額</td> <td>57,206,811 円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>差額</td> <td>17,505,430 円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5"> </td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>差額×8 割</td> <td>=</td> <td>14,004,344 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>≒</td> <td>14,005,000 円</td> <td></td> </tr> </table>				年度末見込額	74,712,241 円			一)	予算額	57,206,811 円				差額	17,505,430 円								※	差額×8 割	=	14,004,344 円				≒	14,005,000 円	
	年度末見込額	74,712,241 円																														
一)	予算額	57,206,811 円																														
	差額	17,505,430 円																														
※	差額×8 割	=	14,004,344 円																													
		≒	14,005,000 円																													
																																

事務事業名 マイナンバーカード交付事業	予算現額	134,980,000円
	決算額	103,954,374円
所 管 市民部市民課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 3 目 1 説明 02 戸籍住民基本台帳事務費	不用額	31,025,626円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.48)	前年度決算額	85,519,457円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、国が想定するデジタル社会の早期実現のため、マイナンバーカードを市民に対して交付するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>・令和5年度個人番号カード交付枚数 42,403枚（令和4年度：73,117枚）</p> <p>令和5年2月末までにマイナンバーカードを申請した者に対し20,000円分のマイナポイントを付与する「マイナポイント事業（令和5年9月末終了）」により急増したカードの交付件数に対応するため、人材派遣委託による職員の増員を令和5年7月末まで行った。</p> <p>○マイナンバーカード交付事業従事者派遣業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社パソナ パソナ・さいたま</li> <li>・委託期間：令和5年4月1日～7月31日</li> <li>・委託金額：単価契約（支払額13,834,288円）</li> <li>・内 容：マイナンバーカードについての説明・案内、マイナンバーカード交付前設定、交付通知書発送事務、電話対応業務</li> </ul>		

事務事業名 所沢市斎場駐車場外灯LED化整備事業	予算現額	7,200,000円
	決算額	7,062,000円
所 管 市民部市民課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 05 斎場運営費	不用額	138,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.70)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、所沢市斎場の駐車場に設置されている水銀照明灯を、LED照明灯に改修するものである。</p> <p>これにより、水銀による環境汚染・健康被害の防止、LED化による維持管理費の削減及び消費電力量の抑制による二酸化炭素の排出削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市斎場駐車場外灯LED交換修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（5者）</li> <li>・契 約 先：橋電株式会社</li> <li>・工 期：令和5年11月24日～令和6年1月31日</li> <li>・契約金額：3,630,000円</li> <li>・内 容：照明灯（2灯用3基）の改修</li> </ul> <p>○所沢市斎場駐車場外灯（南側）LED交換修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（5者）</li> <li>・契 約 先：橋電株式会社</li> <li>・工 期：令和6年2月16日～3月15日</li> <li>・契約金額：3,432,000円</li> <li>・内 容：照明灯（2灯用2基、1灯用1基）の改修</li> </ul>		

事務事業名 住民記録システム等改修事業（住民票等への振り仮名記載対応）	予算現額	24,238,000円
	決算額	0円
所 管 市民部市民課	翌年度繰越額	24,238,000円
予算区分 款 2 項 3 目 1 説明 02 戸籍住民基本台帳事務費	不用額	0円
事業概要 (R5-4 議案第119～125号 P.25)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>住民基本台帳法等の一部改正に伴い、住民票や戸籍の附票に氏名等の振り仮名を記載し、マイナンバーカードへの氏名等の振り仮名及びローマ字表記を実施するため、住民記録システム、戸籍システム及びコンビニ交付システムの改修を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>※本事業については、予算額24,238,000円を令和6年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 所沢市斎場光熱費等高騰対策支援事業	予算現額	10,076,000円						
	決算額	10,076,000円						
所 管 市民部市民課	翌年度繰越額	0円						
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 05 斎場運営費	不用額	0円						
事業概要 (R5-4 議案第119～125号 P.53)	前年度決算額	—						
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢市斎場は、市民生活にとって必要不可欠な施設であるが、原油価格及び物価の高騰による影響を大きく受けている。本事業は、同施設の事業の継続と経営の維持を支援し、市民生活等への影響を軽減することを目的に、運営事業者に対し支援金を交付するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営事業者：公益財団法人所沢市公共施設管理公社</li> <li>・支援金額：光熱費等の予算額と年度末見込額の差額の8割の金額*</li> </ul> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>年度末見込額</td> <td>46,614,608円</td> </tr> <tr> <td>ー) 当初予算額</td> <td>34,020,000円</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>12,594,608円</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">※差額×8割 ≒ 10,075,686円 = 10,076,000円</p>			年度末見込額	46,614,608円	ー) 当初予算額	34,020,000円	差額	12,594,608円
年度末見込額	46,614,608円							
ー) 当初予算額	34,020,000円							
差額	12,594,608円							

事務事業名 西所沢駅西口改札口開設事業	予算現額	68,254,000円																				
	決算額	3,807,132円																				
所管 市民部防犯交通安全課	翌年度繰越額	64,374,000円																				
予算区分 款 2 項 1 目 12 説明 01 交通対策費	不用額	72,868円																				
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.49)	前年度決算額	8,114,097円																				
<p>&lt;事業の目的・内容&gt; 西所沢駅の利用者の利便性向上と安全性確保のため、西所沢駅西口開設整備計画に基づき、事業を進めている。 西所沢駅西口改札口の早期開設に向け、鉄道事業者と協議を進めるものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西所沢駅周辺の安全対策のための用地取得</li> <li>鉄道事業者との基本協定及び基本設計協定締結</li> <li>鉄道事業者による基本設計作成着手</li> </ul> <p>・住民説明会の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>開会時間</th> <th>会場</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月9日(土)</td> <td>午前10時</td> <td>岩崎下町自治会館</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>9月9日(土)</td> <td>午後2時</td> <td>岩崎下町自治会館</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>9月9日(土)</td> <td>午後7時30分</td> <td>西所沢会館</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>9月10日(日)</td> <td>午後2時</td> <td>岩崎下町自治会館</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○社会資本整備総合交付金(交通安全)工事(物件調査等業務委託その1)再積算業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選定方法:随意契約</li> <li>委託先:司測量設計調査株式会社</li> <li>委託期間:令和5年11月20日～令和6年2月16日</li> <li>委託金額:528,000円</li> <li>内容:用地買収する箇所の物件調査再積算業務委託</li> </ul> <p>※本事業については、予算額64,374,000円を令和6年度へ繰越明許し、実施する。</p>			日程	開会時間	会場	参加人数	9月9日(土)	午前10時	岩崎下町自治会館	29人	9月9日(土)	午後2時	岩崎下町自治会館	20人	9月9日(土)	午後7時30分	西所沢会館	19人	9月10日(日)	午後2時	岩崎下町自治会館	20人
日程	開会時間	会場	参加人数																			
9月9日(土)	午前10時	岩崎下町自治会館	29人																			
9月9日(土)	午後2時	岩崎下町自治会館	20人																			
9月9日(土)	午後7時30分	西所沢会館	19人																			
9月10日(日)	午後2時	岩崎下町自治会館	20人																			

事務事業名 市営自転車駐車場照明灯LED化整備事業	予算現額	1,875,000円
	決算額	1,540,000円
所管 市民部防犯交通安全課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 12 説明 02 自転車対策費	不用額	335,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.50)	前年度決算額	6,919,000円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt; 市営自転車駐車場2か所に設置されている蛍光灯及びダウンライト等をLED照明灯に改修するものである。 これにより、維持管理費の削減及び消費電力量の抑制による二酸化炭素の排出削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○小手指駅北口第1自転車駐車場外1箇所LED交換修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選定方法:指名競争入札(4者)</li> <li>契約先:有限会社サンエス電気</li> <li>工期:令和5年5月15日～12月28日</li> <li>契約金額:1,540,000円</li> <li>内容:小手指駅北口第1自転車駐車場及び東所沢駅第4自転車駐車場の蛍光灯等をLED照明灯に改修</li> </ul>		

事務事業名 新所沢駅西口自転車駐車場整備事業	予算現額	6,512,000 円
	決算額	5,852,000 円
所 管 市民部防犯交通安全課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 12 説明 02 自転車対策費	不用額	660,000 円
事業概要 (R5-2 議案第 43~44 号 P.7)	前年度決算額	—

<事業の目的・内容>

新所沢パルコの地下に設置している新所沢駅西口第3自転車駐車場について、同店閉店後も引き続き継続運営できないか検討を行ってきたが、単独運営することが困難であるとの結論に至った。

このことから新所沢駅西口第3自転車駐車場の利用者を円滑に新所沢駅西口第1及び第4自転車駐車場で受け入れるため、施設の整備を行うものである。

<事業の実績・成果>

- ・令和5年8月～令和6年2月：新所沢駅西口第1及び第4自転車駐車場整備
- ・令和6年2月29日：新所沢パルコ閉店及び新所沢駅西口第3自転車駐車場廃止

○新所沢駅西口自転車駐車場整備業務委託

- ・選定方法：指名競争入札（5者）
- ・委託先：サンサイクルシステム株式会社
- ・委託期間：令和5年8月1日～令和6年2月29日
- ・委託金額：5,852,000 円
- ・内 容：新所沢駅西口第1及び第4自転車駐車場のサイクルラックの撤去及び入替え、チャイルドシート付き自転車等の大型自転車置場の増設、出入口の安全対策等





# 福 祉 部

---

## 1 福祉総務課

- (1) 電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円（29,529世帯、8億8,587万円）の給付金を、また追加で1世帯当たり7万円（30,072世帯、21億504万円）の給付金を支給した。
- (2) 適正な法人運営と社会福祉事業の健全な経営の確保を図ることを目的に、所沢市が所轄庁となる社会福祉法人のうち9法人に対して指導監査を実施した。
- (3) 介護給付対象等サービスの質の確保と保険給付の適正化を図ることを目的に、所沢市が指定する介護サービス事業者等に対する集団指導（全事業所）及び運営指導（44事業所：訪問）を実施した。
- (4) 戦没者の冥福を祈るとともに世界の恒久平和を願うため、所沢市戦没者追悼式を開催した（参加者203人）。
- (5) ゼロカーボンシティの実現に向けた新たな事業として、市内の福祉施設を対象に電気自動車等の導入に係る経費の一部を助成する福祉施設電気自動車等導入補助事業を実施し、電気自動車1台、超小型モビリティ2台の導入に対し、併せて50万円の補助金を交付した。

## 2 生活福祉課

- (1) 生活保護法に基づき、生活に困窮する方に対し、必要な保護を実施した（3,929世帯、4,926人）。
- (2) 生活困窮者自立促進支援事業として、自立相談支援8,984件、家計改善支援803件、一時生活支援6世帯7人244日、就労準備支援事業延べ1,073件、住居確保給付金148件等の支援を行った。
- (3) 生活困窮世帯の子どもに対する学習・生活支援事業として学習支援教室を101回開催した。
- (4) 新たな事業として、生活保護システム改修事業（令和5年度基準額等の見直し対応）を実施し、令和5年10月の生活扶助基準額等の見直しに伴うシステム改修を行った。

- (5) 新たな事業として、生活保護システム改修事業（被保護者調査調査項目追加等対応）を実施し、被保護者調査の調査項目見直しに伴うシステム改修を行った。

### 3 障害福祉課

- (1) 所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例の取組の一環として、出前講座、庁内研修等（実施回数 21 回、参加者 913 人）、障害者週間記念事業（参加者延べ 2,554 人）を実施した。
- (2) 障害福祉サービス事業として、障害者の日常生活及び社会生活を支援するため障害福祉サービスを提供した（利用者 3,789 人）。
- (3) 自立支援医療給付事業として、障害者がその障害を除去・軽減するための医療を指定医療機関で受ける場合に、医療費を給付した（支給認定者 466 人）。
- (4) 地域生活支援事業として、コミュニケーション支援事業（派遣件数 962 件）、移動支援事業（実利用者 194 人）、日中一時支援事業（実利用者 59 人）等を実施した。
- (5) 重度心身障害福祉手当事業として、重度の心身障害者に手当を支給した（対象者 6,617 人）。
- (6) 外出援助事業として、タクシー券交付及びガソリン費の一部の補助を行った（補助件数：タクシー券 55,800 件、ガソリン費 19,854 件）。
- (7) 重度心身障害児等医療費助成事業として、保険診療医療費等の自己負担分を助成した（受給者 5,132 人）。
- (8) 障害者就労支援事業として、一般就労に向けた支援を行った（ところざわ就労支援センター登録者 1,250 人うち就労者 764 人）。
- (9) 令和 6 年度から 8 年度までを計画期間とする第 6 次障害者支援計画を策定した。

### 4 高齢者支援課

- (1) 長生クラブ支援事業として、高齢者の知識及び経験を活かし、明るい長寿社会づくりに資することを目的として活動している長生ク

ラブを支援した（長生クラブ 50 クラブ、会員 2,829 人）。

- (2) 高齢者交流・研修支援事業として、高齢者団体が高齢者の福祉増進に寄与する活動等において貸切バスを利用した場合における賃借料の一部を補助した（利用団体数 72 団体、利用人数 1,982 人）。
- (3) 健康の増進や教養の向上等の場としてお互いに学び、仲間づくりを大切にしながら心身ともに健康で明るい日常生活を送ることができる活動拠点として、老人福祉センター等を運営した（利用人数：老人福祉センター4か所81,011人、老人憩の家8か所84,123人）。
- (4) 老人福祉センターうしぬま荘及びあづま荘について、令和 6 年度より新たに指定管理者制度を導入した。
- (5) 令和 6 年度から令和 8 年度までを計画期間とする、第 9 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定した。

## 5 介護保険課

- (1) 低所得者に対する介護サービス利用の促進のため、介護保険の利用者負担の一部を助成する利用者負担助成金を支給した（15,158 件、41,663,378 円）。
- (2) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の大規模改修及び小規模多機能型居宅介護のスプリンクラー等整備を実施する法人に対して、国の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用した補助を行った（2 法人、8,115,000 円）。

## 6 地域福祉センター

- (1) 地域福祉推進事業として、所沢市地域福祉推進委員会を 3 回開催した。
- (2) 災見舞金等支給事業として、火災による被害を受けた 8 世帯に災見舞金を支給した。
- (3) 第 47 回所沢市社会福祉大会を実施し、地域福祉の向上に寄与した 207 人・55 団体を表彰した。
- (4) 民生委員推薦会として、民生委員・児童委員の欠員補充のため、

市推薦会を4回、地区推薦会を8回開催した。

- (5) 成年後見制度推進事業として、周知活動や福祉の相談窓口による権利擁護相談816件を行った。また、所沢市成年後見制度推進検討委員会を3回開催した。
- (6) こどもと福祉の未来館管理運営事業として、来館者の利便性や安全性に配慮した施設提供を行った（利用者157,933人）。

事務事業名 住民税非課税世帯価格高騰重点支援給付金支給事業	予算現額	3,755,961,000円
	決算額	3,232,702,730円
所管 福祉部福祉総務課	翌年度繰越額	276,041,000円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 16 住民税非課税世帯価格高騰重点支援給付金費	不用額	247,217,270円
事業概要 (R5-臨時2 議案第41号-42号 P.23) (R5-4 議案第137号 P.4)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対して1世帯当たり3万円の給付金を、また、追加で1世帯当たり7万円の給付金を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○支給実績</p> <p>①基準日（令和5年6月1日）において令和5年度住民税均等割が非課税である世帯（住民税均等割が課税されている者の扶養親族のみで構成される世帯等を除く。） 29,529世帯（支給金額：885,870,000円）</p> <p>②追加給付金基準日（令和5年12月1日）において令和5年度住民税均等割が非課税である世帯（住民税均等割が課税されている者の扶養親族のみで構成される世帯等を除く。） 30,072世帯（支給金額：2,105,040,000円）</p> <p>○住民税非課税世帯価格高騰重点支援給付金支援業務委託 ○住民税非課税世帯価格高騰重点支援給付金人材派遣委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：パーソルワークスデザイン株式会社</li> <li>・委託期間：令和5年5月29日～令和6年3月29日</li> <li>・委託金額：単価契約（支払額214,041,113円）</li> <li>・内容：コールセンター業務、支給決定支援等</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：パーソルテンプスタッフ株式会社</li> <li>・委託期間：令和5年6月1日～令和6年3月29日</li> <li>・委託金額：単価契約（支払額16,139,560円）</li> <li>・内容：窓口受付業務</li> </ul> <p>※本事業については、予算額276,041,000円を令和6年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 低所得世帯価格高騰重点支援給付金支給事業	予算現額	803,362,000円
	決算額	26,785,000円
所管 福祉部福祉総務課	翌年度繰越額	776,577,000円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 19 低所得世帯価格高騰重点支援給付金費	不用額	0円
事業概要 (R6-臨時1 議案第1号 P.4)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し、給付金を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和5年度住民税均等割のみ課税されている世帯及び当該世帯のこども加算分、住民税非課税世帯のこども加算分の支給に向け、給付金に係る支援業務委託の契約事務等を行った後、速やかに給付金を支給するため、対象者の抽出作業等を行った。</p> <p>○低所得世帯価格高騰重点支援給付金支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：パーソルワークスデザイン株式会社</li> <li>・委託期間：令和6年2月29日～7月31日</li> <li>・委託金額：単価契約（令和5年度支払額26,785,000円）</li> <li>・内容：コールセンター業務、支給決定支援等</li> </ul> <p>※本事業については、予算額776,577,000円を令和6年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 生活困窮者自立促進支援事業	予算現額	79,568,000円
	決算額	67,268,382円
所 管 福祉部生活福祉課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 13 生活困窮者自立促進支援事業費	不用額	12,299,618円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.56)	前年度決算額	73,638,778円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>生活困窮者自立支援法に基づき、地域で孤立する生活困窮者からの相談支援、プラン作成等を行う自立相談支援事業、家計に問題を抱える生活困窮者への家計改善支援事業、何らかの理由で住居を失った生活困窮者に対し、一時的な宿泊場所や飲食を提供する一時生活支援事業、様々な問題を抱え一般就労に向けた準備が整っていない方に対し就労準備支援事業、生活困窮家庭の子どもへの学習支援事業、離職等により住宅を喪失し、又は喪失するおそれのある生活困窮者等に対し家賃相当の住居確保給付金の支給を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○自立相談支援事業委託、家計改善支援事業委託、一時生活支援事業委託及び就労準備支援事業委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会</li> <li>・委託期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日</li> <li>・委託金額及び実績：自立相談支援事業委託 37,867,500円(総支援人数8,984人)</li> <li style="padding-left: 2em;">家計改善支援事業委託 3,217,500円(相談件数803件)</li> <li style="padding-left: 2em;">一時生活支援事業委託 1,455,434円(6世帯7人)</li> <li style="padding-left: 2em;">就労準備支援事業委託 15,807,000円(延べ1,073件)</li> </ul> <p>○学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績：101回開催・延べ379人参加</li> </ul> <p style="text-align: right;">○住居確保給付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績148件(6,666,215円)</li> </ul>		

事務事業名 生活保護システム改修事業（令和5年度基準額等の見直し対応）	予算現額	1,496,000円
	決算額	1,496,000円
所 管 福祉部生活福祉課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 3 目 1 説明 02 生活保護事務費	不用額	0円
事業概要 (R5-2 議案第43～44号 P.14)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>令和5年10月施行の国における生活保護基準の見直しに対応し、生活保護制度を効率的かつ適正に実施するため生活保護システムを改修するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>システム改修を行い、令和5年10月に本稼働を開始した。</p> <p>○生活保護システム改修業務委託（令和5年度基準額等の見直しに伴う対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：北日本コンピューターサービス株式会社</li> <li>・委託期間：令和5年8月3日～9月30日</li> <li>・委託金額：1,496,000円</li> <li>・内 容：生活扶助基準における基準額の算出方法の変更</li> </ul>		

事務事業名 生活保護システム改修事業（被保護者調査調査項目追加等対応）	予算現額	1,197,000円
	決算額	1,196,800円
所 管 福祉部生活福祉課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 02 生活保護事務費	不用額	200円
事業概要 (R5-4 議案第119～125号 P.45)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>国において実施している被保護者調査について、調査項目の見直しが行われ、令和6年4月から変更されることから、これに対応するため生活保護システムを改修するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>システム改修を行い、令和6年4月に本稼働を開始した。</p> <p>○生活保護システム改修業務委託（被保護者調査調査項目追加等対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：北日本コンピューターサービス株式会社</li> <li>・委託期間：令和6年1月26日～3月29日</li> <li>・委託金額：1,196,800円</li> <li>・内 容：被保護者調査月次調査における調査項目追加・移行、年次調査における調査項目追加</li> </ul>		

事務事業名 所沢市立障害者施設照明灯 LED 化整備事業	予算現額	1,013,000円
	決算額	1,012,220円
所 管 福祉部障害福祉課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 09 障害福祉施設管理費	不用額	780円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.57)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>市立障害者施設の敷地内に設置し、老朽化が進んでいる水銀照明灯について、LED 照明灯に改修するものである。これにより、水銀による環境汚染・健康被害の防止、LED 化による消費電力量の抑制による二酸化炭素の排出削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立障害者施設照明灯 LED 化修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契 約 先：株式会社マキノ電機</li> <li>・工 期：令和5年5月12日～6月30日</li> <li>・契約金額：1,012,220円</li> <li>・内 容：照明灯 LED 化修繕 13 基（所沢市立キャンパス、所沢市立はばたき、所沢市立ゆきわり草、所沢サン・アビリティーズ）</li> </ul>		

事務事業名 所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	予算現額	1,327,000円
	決算額	337,413円
所 管 福祉部障害福祉課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 07 障害福祉総務費	不用額	989,587円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.58)	前年度決算額	740,517円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例に基づき、社会的障壁の除去の推進を図るための総合的な取組を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○周知啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初級職員研修：令和5年10月11日（水）開催</li> <li>・職員研修：令和6年1月18日（木）、19日（金）開催</li> <li>・出前講座その他研修：計18回開催</li> </ul> <p>○社会的障壁の除去推進事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者等による社会的障壁の除去を目的とした物品購入等に対する補助金の交付</li> <li>・件数：3件（簡易スロープ購入費、店舗入口スロープ工事費）</li> <li>・補助金額：259,869円</li> </ul> <p>○障害者文化芸術活動ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の社会参加の促進及び障害理解の普及啓発を目的とした、障害のある人もない人も参加できるワークショップの開催</li> <li>・筆遊びワークショップ：令和5年11月12日（日）開催</li> <li>・ドライフラワーワークショップ：令和5年12月3日（日）開催</li> </ul>		

事務事業名 福祉総合システム（障害福祉システム）改修事業（福祉部所管分）	予算現額	440,000円
	決算額	440,000円
所 管 福祉部障害福祉課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 08 障害者支援費	不用額	0円
事業概要 (R5-4 議案第119～125号 P.26)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法が一部改正され、令和6年4月1日から障害福祉サービス等の報酬改定が行われることから、支給額等のデータ管理を円滑に行うとともに適正な運用に資することを目的として、福祉総合システムを改修するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○福祉総合システム（障害福祉システム）改修事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：株式会社ジーシーシー 埼玉支社</li> <li>・委託期間：令和6年2月6日～3月31日</li> <li>・委託金額：550,000円（障害福祉課分440,000円）</li> <li>・内 容：令和6年4月稼働の障害福祉サービス報酬改定に伴うシステム改修</li> </ul>		

事務事業名 老人憩の家とみおか荘空調等設備改修事業	予算現額	77,759,000円
	決算額	76,450,000円
所管 福祉部高齢者支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 4 説明 02 老人憩の家費	不用額	1,309,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.59)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する公共施設について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて計画的に整備し、公共施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立老人憩の家とみおか荘空調等設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（5者）</li> <li>・契約先：株式会社貫井産業</li> <li>・工期：令和5年10月1日～令和6年1月31日まで</li> <li>・契約金額：76,450,000円</li> <li>・内容：既存の蓄熱槽式ヒートポンプマルチエアコンを電気式に更新、空調機器更新対象室の換気機器の更新、照明をLED照明へ更新、空調改修に伴う電気設備工事及び建築工事</li> </ul>		

事務事業名 指定管理者の指定事業（老人福祉センターうしぬま荘、あづま荘）	予算現額	—
	決算額	—
所管 福祉部高齢者支援課	翌年度繰越額	—
予算区分 款 3 項 1 目 4 説明 01 老人福祉センター費	不用額	—
事業概要 (R5-3 議案第79～82号 P.22)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、所沢市立老人福祉センターうしぬま荘及びあづま荘について、新たに令和6年度から5年間を指定期間とする管理運営を開始するため、指定管理者を指定するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者：公益財団法人所沢市公共施設管理公社</li> <li>・指定期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日</li> <li>・契約金額：321,616,000円（債務負担行為）</li> <li>・内容：老人福祉センター運営事業及び施設の維持管理</li> </ul>		



## こども未来部

---

### 1 こども政策課

- (1) 子ども・子育て会議を2回開催し、子育て支援に関する各種事業の進捗管理を行うとともに、子どもの意見の聴き取りや計画策定に向けたアンケート調査に関する意見交換を行い、次期計画策定に向けての検討を進めた。
- (2) 第2期所沢市子ども・子育て支援事業計画に基づき、地域型保育事業所4園を創設するとともに、旧制度幼稚園1園の幼稚園型認定こども園への移行などにより、待機児童対策を進めた。
- (3) 特定教育・保育施設等の質の確保及び給付費の支給の適正化を図るため、129施設に対する集団指導を実施するとともに、50施設に対し実地指導を行い、216件の指摘事項について改善が図られた。
- (4) 未来へ挑戦する若者を応援するため、若者応援事業（16歳の未来へ）を実施し、中学校を卒業する世代の若者2,230人へギフトカードを支給した。
- (5) 全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠届出や出生届出を行った妊婦・子育て世帯等に出産応援ギフト、子育て応援ギフトを支給する、出産・子育て応援事業（経済的支援）を実施し、出産育児関連用品の購入等にかかる負担軽減を図った。
- (6) 法人からの寄附金を活用してレトルト食品（1,500食）を購入し、こどもの居場所づくり応援事業として社会福祉協議会を通じて市内のこども食堂等への配布を実施した。
- (7) 物価高騰の影響を受けている0歳児を養育する子育て家庭を応援するため、子育て家庭応援事業を実施し、2,299人へデジタルギフトを支給した。
- (8) 若者応援事業（16歳の未来へ）及び出産・子育て応援事業の申請時に公式LINE「子ども・若者情報チャンネル」に友だち登録してもらうことにより、高校生世代や子育て世帯との接点を確保し、それぞれの世代に向けた情報発信に活用した。

## 2 こども支援課

- (1) 物価高騰の影響を受けた子育て世帯への支援として、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金を4,089世帯に対して支給した。
- (2) 児童扶養手当支給事業として、ひとり親家庭等の受給者1,732人に対して支給した。
- (3) 児童手当支給事業として、受給者20,791人に対して支給した。
- (4) 子ども医療費助成事業として、受給者37,769人に対して医療費助成を行った。
- (5) ひとり親家庭等の医療費助成事業として、受給者3,991人に対して医療費助成を行った。
- (6) ところっこ子育てサポート事業において、保育士（子育てコンシェルジュ）が子育てに関する相談や保育園・幼稚園等の入園、子育て支援施設の案内を1,103件実施した。
- (7) こども支援センター運営事業（子育て支援）を実施し、4歳未満の乳幼児とその保護者を対象とした交流の場に、延べ69,388人が来場した。
- (8) 地域子育て支援拠点事業（一般型）を市内16か所で実施し、延べ94,659人の来館者があり、親子同士の交流や子育てについての相談などを行った。
- (9) ところっこ親子ふれあい絵本事業として、1歳6か月児健康診査の受診者1,259組に絵本の読み聞かせを行い、絵本の引換チケットを配布した。絵本は、図書館や地域子育て支援拠点施設で1,037冊交換され、施設の利用につなげた。
- (10) 一般型一時預かり事業、病児・病後児保育事業、ファミリーサポート事業を実施し、一時的な保育が必要な方に預かりの場を提供し、延べ42,903件利用された。
- (11) ひとり親家庭等自立支援事業として、母子・父子自立支援員によるひとり親家庭に関する相談を384件実施した。
- (12) 高等学校に在学し、経済的理由により就学困難な生徒103人に対して、育英・遺児奨学金を支給した。

### 3 こども福祉課

- (1) 在宅で医療的ケアが必要な児童を養育する家族同士の交流と家族への心理的サポートを行うための子育て交流会及び関係機関での情報共有や意見交換を行い、地域における支援体制を推進するための情報交換会を開催した。
- (2) 障害児の日常生活を支援し、家族等の精神的及び身体的負担の軽減を図る日中一時支援事業について、医療的ケアが必要な重症心身障害児の利用の増加に対応し、レスパイトケアの充実に努めた。
- (3) 障害児通所支援事業として、障害児が通所施設にて日常生活における基本的な動作の指導や訓練等を受け、地域での自立した生活を支援するための児童発達支援、放課後等デイサービス等の提供体制を整え、延べ 20,963 人の利用につなげた。
- (4) こども支援センター（発達支援）では、発達障害やその心配のある子どもと保護者に対し、早期からの相談や子どもの特性に応じた発達支援等を行った。
- (5) 松原学園では 48 人、かしの木学園では 57 人の受入れを行い、子どもが日常生活や社会生活を円滑に営めるような発達・成長のための支援に努めた。

かしの木学園においては、未就学の重症心身障害児や医療的ケアを必要とする障害児及び保護者の支援を実施した。

また、両施設において、バス送迎時の園児の安全確保のため、従来の安全対策に加えて送迎用バスに安全装置を設置し、車内置き去り防止の徹底を図った。

### 4 青少年課

- (1) 放課後児童健全育成事業として、31 か所の公設児童クラブを指定管理者により運営した。また、11 か所の民設民営児童クラブを委託により運営した。
- (2) 放課後児童クラブを利用している多子世帯や低所得世帯への支援として、保育料の免除や減額を行った。

- (3) 11 か所の児童館について、放課後児童健全育成事業（生活クラブ）のほか、地域子育て支援拠点事業などを指定管理者により運営した。
- (4) 新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことに伴い、青少年育成所沢市民会議が主催するスポーツ大会など、青少年健全育成に関する各種イベントをコロナ前と同規模で開催することができた。
- (6) 所沢小・南小学校両学校区の児童を受け入れる民設民営児童クラブの定員拡大と、公設の上新井児童クラブの代替施設となる民設民営児童クラブの設置を進めた。
- (7) 児童館に外付け日よけを設置することにより、室内温度の上昇を抑制し、快適な施設環境を提供した。

## 5 保育幼稚園課

- (1) 所沢市公共施設長寿命化計画に基づき、吾妻保育園外壁改修工事を行った。
- (2) 公立保育園において安心・安全な給食を安定的に提供し、保育の一環である食育の充実を図るため、保育園給食調理業務委託契約の更新を柳瀬保育園・松郷保育園・松井保育園・並木保育園の 4 園で、プロポーザル方式により実施した。
- (3) 保育施設等応援事業を実施し、コロナ禍における原油価格・物価高騰等による食材料費や光熱費等の高騰により、施設の運営経費が増大する中、保護者に負担を求めることなく安定した施設運営ができるよう、市内保育施設等に対して補助金を交付した。
- (4) 児童送迎用のバスの車内置き去り防止のため、安全装置の設置が義務化されたことに伴い、市内保育施設等が運行するバスに安全装置を設置するための補助金を交付した。
- (5) 保育人材を確保し、保育士が働きやすい環境を整備するため、保育所等で新たに勤務することとなった保育士に対し、奨学金の返済のための補助金を交付した。
- (6) 西所沢保育園の空調設備の改修を令和 5 年度から令和 7 年度までの 3 か年にかけて実施するに当たり、工事契約に向けて調査・設計

を行った。

## 6 こども家庭センター

(1) 児童福祉部門と母子保健部門の組織を一体とし、妊娠期から出産・子育て期にわたり切れ目ない相談支援を行う「こども家庭センター」を令和6年4月に開設するため、準備を進めた。

(2) こども相談事業については、こども相談センターにおいて、家庭児童相談員等による児童や家庭に関する相談を1,184件実施するとともに、児童相談所等の関係機関と連携を図りながら、児童虐待防止対策に関する事業を実施した。

(3) 保護者の出産や疾病等により一時的に養育が困難になった際に、里親宅で子どもを預かる子育て短期支援事業を実施した。

(4) 母子保健事業については、妊産婦及び乳幼児の疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、乳児家庭全戸訪問などの各種事業を通じて、母子の心身の状況や養育環境等の把握に努めた。

また、妊娠届出をされた方に対し、両親学級を案内するとともに、教室に参加できない方にも自宅でいつでも気軽に視聴できるように、子育てに関する動画を配信するなど、必要な助言・指導を実施した。

(5) 妊娠・出産つづけてサポート事業では、助産師・保健師が相談・助言及び関係機関との連携を図り、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施した。

また、育児に不安を抱えている退院直後の母子に対する産後ケア事業として、延べ318日分利用があった。

(6) 出産・子育て応援事業（伴走型相談支援）では、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図った。

事務事業名 若者応援事業（16歳の未来へ）	予算現額	12,084,000円
	決算額	8,923,374円
所管 子ども未来部子ども政策課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 09 子ども・子育て支援対策推進費	不用額	3,160,626円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.61)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>義務教育を終えて中学校を卒業する世代の若者へギフトカードを支給することにより、未来へ挑戦する若者を応援するものである。また、申請の際にLINEの友だちに登録してもらうことにより、高校生世代との接点を確保し、現状把握や情報発信に活用する。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：平成19年4月2日から平成20年4月1日生まれの若者</li> <li>・支給人数：2,230人</li> <li>・支給物：対象者1人当たりギフトカード3,500円分</li> </ul>		

事務事業名 出産・子育て応援事業（経済的支援）	予算現額	643,646,000円
	決算額	469,448,420円
所管 子ども未来部子ども政策課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 09 子ども・子育て支援対策推進費	不用額	174,197,580円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.63)	前年度決算額	0円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実と出産育児関連用品の購入等の負担軽減を図るための経済的支援を一体的に実施するものである。このうち本事業は、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対する経済的な支援として、出産応援ギフト、子育て応援ギフトを支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給人数：出産応援ギフト 4,689人（上半期：3,568人 下半期：1,121人） 子育て応援ギフト 3,464人（上半期：2,342人 下半期：1,122人）</li> </ul> <p>○所沢市出産・子育て応援事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：トランス・コスモス株式会社</li> <li>・委託期間：上半期…令和5年3月27日～9月30日、下半期…令和5年10月1日～令和6年3月31日</li> <li>・委託金額：上半期…総価契約47,300,000円（子ども政策課分31,533,334円）、単価契約301,095,000円 下半期…総価契約29,480,000円（子ども政策課分19,727,000円）、単価契約115,911,500円</li> <li>・内容：電子マネーの調達、対象者への案内送付、コールセンターの設置・運営、未申請者への対応等</li> </ul> <p>○所沢市子ども・若者情報配信システム使用契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契約先：トランス・コスモス株式会社</li> <li>・契約期間：上半期…令和5年3月29日～9月30日、下半期…令和5年10月1日～令和6年3月31日</li> <li>・契約金額：上半期…585,750円、下半期…585,750円</li> <li>・内容：所沢市子ども・若者情報チャンネルの配信システム使用料</li> </ul>		

事務事業名 こどもの居場所づくり応援事業	予算現額	206,000 円
	決算額	203,472 円
所 管 こども未来部こども政策課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 02 児童福祉総務費	不用額	2,528 円
事業概要 (R5-3 議案第 79~82 号 P.25)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>法人から寄附があり、こども食堂に関する事業に役立ててほしいとの寄附者の意向に沿い、市内のこども食堂等へ配布する食品（レトルト食品）を購入するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>レトルト食品（カレー600食、中華丼の具900食）を購入し、社会福祉協議会を通じて市内のこども食堂等へ配布した。</p>		

事務事業名 子育て家庭応援事業	予算現額	44,364,000 円
	決算額	38,003,334 円
所 管 こども未来部こども政策課	翌年度繰越額	3,000,000 円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 09 子ども・子育て支援対策推進費	不用額	3,360,666 円
事業概要 (R5-4 議案第 119~125 号 P.33)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>物価高騰の影響を受けている子育て家庭を応援するため、特に育児に係る生活用品やベビー用品等の出費の割合が大きい0歳児を養育する家庭へデジタルギフトを支給し、負担軽減を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給した人数：2,299人</li> </ul> <p>○所沢市子育て家庭応援事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：トランス・コスモス株式会社</li> <li>・委託期間：令和6年1月12日～4月30日</li> <li>・委託金額：総価契約（令和5年度支払額1,689,997円）、単価契約（令和5年度支払額36,313,337円）</li> <li>・内 容：デジタルギフトの調達、封入封緘・発送作業、コールセンター対応等</li> </ul> <p>※本事業については、予算額3,000,000円を令和6年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	予算現額	418,621,000円
	決算額	329,025,066円
所 管 こども未来部こども支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 13 子育て世帯生活支援特別給付金費	不用額	89,595,934円
事業概要 (R5-臨時2 議案第41号～42号 P.24)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>食費等の物価高騰の影響を特に受けた低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、特別給付金の支給が国において決定されたため、児童1人当たり5万円を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○ひとり親世帯分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：①～③のいずれかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和5年3月分の児童扶養手当の受給者（申請不要）</li> <li>② 公的年金給付等の受給により令和5年3月分の児童扶養手当を受給していない者（要申請）</li> <li>③ 食費等の物価高騰の影響により家計が急変し、児童扶養手当の受給者と収入が同程度になった者（要申請）</li> </ul> </li> <li>・支給実績：1,989世帯 対象児童数2,975人 支給額148,750,000円</li> </ul> <p>○ひとり親世帯以外の世帯分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：①～②のいずれかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度低所得の子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の世帯分）の対象者（申請不要）</li> <li>② 令和5年度末に18歳に達するまでの児童（障害児については20歳未満）の養育者で、令和5年度の住民税均等割が非課税の者又は食費等の物価高騰の影響により家計が急変し、非課税の者と収入が同程度になった者（要申請）</li> </ul> </li> <li>・支給実績：2,100世帯 対象児童数3,528人 支給額176,400,000円</li> </ul>		

事務事業名 福祉総合システム（障害福祉システム）改修事業（こども未来部所管分）	予算現額	110,000円
	決算額	110,000円
所 管 こども未来部こども福祉課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 10 障害児福祉費	不用額	0円
事業概要 (R5-4 議案第119～125号 P.35)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法が一部改正され、令和6年4月から障害福祉サービス等の報酬改定が行われることから、支給額等のデータ管理を円滑に行うとともに適正な運用に資することを目的として、福祉総合システムを改修するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○福祉総合システム（障害福祉システム）改修事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社ジーシー埼玉支社</li> <li>・委託期間：令和6年2月6日～3月31日</li> <li>・委託金額：550,000円（こども福祉課分110,000円）</li> <li>・内 容：令和6年4月稼働の障害福祉サービス報酬改定に伴うシステム改修</li> </ul>		

事務事業名 児童館 eco プロジェクト事業	予算現額	3,000,000 円		
	決算額	2,900,000 円		
所 管 こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0 円		
予算区分 款 3 項 2 目 4 説明 06 児童館施設費	不用額	100,000 円		
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.64)	前年度決算額	—		
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>児童館の主に南側の窓に外付け日よけを設置することにより、直射日光が施設内へ入ることを防ぎ、室内温度の上昇やエアコン設定温度の抑制を図ることで、消費電力や二酸化炭素の削減などゼロカーボンシティに向けた取組を推進する。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>児童館 6 館に外付け日よけシェードの取付けを実施したことにより、夏季の児童館施設内の温度上昇の抑制を実現し、快適な施設環境を提供することができた。</p> <p>・設置場所：まつば児童館…2 階図書室、やなぎ児童館…廊下、こばと児童館…1 階ホール、ひばり児童館…1 階遊戯室、すみれ児童館…2 階児童室及び図書室、さくら児童館…乳幼児室</p>				
	まつば・やなぎ児童館 外付け日よけ設置修繕	こばと・ひばり児童館 外付け日よけ設置修繕	すみれ・さくら児童館 外付け日よけ設置修繕	
選定方法	随意契約			
契約先	株式会社 LUXS			
工 期	令和 5 年 7 月 7 日～8 月 10 日	令和 5 年 7 月 28 日～8 月 31 日	令和 5 年 7 月 14 日～8 月 15 日	
契約金額	914,909 円	1,026,797 円	958,294 円	

事務事業名 放課後児童健全育成事業（民設民営児童クラブ）	予算現額	174,966,000 円		
	決算額	169,912,550 円		
所 管 こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0 円		
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 08 放課後児童健全育成費	不用額	5,053,450 円		
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.65) (R5-2 議案第 43～44 号 P.10)	前年度決算額	130,895,911 円		
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、放課後児童クラブの狭隘化、大規模化等を解消するため、早急に対応が必要な小学校区に対して、民設民営児童クラブを設置し、運営を委託するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和 5 年 4 月から開所した 1 施設を含め、11 か所の民設民営児童クラブを委託により運営した。また、所沢小・南小学校両学校区の既存施設の定員拡大と、公設の上新井児童クラブの代替施設となる民設民営児童クラブの設置を進め、既存児童クラブの狭隘化等の解消につなげた。</p> <p>○所沢市民設民営児童クラブ業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ数：11 クラブ</li> <li>・クラブ名：KIRACCO、KIRACCO 小手指、YMCA キッズクラブ、北秋津ゴロニャンクラブ、わくわくクラブ、KIRACCO 所沢、KIRACCO Ami、サクラタウン児童クラブ、ひだまりみなみ、ひまわり、KIRACCO Sunny</li> <li>・委託期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：169,912,550 円</li> </ul>				

事務事業名 保育園施設整備事業	予算現額	25,399,000円
	決算額	23,293,600円
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 2 目 4 説明 03 保育園施設費	不用額	2,105,400円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.67)	前年度決算額	79,915,000円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>老朽化する施設について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立吾妻保育園外壁改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（3者）</li> <li>・契約先：株式会社並木樹脂 所沢支店</li> <li>・工期：令和5年10月11日～令和6年2月22日</li> <li>・契約金額：23,293,600円</li> </ul>		

事務事業名 保育園給食調理業務委託事業	予算現額	248,159,000円																																
	決算額	248,158,900円																																
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0円																																
予算区分 款 3 項 2 目 4 説明 02 保育園運営費	不用額	100円																																
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.68)	前年度決算額	209,562,100円																																
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>民間事業者へ保育園給食調理業務を委託することで、安定的に安心・安全な給食を提供するとともに、保育の一環である食育の推進を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託概要：栄養士が作成した献立を施設内の調理室において調理する給食調理業務及びこれに付随する業務、保育士や栄養士と連携して行う食育活動、直営と同等以上の水準で実施</li> <li>・選定方法：プロポーザル方式</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託実施園</th> <th>委託先</th> <th>委託期間</th> <th>委託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小手指保育園</td> <td>株式会社レクトン</td> <td>令和4年4月1日～令和7年3月31日</td> <td>61,380,000円(R5分：20,460,000円)</td> </tr> <tr> <td>新所沢保育園</td> <td>株式会社東京天竜</td> <td>令和4年4月1日～令和7年3月31日</td> <td>83,160,000円(R5分：27,720,000円)</td> </tr> <tr> <td>柳瀬保育園・松郷保育園</td> <td>株式会社レクトン</td> <td>令和3年4月1日～令和6年3月31日</td> <td>133,211,100円(R5分：44,403,700円)</td> </tr> <tr> <td>松井保育園・並木保育園</td> <td>一富士フードサービス株式会社</td> <td>令和3年4月1日～令和6年3月31日</td> <td>118,800,000円(R5分：39,600,000円)</td> </tr> <tr> <td>西所沢保育園・西新井保育園</td> <td>株式会社東京天竜</td> <td>令和5年4月1日～令和8年3月31日</td> <td>121,572,000円(R5分：40,524,000円)</td> </tr> <tr> <td>吾妻保育園・山口保育園</td> <td>一富士フードサービス株式会社</td> <td>令和5年4月1日～令和8年3月31日</td> <td>118,800,000円(R5分：39,600,000円)</td> </tr> <tr> <td>富岡保育園・中新井保育園</td> <td>株式会社レクトン</td> <td>令和5年4月1日～令和8年3月31日</td> <td>107,533,600円(R5分：35,851,200円)</td> </tr> </tbody> </table>			委託実施園	委託先	委託期間	委託金額	小手指保育園	株式会社レクトン	令和4年4月1日～令和7年3月31日	61,380,000円(R5分：20,460,000円)	新所沢保育園	株式会社東京天竜	令和4年4月1日～令和7年3月31日	83,160,000円(R5分：27,720,000円)	柳瀬保育園・松郷保育園	株式会社レクトン	令和3年4月1日～令和6年3月31日	133,211,100円(R5分：44,403,700円)	松井保育園・並木保育園	一富士フードサービス株式会社	令和3年4月1日～令和6年3月31日	118,800,000円(R5分：39,600,000円)	西所沢保育園・西新井保育園	株式会社東京天竜	令和5年4月1日～令和8年3月31日	121,572,000円(R5分：40,524,000円)	吾妻保育園・山口保育園	一富士フードサービス株式会社	令和5年4月1日～令和8年3月31日	118,800,000円(R5分：39,600,000円)	富岡保育園・中新井保育園	株式会社レクトン	令和5年4月1日～令和8年3月31日	107,533,600円(R5分：35,851,200円)
委託実施園	委託先	委託期間	委託金額																															
小手指保育園	株式会社レクトン	令和4年4月1日～令和7年3月31日	61,380,000円(R5分：20,460,000円)																															
新所沢保育園	株式会社東京天竜	令和4年4月1日～令和7年3月31日	83,160,000円(R5分：27,720,000円)																															
柳瀬保育園・松郷保育園	株式会社レクトン	令和3年4月1日～令和6年3月31日	133,211,100円(R5分：44,403,700円)																															
松井保育園・並木保育園	一富士フードサービス株式会社	令和3年4月1日～令和6年3月31日	118,800,000円(R5分：39,600,000円)																															
西所沢保育園・西新井保育園	株式会社東京天竜	令和5年4月1日～令和8年3月31日	121,572,000円(R5分：40,524,000円)																															
吾妻保育園・山口保育園	一富士フードサービス株式会社	令和5年4月1日～令和8年3月31日	118,800,000円(R5分：39,600,000円)																															
富岡保育園・中新井保育園	株式会社レクトン	令和5年4月1日～令和8年3月31日	107,533,600円(R5分：35,851,200円)																															

事務事業名 保育施設等応援事業	予算現額	162,000,000円
	決算額	149,480,000円
所管 ことども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3・10 項 2・4 目 2・1 説明 01 児童福祉運営費・04 私立幼稚園費	不用額	12,520,000円
事業概要 (R5-2 議案第43～44号 P.12)	前年度決算額	156,920,000円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>電気・ガス・食料品等の価格高騰により、施設の運営経費が増大する中、保護者に負担を求めることなく安定した施設運営ができるよう、保育施設等に対して補助金を交付するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○対象施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生費分：市内の私立保育園（36）、認定こども園（8）、地域型保育事業施設（24）、新制度幼稚園（3）、認可外保育施設（24） 計95施設 100,860,000円</li> <li>・教育費分：未移行幼稚園（15）、幼稚園類似施設（1） 計16施設 48,620,000円 (補助金額…児童1人当たり20,000円)</li> </ul>		

事務事業名 送迎用バス安全装置設置補助事業	予算現額	4,025,000円																				
	決算額	3,586,620円																				
所管 ことども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0円																				
予算区分 款 3 項 2 目 2 説明 01 児童福祉運営費	不用額	438,380円																				
事業概要 (R5-3 議案第79～82号 P.27)	前年度決算額	—																				
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>児童送迎用のバスの車内置き去り防止のため、安全装置の設置が義務化されたことに伴い、市内保育施設等が運行するバスに安全装置を設置するための補助金を交付するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>本事業の実施により、設置義務がある市内のすべての保育施設等で、安全装置の設置を完了させることができた。</p> <p>○補助実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設種別</th> <th>施設数</th> <th>補助台数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内私立保育園</td> <td>1園</td> <td>バス 3台</td> <td>525,000円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園</td> <td>4園</td> <td>バス 13台</td> <td>2,255,000円</td> </tr> <tr> <td>認可外保育施設</td> <td>2園</td> <td>バス 5台</td> <td>806,620円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7園</td> <td>バス 21台</td> <td>3,586,620円</td> </tr> </tbody> </table>			施設種別	施設数	補助台数	補助金額	市内私立保育園	1園	バス 3台	525,000円	認定こども園	4園	バス 13台	2,255,000円	認可外保育施設	2園	バス 5台	806,620円	合計	7園	バス 21台	3,586,620円
施設種別	施設数	補助台数	補助金額																			
市内私立保育園	1園	バス 3台	525,000円																			
認定こども園	4園	バス 13台	2,255,000円																			
認可外保育施設	2園	バス 5台	806,620円																			
合計	7園	バス 21台	3,586,620円																			

事務事業名 保育士奨学金返済支援事業	予算現額	6,300,000円
	決算額	1,227,642円
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 2 目 2 説明 01 児童福祉運営費	不用額	5,072,358円
事業概要 (R5-3 議案第79~82号 P.28)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>保育人材を確保し、保育士が働きやすい環境を整備するため、保育所等で新たに勤務することとなった保育士に対し、奨学金の返済のための補助金を交付するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付人数：15人</li> <li>私立保育園 9園 10人、認定こども園 1園 2人、地域型保育事業施設 1園 3人</li> </ul>		

事務事業名 西所沢保育園空調設備改修事業	予算現額	—
	決算額	—
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	—
予算区分 款 3 項 2 目 4 説明 03 保育園施設費	不用額	—
事業概要 (R5-4 議案第119~125号 P.43)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>平成21年に導入した西所沢保育園の空調設備は老朽化が進むとともに、部品の故障により、空調の出力が低下している。また、既に部品供給が終了し修理が不可能な状況である。このことから、保育園施設の安全を確保し、適切な保育環境を維持するため、空調設備を更新するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立西所沢保育園空調設備改修工事（令和5~7年度継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選定方法：一般競争入札（2者）</li> <li>契約先：平岩設備工業株式会社</li> <li>工期：令和6年5月30日~令和7年9月30日</li> <li>契約金額：119,350,000円（令和6年度以降支払）</li> <li>内 容：西所沢保育園におけるキュービクル設置及び空調設備の更新</li> </ul>		

事務事業名 出産・子育て応援事業（伴走型相談支援）	予算現額	38,650,000円
	決算額	30,039,274円
所 管 こども未来部こども家庭センター	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 03 母子保健事業費	不用額	8,610,726円
事業概要 (R5-1 議案9～18号 P.78)	前年度決算額	0円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実と出産育児関連用品の購入等の負担軽減を図るための経済的支援を一体的に実施するものである。このうち本事業は、伴走型相談支援の充実を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和5年度より妊娠届出窓口を1か所に集約したことで、助産師や保健師による専門職面談が約98%となり、妊娠期から子育て期まで相談体制を整え、切れ目ない支援を実施した。</p> <p>○所沢市出産・子育て応援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約(こども政策課が契約)</li> <li>・委 託 先：トランス・コスモス株式会社</li> <li>・委託期間：上半期…令和5年3月27日～9月30日、下半期…令和5年10月1日～令和6年3月31日</li> <li>・委託金額：上半期…47,300,000円(こども家庭センター分15,766,666円) 下半期…29,480,000円(こども家庭センター分9,753,000円)</li> <li>・内 容：対象者への案内送付、コールセンターの設置・運営、未申請者への対応等</li> </ul>		

事務事業名 こども家庭センター開設準備事業（こども未来部所管分）	予算現額	20,889,000円
	決算額	19,312,336円
所 管 こども未来部こども家庭センター	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 11 児童家庭相談費	不用額	1,576,664円
事業概要 (R5-4 議案第119～125号 P.39)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>児童福祉法の改正により、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもたちを対象に一体的かつ切れ目のない相談支援を行う機関として、こども家庭センターの設置が規定されたことから、保健センター内にこども家庭センターを開設するための準備として執務環境の整備を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市保健センター1階事務室カウンター増設修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(3者)</li> <li>・契 約 先：株式会社本橋組</li> <li>・工 期：令和6年1月15日～3月29日</li> <li>・契約金額：1,595,000円</li> </ul> <p>○所沢市保健センター通信設備修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(2者)</li> <li>・契 約 先：橋電株式会社</li> <li>・工 期：令和6年1月19日～3月29日</li> <li>・契約金額：1,265,000円</li> </ul> <p>○健康管理システム端末の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契 約 先：富士通 Japan 株式会社</li> <li>・契約期間：令和6年1月18日～3月31日</li> <li>・契約金額：9,858,750円</li> </ul> <p>○所沢市保健センターフロアサイン等修繕・改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(3者)</li> <li>・契 約 先：ウチノ看板株式会社</li> <li>・工 期：令和6年1月15日～3月29日</li> <li>・契約金額：1,430,000円</li> </ul>		



## 健 康 推 進 部

---

### 1 保健医療課

- (1) 保健医療計画推進事業として、第2次所沢市保健医療計画の進捗管理及び点検・評価を行うなど、計画の推進に努めた。
- (2) 救急医療提供体制整備として、初期救急では在宅当番医制事業を、また、第二次救急では、所沢市、狭山市及び入間市の3市で構成される所沢地区において、所沢地区病院群輪番制病院運営事業及び小児科救急医療病院群輪番制事業を実施した。
- (3) 歯科診療事業として、所沢市歯科医師会を指定管理者とした所沢市歯科診療所あおぞらにおいて、一般の診療所では診療が困難な在宅要介護高齢者及び障害児者の歯科診療並びに休日緊急歯科診療を実施した。

### 2 国民健康保険課

- (1) 老人医療に関する事業として、後期高齢者の健康の保持増進のため健康診査を実施し、令和6年5月末現在の集計で16,877人が受診した。
- (2) 人間ドックの助成について、市民医療センターでの受診者に対し、人間ドック日帰りコース861人、生活習慣病コース162人、合計1,023人に検診料の助成を行った。

### 3 健康管理課

- (1) 精神保健事業については、精神保健福祉に係る相談や訪問支援を実施するとともに、重篤な精神障害者が住み慣れた地域で生活を維持していくことができるよう、引き続き、精神障害者アウトリーチ支援事業による訪問支援などを進めた。また、思春期専門相談による若年層への早期支援のほか、ピアサポーターの養成も引き続き実施した。
- (2) 保健事業については、がん検診等の各種検診を行い、疾病の早期

発見・早期治療につながるよう努めた。バス検診では、新たに子宮頸がん検診を実施し、乳がん検診と同時の受診を可能にした。さらに、全国健康保険協会埼玉支部と協力し、同支部が実施する特定健診と同日に、胃（バリウム検査）・肺がんのバス検診を、保健センターで実施することにより、市民の利便性の向上に努めた。

- (3) 予防接種事業については、予防接種法に定められている疾病に対して、小児及び高齢者を対象とした定期予防接種を実施し、対象者への個別通知等による周知を行った。また、令和5年7月より、小学校入学前までの定期予防接種で使用する予診票を冊子化し、一冊にまとめて発送する方法へ変更した。
- (4) 保健センター施設管理事業については、消費電力や二酸化炭素の排出削減に向けた取組として、保健センター多目的ホールLED化事業を実施したほか、保健センター内へのこども家庭センター設置に伴い、健康管理課の執務環境を整備するため、こども家庭センター開設準備事業として修繕等を行った。
- (5) 情報システム標準化対応事業としては、健康管理システムを標準化基準に適合したシステムへ移行するための準備を開始した。

#### 4 健康づくり支援課

健康指導事業については、市民の健康の保持・増進、疾病の予防・早期発見などを目的に、「からだ改善！健康応援講座」をはじめとする健康教育、健康相談、訪問指導、リハビリ事業などの各種事業を実施した。

また、「元気でいきいき健幸長寿のまち」の実現を目指して、気軽にできる「歩き」を中心に、楽しみながら健康増進を図る事を目的として令和2年7月から実施している「トコトコ健幸マイレージ」については、累計の参加申込者数が、令和6年2月末現在（最終値）で14,738人となった。

併せて新スマホアプリ（令和6年4月運用開始）導入に向けた事前周知や、登録方法等の案内を行った。

事務事業名 保健事業と介護予防の一体的実施事業	予算現額	6,947,000円
	決算額	6,043,236円
所管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 2 説明 03 老人医療費	不用額	903,764円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号資料 P.69)	前年度決算額	5,949,690円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>後期高齢者が抱えるフレイル（加齢に伴う虚弱）や認知症等の進行、社会的なつながりの低下といった課題に対応するため、保険者である埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携の下、後期高齢者の保健事業及び国民健康保険保健事業並びに介護保険の地域支援事業を一体的に実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○ハイリスクアプローチ（対象者を絞って個別に行う支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高血圧未治療の被保険者への健康相談イベント及び家庭訪問の実施：対象者337人のうち265人を支援した。 ※実施後アンケート回答の結果、医師に血圧の相談をした者23人、これから行う予定の者13人</li> <li>・健康状態が不明な被保険者への健康相談イベント及び家庭訪問の実施：対象者117人のうち109人を支援した。 ※実施後、包括支援センターにつないだ者2人、包括支援センターと同行訪問した者1人</li> </ul> <p>○ポピュレーションアプローチ（通いの場等を利用した健康教育）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所：「お達者倶楽部」、「百歳体操」（高齢者支援課所管） 「すこやか栄養教室」（健康づくり支援課所管）</li> <li>・参加者：合計289人（お達者倶楽部・百歳体操146人、すこやか栄養教室143人）</li> <li>・内容：医療職による講話の実施</li> </ul>		

事務事業名 保健センター多目的ホールLED化事業	予算現額	6,347,000円
	決算額	6,347,000円
所管 健康推進部健康管理課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 1 説明 06 保健センター施設管理費	不用額	0円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号資料 P.72)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>保健センター多目的ホール及び2階共用部分に設置されている水銀灯照明器具（59か所）をLED照明器具へ改修するものである。また、水銀灯照明器具をLED照明器具へ切り替えることで、消費電力の削減や二酸化炭素の排出削減を図る。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○多目的ホールLED化修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（3者）</li> <li>・契約先：株式会社橋電</li> <li>・工期：令和5年5月8日～8月31日</li> <li>・契約金額：4,378,000円</li> <li>・内容：多目的ホール内の照明器具39台の交換</li> </ul> <p>○2階共用部分照明LED化修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（3者）</li> <li>・契約先：株式会社橋電</li> <li>・工期：令和5年11月2日～令和6年3月15日</li> <li>・契約金額：1,969,000円</li> <li>・内容：ホール前、乳幼児健診待合等、 2階共用部分の照明器具20台の交換</li> </ul>		

事務事業名 精神障害者アウトリーチ支援事業	予算現額	44,550,000円
	決算額	44,550,000円
所管 健康推進部健康管理課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 1 説明 07 精神保健事業費	不用額	0円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.75)	前年度決算額	44,550,000円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>重篤な精神障害者が住み慣れた地域で生活を継続していくために、医療・保健・福祉の各分野の専門職チーム（アウトリーチチーム）による包括的な支援を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：精神疾患が疑われる未受診者、精神科医療の受診中断者等</li> <li>・支援内容：対象者及び家族への訪問・来所相談・電話相談（24時間）対応、ピアサポーター養成</li> <li>・支援実績：令和6年3月末 登録者数93人 延べ支援件数8,076件（訪問件数2,560件、来所相談577件、電話相談4,939件） ピアサポーター養成のつどい12回 延べ99人参加</li> </ul> <p>○精神障害者アウトリーチ支援事業委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：国立研究開発法人 国立精神神経医療研究センター</li> <li>・委託期間：令和3年10月1日～令和6年9月30日</li> <li>・委託金額：133,650,000円（令和5年度分44,550,000円）</li> </ul>		

事務事業名 情報システム標準化対応事業（健康管理システム分）	予算現額	15,103,000円
	決算額	14,683,350円
所管 健康推進部健康管理課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 1 説明 02 保健予防総務費	不用額	419,650円
事業概要 (R5-3 議案第79～82号 P.32)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>令和3年9月の地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合したシステムへ移行することが義務付けられたことを受け、健康管理システムについて標準化基準に適合したシステムを導入するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>人的・財政的な負担の軽減及びオンライン申請等の普及を目的とした準備を進めた。</p> <p>○令和5年度健康管理システム標準化対応業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：株式会社両備システムズ</li> <li>・委託期間：令和5年10月25日～令和6年3月31日</li> <li>・委託金額：14,683,350円</li> <li>・内容：検証機の導入、検診予約管理システムの導入、標準化対応外業務の調査等</li> </ul>		

事務事業名 こども家庭センター開設準備事業（健康推進部所管分）	予算現額	4,678,000円
	決算額	4,639,030円
所管 健康推進部健康管理課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 1 説明 06 保健センター施設管理費	不用額	38,970円
事業概要 (R5-4 議案第119-125号 P.47)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>児童福祉法の改正により、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもたちを対象に一体的かつ切れ目のない相談支援を行う機関として、こども家庭センターの設置が規定されたことから、保健センター内にこども家庭センターを開設するための準備として、健康管理課の事務スペース確保に必要な施設修繕及び事務用品を購入するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○保健センター301会議室改修修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（3者）</li> <li>・契約先：株式会社橋電</li> <li>・工期：令和6年1月10日～3月15日</li> <li>・契約金額：4,543,000円</li> <li>・内容：会議室を事務室に転用するための電源、電話、ネットワーク回線の整備及び照明器具の交換</li> </ul> <p>○事務用品の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入金額：96,030円</li> <li>・内容：健康管理課執務スペースで使用するパーティション等</li> </ul>		

事務事業名 トコトコ健幸マイレージ事業	予算現額	18,565,000円
	決算額	17,736,379円
所管 健康推進部健康づくり支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 01 健康指導費	不用額	828,621円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.77)	前年度決算額	14,931,399円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、令和元年度まで実施してきた「トコロん健幸マイレージ事業」のコンセプトを継承し、参加者の拡大と事業費抑制の両立を図るため、令和2年7月より埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ事業」に参入したものである。気軽に実践できる「歩き」を中心に、市民が楽しんで健康づくりを継続できるよう支援するとともに、県のポイント・景品に加えて、市独自のポイント・景品を設定することで、より充実した事業を展開している。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年2月末参加者：14,738人 ※事業の見直しに伴い、令和6年2月末が最終値となっている。（スマホアプリ利用者：11,715人、歩数計利用者：3,023人）</li> <li>・参加者の1日平均歩数：7,231歩</li> </ul> <p>○健幸マイレージ事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：日本健保株式会社</li> <li>・委託期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日</li> <li>・委託金額：3,564,000円のうち当課負担分2,779,920円 ※国民健康保険課と案分（78:22）</li> <li>・内容：参加者の情報及び歩数履歴の管理、市独自ポイントの集計とポイント付与メールの一斉配信</li> </ul> <p>○健幸マイレージ景品業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：株式会社corot（コロット）</li> <li>・委託期間：令和6年1月15日～3月31日</li> <li>・委託金額：16,072,100円のうち当課負担分12,536,238円 ※国民健康保険課と案分（78:22）</li> <li>・内容：店舗との交渉及び連絡調整、お食事券等の印刷及び発送</li> </ul>		



## 環境クリーン部

---

### 1 マチごとエコタウン推進課

- (1) 市内の事業者や団体等で構成する所沢市脱炭素経営ネットワーク会議を設立し、市内事業者等の脱炭素経営に向けた取組を推進した。
- (2) 脱炭素社会の実現に向けて、市民の気候変動問題に取り組む機運を醸成するため、シンポジウムを開催した。
- (3) スマートハウス化推進補助事業では、断熱改修等のエコリフォームや太陽光発電等の導入に対して、その費用の一部を助成することにより、家庭から排出される二酸化炭素の排出量削減を推進した。
- (4) メガソーラー所沢及びフロードソーラー所沢の設置運営事業等により、市域での再生可能エネルギーの利用を推進した。
- (5) ゼロカーボンシティの宣言、関係法令の改正等や、社会情勢の変化に対応するため、所沢市環境審議会の答申を受け、所沢市マチごとエコタウン推進計画（第3期所沢市環境基本計画）の中間改定を行った。

### 2 環境対策課

- (1) 大気汚染状況の常時監視事業として、常時監視測定局5局において、大気汚染物質（光化学オキシダント等）の監視測定を実施した。また、光化学スモッグ注意報等（注意報：3回）の発令時に、固定系防災行政無線及びところざわほっとメール等を活用し、市民に注意喚起を行った。
- (2) 公共用水域等汚濁状況の常時監視事業として、公共用水域においては、柳瀬川・東川・不老川の各地点で水質の監視測定を実施した（13地点）。また、地下水においては、概況調査（2地点）及び継続監視調査（20地点）を実施した。
- (3) ところざわ環境データブック作成事業として、大気・河川などの環境調査結果を取りまとめた「ところざわ環境データブック 2023年度版」を発行し、市内の環境情報を広く市民に周知した。

- (4) 規制対象事業所検査事業として、133 か所の大気規制対象事業所及び 51 か所の水質規制対象事業所に対して、立入検査又は報告徴収を行い、法令遵守不履行の事業所（大気規制対象事業所 10 か所、水質規制対象事業所 7 か所）については、注意等の指導を行った。

### 3 生活環境課

- (1) 「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動について、環境推進員と連携して春と秋に実施し、町内会・自治会等から 41,192 人が参加し、64.86t のごみを回収した。
- (2) 一般家庭生活廃水くみ取り事業について、一般家庭から排出される生活廃水（し尿を除く。）のくみ取り（回数：750 回、くみ取り量：1,710,480ℓ、手数料：1,026,288 円）を行った。
- (3) 犬の登録・狂犬病予防注射管理事業について、新規に 1,149 頭を登録し、登録総数は 14,856 頭となった。また、狂犬病予防注射は、11,180 頭が接種を受け、狂犬病予防注射済票を交付した。
- (4) 歩きたばこ等防止啓発事業について、路上喫煙禁止地区内のパトロールの実施や路上喫煙禁止啓発用シートの張り替えを 23 か所行った。
- (5) 害虫及び有害鳥獣駆除事業について、オオスズメバチの巣（5 件）の駆除及びアライグマの罠に入った錯誤捕獲のハクビシン（4 頭）の防除を行った。

また、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づくアライグマ個体分析調査業務単価契約により、アライグマを 120 頭捕獲し、分析調査結果を県へ報告した。

### 4 みどり自然課

- (1) みどりの保全施策として、三ヶ島二丁目里山保全地域の指定拡大を行ったほか、くぬぎ山特別緑地保全地区、上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域、北野南二丁目里山保全地域、小手指ふるさとの緑の景観地内の土地計 11 筆を購入し、公有地化した。
- (2) まちなかにおけるみどりを創出し、市民の憩いの場とするため、

東狭山ヶ丘一丁目及び北中三丁目地内の 2 か所に、みどりのエコスポットを整備した。

- (3) 自然や生きものに気軽に親しむ機会を創出するため、カブトムシ、クワガタムシ等の昆虫類を繁殖するための落ち葉溜め等を 5 か所の緑地に設置した。
- (4) 私有林でナラ枯れ被害等により枯死した立木について、倒木による人的被害等の防止と、ナラ枯れ被害による樹木減少の低減を目的に、61 本分の伐採及び植樹費用の補助を行った。
- (5) 大字上山口地内に残された貴重な水田の保全を図るため、地域団体（2 団体）との協働で、水田 6 筆について耕作、田植え、稲刈り等を行った。
- (6) みどりの保全及び緑化の推進に係る活動を行う団体や個人を対象とする「みどりのパートナー」(令和 5 年度末登録団体数 63 団体、登録者数 1,659 人)に対し、育成講座の開催や活動費助成等を行った。
- (7) 保存樹木、保存樹林、ふるさとの樹の永続的な指定のため、所有者への支援として 1 件の維持管理費補助を行った。

## 5 資源循環推進課

- (1) 総ごみ量は約 89,044t であり、前年度(約 92,983t)から約 3,939t の減、東西クリーンセンターにおける年間焼却量は約 70,125t で、前年度(約 75,538t)から約 5,413t の減、リサイクル率は 30.9% で、前年度(30.9%)と増減はなかった。また、粗大ごみは、収集点数 26,793 点で、前年度(27,279 点)から約 1.8%減少した。
- (2) 更なるごみの減量や効果的な資源化を推進するため、廃棄物減量等推進審議会(開催回数:5 回)において、所沢市一般廃棄物処理基本計画の改定について検討を進めた。
- (3) プラスチックごみ削減の取組として、公共施設に給水スポットを設置し、マイボトルの持ち歩きを促進した。
- (4) 西部クリーンセンターが令和 14 年度以降に施設の更新時期を迎えるため、所沢市・入間市ごみ共同処理施設整備検討会を令和 5 年

4月に設置し、ごみ共同処理施設整備の可能性について検討した。

(開催回数：幹事会6回、検討会1回)

- (5) 第2一般廃棄物最終処分場整備事業については、令和7年10月の供用開始を目指し、令和5年4月から、廃棄物を安全に貯留する構造物などの工事を実施した。
- (6) 第2一般廃棄物最終処分場整備に伴う周辺整備事業については、国道463号アンダーパスの歩道整備に係る歩道修正詳細設計などを実施した。
- (7) リサイクルふれあい館においてリデュース（発生抑制）、リユース（再使用）及びリサイクル（再生利用）に関する展示や各種体験講習会の開催、再生家具・古着・陶磁器等の頒布（全55,112点）を実施し、市民の意識啓発に努めた。

## 6 東部クリーンセンター

- (1) 焼却施設及びリサイクルプラザについては、施設運営の効率性の向上を図り、安定した稼働を確保するため、長期包括運營業務委託を引き続き実施し、委託事業者とともに質の高い施設運営に努めた。
- (2) 家庭ごみ等受入業務のうちプラットホームでの受入作業を長期包括運營業務委託とし、迅速かつ適切な受入れに努めた。また、本センターでのごみ受入量は、事業系11,066t、家庭系37,579tとなり、154,000台の搬入車両について、迅速かつ適切な誘導等に努め、場内での安全を確保した。
- (3) 発電量の増加や電力使用量の削減を図り6,595,800kWhの余剰電力を売電した。

## 7 西部クリーンセンター

- (1) 焼却施設及び容器包装プラスチック処理施設については、施設運営の効率性の向上を図り、安定した稼働を確保するため、長期包括運營業務委託を引き続き実施し、委託事業者とともに質の高い施設運営に努めた。

- (2) 北野一般廃棄物最終処分場（平成 17 年 3 月埋立終了）については、必要な水処理や環境測定を継続するなど適切な維持管理に努めた。なお、稼働開始から長期間経過して老朽化が著しい浸出液処理施設の延命化を図るため、改修工事を実施し完了した。
- (3) 本センターでのごみ受入量は、事業系 1,857t、家庭系 22,703t となり、93,700 台の搬入車両について迅速かつ適切な誘導等に努め、場内での安全を確保した。

## 8 収集管理事務所

- (1) 公衆衛生環境の向上及び循環型社会の推進のため、ごみ集積所に排出された家庭ごみの分別指導に努め、安定的な収集運搬を行った。
- (2) ごみを自らがごみ集積所へ出すことが困難な高齢者等に対して、利用者宅の戸口先において直接収集する「ふれあい収集」を 736 世帯に対して行った。

事務事業名 所沢市からはじめるマチごとゼロカーボン運動事業	予算現額	2,000,000円
	決算額	1,065,944円
所 管 環境クリーン部マチごとエコタウン推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 01 環境総務費	不用額	934,056円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.79)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>令和5年4月に施行した所沢市脱炭素社会を実現するための条例の趣旨を踏まえ、2050年のゼロカーボンシティを実現するためには、各主体が地球温暖化を自分事として捉えつつ、スピード感をもって様々な取組を実行していく必要がある。本事業は、ゼロカーボンシティ実現に向けて、各主体が一体となった取組を進めるため、事業者や市民を巻きこんだ事業推進のきっかけづくりとすることを目的として実施するものである。</p>		
<p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市脱炭素経営ネットワーク会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本部会議 開催日：令和5年8月8日（火） 参加数：21団体（37人）</li> <li>作業部会 開催日：令和5年10月17日（火） 参加数：19団体（32人）</li> <li>セミナー 開催日：令和5年12月11日（月） 参加数：[対面]7団体（10人）、[WEB]13団体（20人）</li> <li>交流会 開催日：令和6年1月26日（金） 参加数：45団体（約90人）</li> <li>環境展示会 期間：令和6年3月13日（水）～19日（火） 場所：市役所市民ホール 来場者数：1,724人</li> </ul> <p>○所沢市ゼロカーボンシティ・シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：令和5年9月28日（木）</li> <li>場 所：所沢市民文化センターミュージズ 来場者数：185人</li> </ul> <p>○出前講座開催</p> <p>[市内小中学生向け]4回 [市民等向け]8回 受講者数：計870人</p>		
		 

事務事業名 0円太陽光推進補助事業	予算現額	23,400,000円				
	決算額	2,243,000円				
所 管 環境クリーン部マチごとエコタウン推進課	翌年度繰越額	0円				
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 01 環境総務費	不用額	21,157,000円				
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.80)	前年度決算額	—				
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、住宅等に太陽光発電システムを初期費用なしで設置するサービスの提供事業者に対し、設置費用の一部を助成することで、市域における太陽光発電のさらなる普及を推進し、電力消費に伴う二酸化炭素排出量を削減させるものである。</p>						
<p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○事業登録実績 事業者数：3者 プラン数：8プラン</p> <p>○補助実績</p>						
	項目	補助単価	上限	申請件数	補助金額	
太陽光 発電シ ステム	① 太陽光発電設備のみの設置	2.8万円/kW	14万円	1件	140,000円	
	② 太陽光発電設備（EMSを同時に設置するもの）	3万円/kW	15万円	3件	393,000円	
	③ 太陽光発電設備及び蓄電池を同時に設置するもの	太陽光発電設備	3万円/kW	15万円	5件	654,000円
		蓄電池	3万円/kWh	24万円		1,056,000円
合 計				9件	2,243,000円	

事務事業名 再生可能エネルギー普及推進事業	予算現額	60,861,000円
	決算額	60,541,055円
所 管 環境クリーン部マチごとエコタウン推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 01 環境総務費	不用額	319,945円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.82) (R5-4 議案第119～125号 P.49) (R6-1 議案第3～7号 P.23)	前年度決算額	64,709,165円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、所沢市マチごとエコタウン推進計画に基づき、脱炭素社会の実現に向け、市域の再生可能エネルギー利用を推進するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メガソーラー所沢、フロートソーラー所沢の設置運営事業</li> <li>・市有施設の屋根貸しによる太陽光発電設置事業</li> <li>・所沢版 RE100（使用電力を再生可能エネルギー100%由来にする活動）</li> </ul>		
		
<p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>メガソーラー所沢及びフロートソーラー所沢について適切に管理運営することで、市域における再生可能エネルギーの普及を図るとともに、メガソーラー所沢、フロートソーラー所沢及び屋根貸し太陽光発電事業の発電電力は、株式会社ところざわ未来電力の電源として、電力の地産地消に貢献した。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メガソーラー所沢 売電量：1,099,270kWh、売電額：43,531,087円</li> <li>・フロートソーラー所沢 売電量：476,642kWh、売電額：12,583,344円</li> <li>・市有施設の屋根貸しによる太陽光発電 発電量：927,981kWh</li> </ul>		

事務事業名 公共施設太陽光発電設備設置事業	予算現額	—
	決算額	—
所 管 環境クリーン部マチごとエコタウン推進課	翌年度繰越額	—
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 01 環境総務費	不用額	—
事業概要 (R5-4 議案第119～125号 P.50)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、再生可能エネルギーの創出、電力使用に伴う二酸化炭素排出量削減及び災害時のエネルギー供給の機能を発揮させることを目的とし、16の公共施設に太陽光発電設備を設置するものである。令和5年4月に完了した公共施設太陽光発電導入可能性調査の結果を受け、設計・施工・維持管理業務を含めた10年間の包括リース契約をするものである。</p>		
<p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○公共施設太陽光発電設備設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象施設：中富南コミュニティセンター、所沢市民文化センター、松井まちづくりセンター、所沢サン・アビリティーズ、老人憩の家こてさし荘、かしの木学園、わかば児童館、柳瀬保育園、保健センター、リサイクルふれあい館、収集管理事務所、ラーク所沢、生涯学習推進センター、埋蔵文化財調査センター、教育センター、東所沢小学校</li> <li>・選定方法：公募型プロポーザル（4者）</li> <li>・仮契約の相手方：所沢市 B&amp;T 共同企業体</li> <li>・契約期間：10年間</li> <li>・仮契約金額：811,272,000円</li> <li>・内容：包括リース方式による市公共施設への太陽光発電設備の設置（設計、施工、維持管理業務を含む。）</li> </ul> <p>※本事業は国の補助事業「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業（補助率1/2）」の活用を予定しており、国の採択を受けた後に本契約を締結する。</p>		

事務事業名 生きものと子どもが出会う森づくり事業	予算現額	150,000 円
	決算額	143,000 円
所 管 環境クリーン部みどり自然課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 04 みどり推進費	不用額	7,000 円
事業概要 (R5-1 議案 9～18 号 P.83)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、自然や生きものへの親しみや関心を高めていくことを目的に、市街地等からアクセスの良い樹林地において、カブトムシ、クワガタムシ、ヤマトタマムシ等の昆虫類を繁殖するためのプール（落ち葉溜め、伐木のストック）を設置し、虫取りや観察などの場を提供することで、自然や生きものに気軽に親しむ機会を創出するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>落ち葉溜め、伐木のストックを 5 か所の樹林地内に設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所：上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域 三ヶ島二丁目里山保全地域 久米八幡越市民緑地 畦ノ前緑地（荒幡） 若松小学校学習林</li> </ul>		



事務事業名 里山保全地域等指定整備事業	予算現額	70,334,906 円
	決算額	67,215,442 円
所 管 環境クリーン部みどり自然課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 04 みどり推進費	不用額	3,119,464 円
事業概要 (R5-1 議案 9～18 号 P.84)	前年度決算額	37,450,606 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、市内に残された貴重な緑地を保全し、未来の子どもたちにふるさと所沢のみどりを継承するため、地権者等の協力を得ながら、都市緑地法等に基づく緑地保全制度の指定を行い、保全管理計画を策定するほか、相続や開発等により消失の恐れがある緑地について、土地の取得（寄附受入れを含む。）により、公有地化を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○地域制緑地の指定拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三ヶ島二丁目里山保全地域(三ヶ島二丁目 601 番 外) の指定拡大 指定面積：10.31ha（うち 0.47ha を拡大）（令和 5 年 9 月 1 日指定）</li> </ul> <p>○土地の購入による公有地化</p> <p>くぬぎ山特別緑地保全地区内、上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内、北野南二丁目里山保全地域内、小手指ふるさとの緑の景観地内における土地の一部を、埼玉県と概ね 2 分の 1 ずつ取得した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所 在：大字中富 1536 番 外 3 筆、大字上山口 444 番 1 外 3 筆、北野南二丁目 28 番 22、若狭二丁目 1669 番 26 外 1 筆</li> <li>・面 積：25,869.83 m<sup>2</sup>（本市 13,694.95 m<sup>2</sup>、県 12,174.88 m<sup>2</sup>）</li> </ul>		

事務事業名 みどりのエコスポット整備事業	予算現額	5,200,000円
	決算額	4,730,000円
所 管 環境クリーン部みどり自然課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 04 みどり推進費	不用額	470,000円
事業概要 (R5-1 議案9~18号 P.85)	前年度決算額	4,996,200円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、所沢しみどりの基本計画において重点的に緑化に配慮すべき区域とした緑化重点地区内の低未利用地のうち、300㎡未満の土地について、市民の憩いの場として整備することで、みどりの貴重なまちなかにおいて動植物の生息・生育地を創出するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>東狭山ヶ丘一丁目及び北中三丁目地内に、みどりのエコスポット2か所の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所：東狭山ヶ丘一丁目32番4（面積：219.78㎡）</li> <li>北中三丁目44番16（面積：249.85㎡）</li> </ul> <p>○みどりのエコスポット整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（5者）</li> <li>・契約先：有限会社増田造園土木</li> <li>・工期：令和6年2月2日～3月28日</li> <li>・契約金額：4,730,000円</li> <li>・内容：既設柵撤去、ナツハゼ・コナラ等在来種の植樹、草花植生マットの植栽、張芝、浸透層の設置、市内樹林地の間伐材によるベンチの設置</li> </ul>		
		

事務事業名 ナラ枯れ被害木等伐採及び植樹補助事業	予算現額	4,926,000円
	決算額	4,864,480円
所 管 環境クリーン部みどり自然課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 04 みどり推進費	不用額	61,520円
事業概要 (R5-3 議案第79~82号 P.34)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、私有林でナラ枯れ被害等によって枯死した立木について、倒木による人的被害や家屋等への被害防止、また、ナラ枯れ被害等による樹木減少の低減を目的として、枯死した立木を伐採し、新たに植樹を行う者に対して、費用の一部を助成するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請件数：10件</li> <li>・伐採本数：61本</li> <li>・補助率：伐採1/2（1本あたり上限額200,000円）</li> <li>植樹10/10（1本あたり上限額5,000円）</li> <li>・補助金額：4,861,000円</li> <li>（うち伐採分4,556,000円、植樹分305,000円）</li> </ul>		

事務事業名 非プラスチック製容器等使用促進支援事業	予算現額	8,143,000円																														
	決算額	873,000円																														
所 管 環境クリーン部資源循環推進課	翌年度繰越額	0円																														
予算区分 款 4 項 2 目 1 説明 02 清掃総務事務費	不用額	7,270,000円																														
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.86)	前年度決算額	—																														
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、市内飲食店等においてテイクアウト需要が拡大したことで、プラスチック容器の廃棄量増加が懸念されるため、使い捨てプラスチックごみの発生抑制に取り組む飲食店等に補助金を支給し、脱プラスチックの促進を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>所沢市非プラスチック製容器等使用促進補助金交付要綱に基づき、テイクアウトや出前弁当等の容器を、使い捨てプラスチック容器からリユース食器や紙製容器及びバイオマスプラスチック容器等の環境に配慮した素材でできた容器への移行等を行った市内事業者に対し、1店舗当たり5万円を上限として補助金を交付した。</p> <p>○申請業者 19業者 (20店舗) 補助合計額 873,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>切替え個数</th> <th>切替え個数割合</th> <th>補助対象金額</th> <th>補助対象金額割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リユース食器</td> <td>9個</td> <td>0.1%</td> <td>48,000円</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>紙製容器包装</td> <td>19,280個</td> <td>65.5%</td> <td>711,600円</td> <td>81.5%</td> </tr> <tr> <td>木・竹製容器包装</td> <td>2,000個</td> <td>6.8%</td> <td>50,000円</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>バイオマスプラスチック容器</td> <td>8,150個</td> <td>27.6%</td> <td>63,400円</td> <td>7.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29,439個</td> <td>100%</td> <td>873,000円</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>				切替え個数	切替え個数割合	補助対象金額	補助対象金額割合	リユース食器	9個	0.1%	48,000円	5.5%	紙製容器包装	19,280個	65.5%	711,600円	81.5%	木・竹製容器包装	2,000個	6.8%	50,000円	5.7%	バイオマスプラスチック容器	8,150個	27.6%	63,400円	7.3%	合計	29,439個	100%	873,000円	100%
	切替え個数	切替え個数割合	補助対象金額	補助対象金額割合																												
リユース食器	9個	0.1%	48,000円	5.5%																												
紙製容器包装	19,280個	65.5%	711,600円	81.5%																												
木・竹製容器包装	2,000個	6.8%	50,000円	5.7%																												
バイオマスプラスチック容器	8,150個	27.6%	63,400円	7.3%																												
合計	29,439個	100%	873,000円	100%																												

事務事業名 一般廃棄物処理施設検討事業	予算現額	5,000,000円
	決算額	4,345,000円
所 管 環境クリーン部資源循環推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 2 目 1 説明 02 清掃総務事務費	不用額	655,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.87)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、西部クリーンセンターが令和14年度以降に施設の更新時期を迎えるため、隣接する入間市とのごみ共同処理施設整備の可能性について検討を進めるものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市・入間市ごみ共同処理施設整備検討会開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹事会：令和5年5月10日、7月7日、8月10日、11月24日、12月26日、令和6年3月28日 計6回</li> <li>・検討会：令和5年10月10日</li> </ul> <p>○所沢市・入間市ごみ共同処理施設整備検討支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(3者)</li> <li>・委託先：株式会社エイト日本技術開発 北関東支店</li> <li>・委託期間：令和5年5月17日～令和6年3月29日</li> <li>・委託金額：4,345,000円</li> <li>・内 容：所沢市・入間市ごみ共同処理施設整備検討会における資料作成等支援業務</li> </ul>		

事務事業名 第2 一般廃棄物最終処分場整備に伴う周辺整備事業	予算現額	9,477,000 円
	決算額	4,840,000 円
所 管 環境クリーン部資源循環推進課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 2 目 2 説明 06 一般廃棄物最終処分場整備費	不用額	4,637,000 円
事業概要 (R5-1 議案第9~18号 P.88)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、令和7年度の供用開始を目指し整備を進めている第2一般廃棄物最終処分場の周辺地域（大字坂之下地区、大字南永井地区）について、生活環境の向上を図る観点から、都市基盤の整備等を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道463号アンダーパス（市道2-4号線）の歩道拡幅整備（設計・測量委託）</li> <li>・浸透井等の関係部署との協議（雨水排水の改善）</li> </ul> <p>○市道2-4号線路線測量等・概略設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（6者）</li> <li>・委託先：株式会社ダイヤシティプランニング</li> <li>・委託期間：令和5年6月23日～令和6年2月29日</li> <li>・委託金額：4,840,000円</li> <li>・内 容：設計業務・測量業務（歩道修正詳細設計、基準点測量、路線測量）</li> </ul>		

事務事業名 一般廃棄物減量化方策推進事業	予算現額	7,267,000 円
	決算額	575,989 円
所 管 環境クリーン部資源循環推進課	翌年度繰越額	6,435,000 円
予算区分 款 4 項 2 目 1 説明 02 清掃総務事務費	不用額	256,011 円
事業概要 (R5-1 議案第9~18号 P.90)	前年度決算額	11,631,815 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本市におけるごみ量の減少率の鈍化やこれまでの所沢市廃棄物減量等推進審議会の答申を踏まえ、更なるごみ減量・資源化の推進に向けて、引き続き同審議会で審議を進めるとともに、ごみ処理手数料の見直しや他市の先進的な事例の調査を行い、所沢市一般廃棄物処理基本計画の改定作業を進める。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市廃棄物減量等推進審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催状況：令和5年7月26日、8月17日、11月28日、令和6年1月31日、3月28日の計5回開催</li> <li>・内容：所沢市一般廃棄物処理基本計画の改定について</li> </ul> <p>○所沢市一般廃棄物減量化方策推進業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：国際航業株式会社 埼玉支店</li> <li>・委託期間：令和5年6月8日～令和6年6月28日</li> <li>・委託金額：6,435,000円</li> <li>・内 容：所沢市一般廃棄物処理基本計画改定作業及び審議会における資料作成支援等</li> </ul> <p>※本事業については、予算額 6,435,000 円を令和6年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 第2 一般廃棄物最終処分場整備事業	予算現額	1,016,212,000円
	決算額	942,277,304円
所 管 環境クリーン部資源循環推進課	翌年度繰越額	34,397,000円
予算区分 款 4 項 2 目 2 説明 06 一般廃棄物最終処分場整備費	不用額	39,537,696円
事業概要 (R5-1 議案第9~18号 P.91) (R5-4 議案第119~125号 P.56)	前年度決算額	465,964,496円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、北野一般廃棄物最終処分場の埋立てが平成17年3月末をもって終了したため、自区内処理の原則に基づき、市内に新たな一般廃棄物最終処分場を整備するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和7年10月の供用開始を目指し、令和5年4月から建設工事を開始。造成工事及び貯留構造物工事等を行っており、令和5年度末時点での進捗率は13.04%。</p> <p>○第2 一般廃棄物最終処分場（やなせみどりの丘）建設工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：プロポーザル方式（3者）</li> <li>・契約先：戸田建設株式会社関東支店</li> <li>・工期：令和4年3月25日～令和7年9月30日</li> <li>・契約金額：6,167,876,000円（令和5年度支払額727,375,000円）</li> <li>・内容：最終処分場の実施設計及び建設工事</li> </ul> <p>○第2 一般廃棄物最終処分場施工監理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（4者）</li> <li>・委託先：株式会社エイト日本技術開発 北関東支店 ・委託期間：令和4年8月24日～令和7年10月31日</li> <li>・委託金額：92,950,000円（令和5年度支払額34,529,000円）</li> <li>・内容：最終処分場の設計・建設工事についての監理業務</li> </ul> <p>※本事業については、予算額34,397,000円を令和6年度へ逡次繰越し、実施する。</p>		

事務事業名 西部クリーンセンター長期包括運営業務委託に係る家庭ごみ等受入業務追加事業	予算現額	—
	決算額	—
所 管 環境クリーン部西部クリーンセンター	翌年度繰越額	—
予算区分 款 4 項 2 目 2 説明 04 西部クリーンセンター費	不用額	—
事業概要 (R5-3 議案第79~82号 P.36)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、家庭ごみの処理体制の確立及び安定した業務運営を図るため、清掃等現業務委託拡大計画に基づき、令和6年度から市民持込みステーション受入業務（計量受付業務を含む。）について委託化を行うものである。</p> <p>なお、本業務の委託については、既に締結済の長期包括運営業務委託契約に当該業務を追加して実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○西部クリーンセンター長期包括運営業務委託（家庭ごみ等受入業務追加分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：荏原環境プラント株式会社</li> <li>・委託期間：令和6年4月1日～令和14年3月31日</li> <li>・委託金額：800,800,000円（債務負担行為）※8年間総額</li> <li>・内容：①市民持込みステーション受入業務（フォークリフト、ショベルローダー等によるごみの受入れ）、仕分け、資源化、粗大ごみ粉碎、重機による搬出物の移動・積み込み等</li> <li>②計量受付業務（受付、計量等）</li> </ul>		

事務事業名 収集管理事務所等照明 LED 化整備事業	予算現額	6,303,000 円
	決算額	6,160,000 円
所 管 環境クリーン部収集管理事務所	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 2 目 2 説明 07 収集管理事業費	不用額	143,000 円
事業概要 (R5-1 議案第 9-18 号 P.94)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、消費電力の抑制による二酸化炭素の排出削減及び維持管理費の削減を目的として、収集管理事務所及び東所沢エコステーションの水銀照明灯について、LED 照明灯に改修するものである。これにより、水銀による環境汚染・健康被害の防止、LED 化による消費電力の抑制による二酸化炭素の排出削減及び維持管理費の削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市収集管理事務所照明器具交換修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（3 者）</li> <li>・契 約 先：橋電株式会社</li> <li>・工 期：令和 5 年 6 月 20 日～11 月 30 日</li> <li>・契約金額：6,160,000 円</li> <li>・内 容：エコステーションストックヤード照明、収集管理事務所エントランス照明、構内外灯を LED 化</li> </ul>		



# 産 業 経 済 部

---

## 1 産業振興課

- (1) 企業誘致施策として、市内へ工場等を立地した企業に対し企業立地等奨励金の交付や、事務所等を新たに賃借し、製造業や都市型産業を営む企業に対し都市型産業等育成補助金の交付を行うとともに、埼玉県主催の企業立地セミナーin大阪への参加、市内不動産賃貸事業者 21 社への訪問及び一般社団法人日本立地センターの機関紙「産業立地」への広告掲載を行い PR に努めた。
- (2) 産業施策として、所沢ブランド特産品推進事業において、新たに 2 品の特産品を認定するとともに、パンフレットやウェブサイト、市民フェスティバルへの出店等により積極的な PR に努めた。
- (3) 労働施策として、指定管理者による勤労者福祉施設ラク所沢の運営を実施したほか、国や県と連携した就労支援事業や労働セミナーの実施、中小企業勤労者福祉サービスセンターへの支援を行った。

## 2 商業観光課

- (1) 観光振興施策として、地域の特性を活かしたにぎわい拠点（にぎわいトコロ）の創出・活性化に向けた事業を行うものに対し、事業費の一部を補助するとともに、市内外からの観光客の増加を図るため、市内の観光スポット等の場所や経路を示す道標と観光案内板等を整備した。
- (2) 商業振興施策として、魅力ある商店街創出支援事業において商店街事業や商店街の施設環境整備について補助事業を実施した。
- (3) COOL JAPAN FOREST 構想の一環として、以下のとおり取り組んだ。
  - ① 所沢市観光情報・物産館 YOT-TOKO（よっとこ）を、本市の特産品の販売等を通じた魅力発信拠点にするため、指定管理者による管理運営を行った。
  - ② 今後のインバウンド需要を取り込むため、「台北国際旅行博」に本市のブースを出展し、市の PR を行った。また、外国人観光

客の受入体制整備のため、外国語ボランティアガイドを養成した。

### 3 農業振興課

- (1) 所沢市農業振興地域整備計画に基づき農用地の適切な管理を進めるとともに、全国的な課題となっている高齢化や後継者不足を起因とした農地の遊休化を未然に防ぐため、人・農地プランの改定及び農地の貸借の積極的な推進により、本市の農業の担い手となる認定農業者や認定新規就農者の規模拡大を支援した。
- (2) 農業者への農業経営支援として、環境への負荷を軽減した持続的な農業等を推進する環境にやさしい農業推進事業の充実を図るとともに、認定農業者に対しては認定農業者等経営改善推進事業により支援し、また、新規就農者に対しては新規就農総合支援事業等により、次世代の農業者育成に取り組んだ。
- (3) 令和5年7月に、世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営むものとして武蔵野地域における「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が、世界農業遺産に認定された。
- (4) 地産地消を推進するため、農産物直売所ガイドマップの作成や農産物直売所のぼり旗の配布、地産地消レシピの発行等、所沢産農産物の周知及び消費拡大に努めた。

事務事業名 企業誘致活動推進事業	予算現額	214,354,000円												
	決算額	212,707,091円												
所管 産業経済部産業振興課	翌年度繰越額	0円												
予算区分 款 7 項 1 目 2 説明 03 産業振興費	不用額	1,646,909円												
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.97)	前年度決算額	202,023,600円												
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、本市の立地環境を活かし、製造業、都市型産業（※）等の立地・拡大の推進及び育成に向け、奨励金又は補助金の交付等を行い、市内経済の活性化、雇用の創出及び税収の確保を図るものである。</p> <p>※都市型産業：情報通信業、アニメーション・コンテンツ・ICT関連産業、宿泊施設、社員20人以上の本社等をいう。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業立地等奨励金（工場等立地奨励金）の交付</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> <th>業種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6件</td> <td>207,533,100円</td> <td>製造業・情報通信業</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市型産業等育成補助金の交付</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> <th>業種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4件</td> <td>4,313,736円</td> <td>製造業・情報通信業・検査業</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>製造業、都市型産業等の誘致に係る市の特性及び産業支援策等のPR</li> </ul> <p>埼玉県主催の企業立地セミナーin大阪への参加、市内不動産賃貸事業者21社への訪問及び（一社）日本立地センターの機関紙「産業立地」への広告掲載。</p>			交付件数	交付額	業種	6件	207,533,100円	製造業・情報通信業	交付件数	交付額	業種	4件	4,313,736円	製造業・情報通信業・検査業
交付件数	交付額	業種												
6件	207,533,100円	製造業・情報通信業												
交付件数	交付額	業種												
4件	4,313,736円	製造業・情報通信業・検査業												

事務事業名 「まち」×「みどり」のおさんぽコース道標等整備事業	予算現額	7,800,000円
	決算額	7,099,730円
所管 産業経済部商業観光課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 7 項 1 目 3 説明 01 観光振興費	不用額	700,270円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.99)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、市内外からの観光客の増加を図るため、市内の観光スポット等の場所や経路を示す道標や観光案内板等を整備するものである。</p> <p>市内を歩きやすく、また、歩きたくなるように、「まち」×「みどり」のおさんぽコース上の道標やコース全体を示す観光案内板等を中心とした整備を行い、一層の充実を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道標新設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所：「まち」×「みどり」のおさんぽコースNo.4東川さくらコース 16か所</li> </ul> </li> <li>○観光案内看板板面作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所：1か所（狭山ヶ丘駅西口） ※多言語対応のための板面作成</li> <li>・設置場所：5か所（所澤神明社、牛沼神明神社、安松神社、鳩峯八幡神社、新光寺） ※経年劣化による板面作成</li> </ul> </li> <li>○既存道標の更新・撤去・板面作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所：「まち」×「みどり」のおさんぽコースNo.4東川さくら わき道コース 道標更新8か所、撤去1か所、板面作成6か所</li> </ul> </li> </ul>		

事務事業名 にぎわいトコロ創出支援事業	予算現額	1,600,000円
	決算額	1,513,000円
所管 産業経済部商業観光課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 7 項 1 目 3 説明 01 観光振興費	不用額	87,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.100)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、にぎわい拠点（にぎわいトコロ）の創出・活性化に向けた事業を行うものに対し、事業費の一部を補助するものである。</p> <p>地域の特性を活かしたにぎわい拠点の創出及び周知PRにより、新たな人の流れや出会いによるにぎわいを作り出し、市民のまちへの愛着や誇りを醸成するなど、新たなまちの魅力向上を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付件数：8件</li> <li>・交付金額：1,513,000円</li> <li>・内 容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢エリアマイクロツーリズム促進無料循環バス運行</li> <li>・所沢肉汁うどんマップでにぎわい創出事業</li> <li>・さよなら新所沢パルコ文芸・映像コンテスト(表彰式等)</li> <li>・インフラスタンドを利用したイベントの開催</li> <li>・うらトコ通りにぎわいマップ作成事業</li> <li>・所沢ソラバル2023</li> <li>・西とこ文化祭2023</li> <li>・所沢ひまわり畑</li> </ul> </li> </ul>		

事務事業名 「所沢市観光情報・物産館」活用事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）	予算現額	117,749,000円																					
	決算額	112,552,307円																					
所管 産業経済部商業観光課	翌年度繰越額	0円																					
予算区分 款 7 項 1 目 3 説明 01 観光振興費	不用額	5,196,693円																					
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.101)	前年度決算額	111,796,201円																					
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、令和3年5月29日に開館した所沢市観光情報・物産館を、本市の観光資源や特産物等の魅力発信拠点として運営し、効果的に活用していくものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度の来館者数（推計）：約17万人</li> <li>・SNS(Instagram、Facebook、中国SNS「Weibo」等)や館内展示等により本市の魅力を発信した。</li> <li>・所沢市観光情報・物産館が企画に携わり、産官学連携での新商品開発を実現した。</li> </ul> <p>【駐車場の利用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>駐車料金収入</th> <th>利用台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般車</td> <td>10,357,475円</td> <td>54,305台</td> </tr> <tr> <td>大型車</td> <td>2,443,830円</td> <td>911台</td> </tr> </tbody> </table> <p>【特産品販売所及び飲食スペースの利用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総売上</th> <th>売上点数</th> <th>レジ取引件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特産品販売所</td> <td>82,812,324円</td> <td>174,206点</td> <td>49,145件</td> </tr> <tr> <td>JIGONA cafe</td> <td>22,986,853円</td> <td>41,133点</td> <td>20,047件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○所沢市観光情報・物産館の管理運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者：所沢まちづくり共同事業体</li> <li>・指定期間：令和3年5月1日～令和6年3月31日</li> <li>・契約金額：207,689,912円 (令和5年度支払額 65,557,163円)</li> <li>・内 容：所沢市観光情報・物産館の利用許可、利用料金の徴収、施設の維持管理等</li> </ul> <p>○旧コンポストセンター跡地利活用事業契約(PFI事業契約)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：プロポーザル方式（1者）</li> <li>・契約先：平岩建設株式会社</li> <li>・契約期間：平成30年10月4日～令和13年4月30日</li> <li>・契約金額：948,934,567円 (令和5年度支払額 39,866,938円)</li> <li>・内 容：所沢市観光情報・物産館の設計・建設、開設準備等</li> </ul>				駐車料金収入	利用台数	一般車	10,357,475円	54,305台	大型車	2,443,830円	911台		総売上	売上点数	レジ取引件数	特産品販売所	82,812,324円	174,206点	49,145件	JIGONA cafe	22,986,853円	41,133点	20,047件
	駐車料金収入	利用台数																					
一般車	10,357,475円	54,305台																					
大型車	2,443,830円	911台																					
	総売上	売上点数	レジ取引件数																				
特産品販売所	82,812,324円	174,206点	49,145件																				
JIGONA cafe	22,986,853円	41,133点	20,047件																				

事務事業名 環境にやさしい農業推進事業	予算現額	5,162,000 円
	決算額	3,410,700 円
所 管 産業経済部農業振興課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 6 項 1 目 3 説明 01 農業振興対策費	不用額	1,751,300 円
事業概要 (R5-1 議案第 9~18 号 P.96)	前年度決算額	1,075,225 円

<事業の目的・内容>

本事業は、生産性の向上を図りつつ、環境への負荷を軽減した持続的な農業及び周辺住環境に配慮した農業を推進することにより、地球環境の保全に貢献し、安全で安心な農産物の生産に資するものであり、市が対象事業に係る経費について補助することで、環境にやさしい農業の促進を図るものである。

<事業の実績・成果>

令和 5 年度は、環境負荷の軽減及び二酸化炭素の削減等に重点を置いた事業として、補助対象経費等を見直すことにより、更なる充実を図った。

	補助上限額 (補助率 1/2)	取組の実施者数 (対象資材購入者数)	補助対象経費	補助額
生分解性マルチフィルム利用推進事業	3 万円	119 人	6,249,961 円	2,401,400 円
緑肥利用推進事業	1 万 5 千円	69 人	1,537,116 円	668,600 円
フェロモン剤利用推進事業	1 万 5 千円	76 人	694,447 円	340,700 円
合計		264 人	8,481,524 円	3,410,700 円



## 街づくり計画部

---

### 1 都市計画課

- (1) 魅力ある街なか空間創出推進事業では、街なかの回遊性と賑わいの創出を目的とした社会実験「STREET PLACE CHALLENGE」を実施するとともに、社会実験の実施報告及び地元事業者や有識者によるトークセッションを行うフォーラムを開催した。
- (2) 地域循環乗合ワゴン（ところワゴン）運行事業では、富岡地区において「ところワゴン」の実証運行を開始するとともに、三ヶ島地区においては、本格運行への移行に向けた準備を進めた。
- (3) 市内循環バス（ところバス）運行事業として4路線6コースを運行し、359,425人の利用があった。
- (4) ところバスEV導入事業では、ゼロカーボンシティの実現に寄与することを目的として、EVバスを1台導入した。

### 2 市街地整備課

- (1) 土地利用転換推進事業では、令和5年10月6日に、下安松東地区及び三ヶ島工業団地周辺地区を市街化区域に編入するとともに、土地区画整理事業を認可した。また、北秋津・上安松地区、下安松東地区、三ヶ島工業団地周辺地区などにおいて地権者組織が実施する事業に対する費用の助成等を行った。
- (2) 日東地区まちづくり事業では、所沢東町地区第一種市街地再開発事業の施行者である所沢東町地区市街地再開発組合に対し、解散及び事業の完了に向け、必要な助言・支援等を行った。また、日東地区内の骨格となる道路整備の実施に向け路線測量を行い、今後の整備方針について、整備予定区域内の大型地権者との意見交換を行った。
- (3) ファルマン通り交差点改良事業では、所沢東町地区第一種市街地再開発事業により生み出された歩道空間に、芝生等の植栽や水道設備等の整備を行った。さらに、両事業と一体的に実施しているファ

ルマン通り交差点外無電柱化整備事業において、主要地方道川越所沢線の東側と市道 1-4 号線に電線共同溝を整備した。

- (4) 元町交差点改良事業では、所沢駅西口の大型商業施設が令和 6 年秋に開業後、来店者が自動車で来店することに伴う周辺道路の渋滞が危惧されていることから、渋滞傾向の高い銀座通りやファルマン通り交差点の交通渋滞の影響を低減させることを目的として、元町交差点に右折レーンと右折矢印信号を整備する。令和 5 年度は、改良工事に向けた詳細設計を行った。
- (5) 出歩きストリート創出（歩行空間整備）事業では、銀座通りに歩行空間の連続性を確保し、歩きやすいまちづくりや賑わいの創出につなげることを目的として、沿線のマンションの敷地境界にあるブロック塀の撤去（改修）工事を行った。
- (6) 脱マイカー・エコマチシェアリング促進事業では、都市内移動の低炭素化転換、脱マイカー（所有から共有）への機運醸成のため、タイムズモビリティ株式会社と連携し、東町にある公有地の一部で EV によるカーシェアリングを開始した。
- (7) 市営住宅松郷団地施設整備事業では、所沢市公共施設長寿命化計画に基づき、松郷団地 1、2、3 号棟の屋上防水改修及び給水等設備改修工事を行った。

### 3 開発指導課

街づくり条例に基づく開発事業申請 102 件、都市計画法に基づく申請の主なものとして開発許可 55 件、建築許可 102 件、適合証明 256 件（うち手数料免除 1 件）の処理を行った。

### 4 建築指導課

- (1) 建築確認申請 3 件、計画通知（行政が建てる建築物の通知）7 件、中間・完了検査（計画通知を含む）7 件、建築許可申請及び認定申請 22 件、道路位置指定申請（変更・取消しを含む。）5 件、屋外広告物許可申請 382 件、道路位置指定図の写しの交付 2,287 件、建

築計画概要書等の写しの交付 5,650 件、長期優良住宅建築等計画の認定申請 482 件、低炭素建築物新築等計画の認定申請 80 件の受付を行った。

- (2) 住宅等の地震に対する安全確保の取組として、我が家の耐震診断・耐震改修補助事業において、耐震診断 2 件、耐震改修 1 件に対し、補助金を交付した。

## 5 所沢駅西口区画整理事務所

- (1) 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業（1 工区）では、アンダーパス部分のボックスカルバートを整備する工事を実施した。また、所沢駅ふれあい通り線と西武鉄道池袋線及び新宿線との立体交差化事業の施行に関する協定書に基づき、西武鉄道株式会社が協定工事を行った。
- (2) 所沢駅西口地区まちづくり事業では、歩行者ネットワーク形成に向けた各歩行者デッキを整備する工事を実施した。

事務事業名 ところバス EV 導入事業	予算現額	58,000,000 円
	決算額	43,114,130 円
所 管 街づくり計画部都市計画課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 1 説明 03 交通政策費	不用額	14,885,870 円
事業概要 (R5-1 議案第 9~18 号 P.103)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>ところバスの運行に伴う温室効果ガスの削減により、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与することを目的に、EV バスを導入するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5 年 12 月：西武バス所沢営業所に充電設備を設置</li> <li>・令和 6 年 2 月：EV バス車両登録</li> </ul> <p>※上記車両の購入及び充電設備の設置は運行事業者である西武バス株式会社が、これらに係る費用を市が運行補償料の一部として支払った。</p> <p>【購入金額】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EV バス : 25,944,130 円 (架装費用等含む。)</li> <li>・充電設備 : 17,170,000 円</li> </ul>		
		

事務事業名 魅力ある街なか空間創出推進事業	予算現額	16,506,000 円
	決算額	16,502,688 円
所 管 街づくり計画部都市計画課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 1 説明 02 都市計画事務費	不用額	3,312 円
事業概要 (R5-1 議案第 9~18 号 P.104)	前年度決算額	3,300,000 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>令和 3 年度に策定した所沢駅周辺ランドデザインに示す街のビジョンの実現に向けた具体的な取組として、街なかの回遊性と賑わいを創出することを目的に、パブリックスペースを活用した社会実験などを実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会実験の実施 (令和 5 年 11 月 18 日及び 11 月 19 日の 2 日間) 元町コミュニティ広場、旧市役所前及び所澤神明社</li> <li>・フォーラムの開催 (令和 6 年 1 月 27 日) 参加者：96 人</li> </ul> <p>○魅力ある街なか空間創出推進事業支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社アール・エフ・エー</li> <li>・委託期間：令和 5 年 6 月 2 日～令和 6 年 3 月 22 日</li> <li>・委託金額：16,500,000 円</li> <li>・内 容：所沢駅周辺エリアのパブリックスペースにおける社会実験の実施、街歩きスタディの開催、ヒアリング調査・現地調査及びフォーラムの開催</li> </ul>		
 		

事務事業名 元町交差点改良事業	予算現額	11,350,000円
	決算額	11,349,800円
所 管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	200円
事業概要 (R5-1 議案第9~18号 P.105)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢駅西口では、広域集客型商業施設が令和6年秋の開業を予定しており、開業後の車両交通量の増加が見込まれる。このことから、渋滞傾向の高い銀座通りとファルマン通り交差点への負荷の低減を目的として、金山町交差点から銀座通りに進入してきた車両について、元町交差点から南北に通る都市計画道路稲荷林西富線及び所沢駅前を東西に通る都市計画道路所沢村山線が交わる一本木交差点を経由した商業施設への来店を導くために、元町交差点に右折帯を整備するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和5年度は、交差点の改良に必要な測量及び交差点詳細設計委託を実施した。</p> <p>○元町交差点改良事業に伴う詳細設計等業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（7者）</li> <li>・委託先：株式会社大雄測量設計</li> <li>・委託期間：令和5年6月20日～令和6年3月22日</li> <li>・委託金額：11,349,800円</li> <li>・内 容：交差点詳細設計</li> </ul>		
		<p>元町交差点計画図</p>

事務事業名 出歩きストリート創出（歩行空間整備）事業	予算現額	1,200,000円
	決算額	1,122,000円
所 管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	78,000円
事業概要 (R5-1 議案第9~18号 P.107)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>銀座地区の主要地方道川越所沢線（都市計画道路中央通り線）沿線のマンション建築では、所沢市中心市街地街並み整備計画（平成7年3月作成）に基づき、県道から5mを歩行空間として自主後退している。この歩行空間の連続性を確保することにより、ウォークアブルなまちづくりや賑わいの創出につなげるものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>銀座通りの歩行空間の連続性を確保するため、沿線のマンションの敷地境界にあるブロック塀等の撤去改修工事を実施した。</p> <p>○銀座地区ブロック塀等撤去改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（3者）</li> <li>・契約先：株式会社秋田組</li> <li>・工 期：令和5年7月31日～9月29日</li> <li>・契約金額：1,122,000円</li> </ul>		

事務事業名 脱マイカー・エコマチシェアリング促進事業	予算現額	3,770,000円
	決算額	3,769,700円
所 管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	300円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.109)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、都市内移動の低炭素化転換、脱マイカー（所有から共有）への機運醸成のため、EVシェアリングの利用促進を図り、まちなかにおける自家用車抑制による低炭素化及び良好で快適な住環境の形成を目指すものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>カーシェアリングにおいて市内実績のあるタイムズモビリティ株式会社と連携し、東町にある公有地の一部でEVによるカーシェアリングを開始した。開始に当たり、初動支援として実施場所の旧日東地域子ども広場の擁壁の改修工事を行うとともに、EV充電器設備費用及びアンケート取得を目的としたアプリ改修費用の支援等を行った。</p> <p>○旧日東地域子ども広場擁壁改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（5者）</li> <li>・契約先：株式会社浅野興業</li> <li>・工期：令和5年7月31日～12月22日</li> <li>・契約金額：2,999,700円</li> </ul>		
		

事務事業名 市営住宅松郷団地施設整備事業	予算現額	122,650,000円
	決算額	122,621,052円
所 管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 6 目 1 説明 03 市営住宅維持費	不用額	28,948円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.111)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、市営住宅松郷団地の適切な維持管理と長寿命化を図るため所沢市公共施設長寿命化計画に基づき、施設の改修を行うものである。</p> <p>【建物概要】</p> <p>構 造：鉄筋コンクリート造（階数：地上4階建て）</p> <p>規模等：建築面積 735.30㎡</p> <p>延べ床面積 2,941.20㎡（戸数：72戸）</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市営住宅松郷団地1、2、3号棟屋上防水及び給水等設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（5者）</li> <li>・契約先：株式会社新藤組</li> <li>・工期：令和5年7月6日～令和6年3月15日</li> <li>・契約金額：122,621,052円</li> </ul>		
		<p>松郷団地写真</p> 

事務事業名 土地利用転換推進事業	予算現額	1,261,789,000円
	決算額	1,188,867,616円
所管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 4 説明 01 土地区画整理事務費 ほか	不用額	72,921,384円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.112)	前年度決算額	782,328,542円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、市域を総合的に捉え、都市機能の無秩序な拡散防止と自然環境との調和に配慮しながら地域の活性化を図るため、計画的かつ適正な土地利用転換を目指すものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和5年10月6日に旧暫定逆線引き地区である下安松東地区及び土地利用推進エリアである三ヶ島工業団地周辺地区を市街化区域に編入するとともに土地区画整理事業を認可した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧暫定逆線引き地区 <p>土地区画整理事業を施行している所沢市北秋津・上安松土地区画整理組合、若松町土地区画整理組合及び下安松東土地区画整理組合並びに市街化区域編入に向けて組合土地区画整理事業の実施を目指している上安松・下安松西地区の地権者組織に対して、事業の進捗に合わせて助成を行うとともに必要な業務委託を行った。</p> </li> <li>・土地利用推進エリア <p>産業団地創出に向けて土地区画整理事業を施行している三ヶ島工業団地周辺土地区画整理組合及び市街化区域編入と組合土地区画整理事業の実施を目指している関越自動車道所沢インターチェンジ周辺地区において、事業の進捗に合わせて助成を行うとともに必要な業務委託を行った。</p> </li> </ul>		

若松町地区の現在の状況



事務事業名 日東地区まちづくり事業	予算現額	3,517,000円
	決算額	3,197,795円
所管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	319,205円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.113)	前年度決算額	46,980,284円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、東町及び日吉町の一部を区域とする日東地区について、所沢駅近接の商業地という地区の特性を踏まえ、民間活力により都市基盤の整備と街区の再編を一体的に図る事業を支援・誘導するとともに、安全で快適な都市環境への改善及び計画的な土地利用を誘導する街づくりを進めるものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和4年度に工事が完了した所沢東町地区第一種市街地再開発事業の施行者である、所沢東町地区市街地再開発組合に対し、解散及び事業の完了に向け、引き続き必要な助言・支援等を行った。</p> <p>また、日東地区内の骨格となる道路整備については路線測量を実施した。</p> <p>○日東地区骨格道路整備に伴う路線測量業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（4者）</li> <li>・委託先：平成都市技研株式会社</li> <li>・委託期間：令和5年11月10日～令和6年3月22日</li> <li>・委託金額：3,146,000円</li> </ul>		

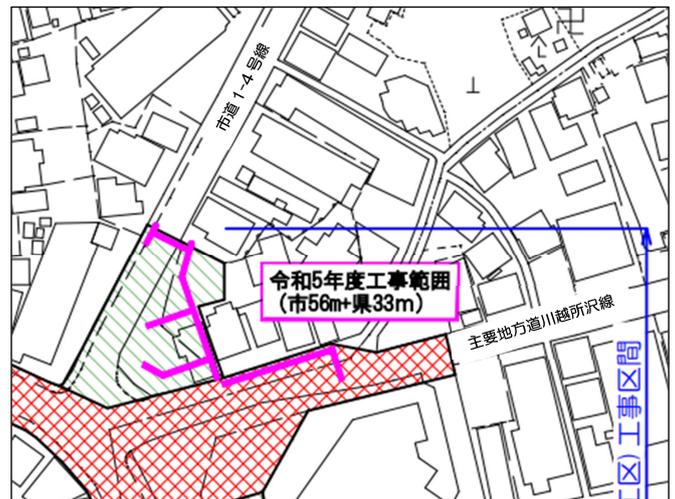
日東地区骨格道路計画位置図



事務事業名 ファルマン通り交差点改良事業	予算現額	50,001,000円
	決算額	46,959,260円
所 管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	3,041,740円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.115)	前年度決算額	222,291,830円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、所沢東町地区第一種市街地再開発事業（組合施行）により拡幅整備する都市計画道路中央通り線の整備に合わせてファルマン通り交差点改良整備を行い、交差点処理能力と安全性の向上を図るとともに、都市計画道路中央通り線の歩道空間の整備により、歩行者の安全で快適な空間の確保や賑わいの創出を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和5年度は、令和4年度に引き続き交差点の改良工事（第2期）を実施するとともに、交差点改良と合わせて再開発事業により生み出された広い歩道空間の広場整備を実施した。</p> <p>○ファルマン通り交差点改良工事（第2期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（3者）</li> <li>・契約先：昭和建設興業株式会社</li> <li>・工 期：令和5年11月14日～令和6年3月29日</li> <li>・契約金額：46,959,000円</li> <li>・内 容：交差点改良及び歩道空間整備工事</li> </ul>		



事務事業名 ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	予算現額	72,198,000円
	決算額	56,785,560円
所 管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	15,412,440円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.117)	前年度決算額	61,880,584円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>ファルマン通り交差点周辺においては、所沢東町地区第一種市街地再開発事業（組合施行）に伴う都市計画道路の拡幅に合わせて、ファルマン通り交差点改良事業を進めている。</p> <p>本事業は、これらの事業と一体的に無電柱化の整備を行うことにより、県が進める銀座地区の無電柱化と合わせて、旧町地区における災害時の通行の確保、歩行者の安全で快適な空間の確保や賑わいの創出を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和5年度は、主要地方道川越所沢線の東側、市道1-4号線に電線共同溝の整備工事を実施した。</p> <p>○ファルマン通り交差点外電線共同溝整備工事（第2期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：昭和建設興業株式会社</li> <li>・工 期：令和5年7月5日～12月22日</li> <li>・契約金額：56,784,200円</li> </ul>		



事務事業名 こぶし団地における一団地認定基準等検討事業	予算現額	185,000円
	決算額	38,510円
所管 街づくり計画部建築指導課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 1 目 1 説明 03 建築指導・建築確認費	不用額	146,490円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.119)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>一団地認定を受けている「こぶし団地」において円滑に建替え等を進めるため、自治会等と協力しながら、その基準や認定に係る手続について検討するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○こぶし団地一団地認定制度に関する勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和5年9月30日（土） ・参加者数：56人</li> <li>・内容：次の①～③について、市側から説明する形式で行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①これまでの取組について（市職員による説明）</li> <li>②こぶし団地の現況について（市職員による説明）</li> <li>③一団地認定制度について（外部講師による説明）</li> </ul> </li> </ul> <p>○こぶし団地一団地認定制度に関する懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：[1日目] 令和6年2月28日（水） ・参加者数：[1日目] 3人（2組） [2日目] 令和6年2月29日（木） [2日目] 9人（4組） [3日目] 令和6年3月1日（金） [3日目] 3人（2組）</li> <li>※1日目のみ外部講師参加</li> <li>・内容：個人又はグループ単位で参加者を募り、参加者が抱えている疑問や不安なことなどを確認しながら、対話する形式で行った。</li> </ul>		



事務事業名 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業（1工区）	予算現額	421,530,000円
	決算額	130,694,848円
所管 街づくり計画部所沢駅西口区画整理事務所	翌年度繰越額	290,000,000円
予算区分 款 8 項 4 目 2 説明 05 所沢駅ふれあい通り線道路築造費	不用額	835,152円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.121) (R5-4 議案第119～125号 P.67) (R6-1 議案第3～7号 P.24)	前年度決算額	382,829,034円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>都市計画道路所沢駅ふれあい通り線は、鉄道と立体交差することにより、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものである。このうち、県道久米所沢線から東村山第7号踏切（大踏切）の通りである市道1-525号線までの延長約200mについて、本事業により建設を進めるものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>所沢駅ふれあい通り線道路築造工事の実施に当たり、道路や構造物等の詳細設計を行うとともに、ボックスカルバートを整備する工事を実施した。また、所沢駅ふれあい通り線と西武鉄道池袋線及び新宿線との立体交差化事業の施行に関する協定書に基づき、西武鉄道株式会社により、協定工事が行われた。</p>		
	所沢駅ふれあい通り線県道東工区整備工事（その1）	所沢駅ふれあい通り線と西武鉄道池袋線及び新宿線との立体交差化事業の施行に関する協定書（令和5年度）
選定方法	一般競争入札（2者）	所沢駅ふれあい通り線と西武鉄道池袋線及び新宿線との立体交差化事業の施行に関する協定書（令和5年度その2）
請負業者	西武建設株式会社	
工期	令和5年7月18日～令和6年4月30日	相手方 西武鉄道株式会社
契約金額	112,640,000円（変更後138,550,500円） （令和5年度支払額45,000,000円）	協定額 35,000,000円 （令和5年度支払額35,000,000円）
内容	道路土工、仮設工	西武鉄道株式会社
		協定締結日 令和5年10月13日
		令和6年3月6日
<p>※本事業については、予算額290,000,000円を令和6年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 所沢駅西口地区まちづくり事業	予算現額	553,323,000円
	決算額	166,466,601円
所 管 街づくり計画部所沢駅西口区画整理事務所	翌年度繰越額	386,800,000円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	56,399円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.122) (R5-4 議案第119～125号 P.69)	前年度決算額	86,368,065円

<事業の目的・内容>

所沢駅西口地区について、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街の創出を目指し、計画的な土地利用の誘導によるまちづくりを進めるものである。

<事業の実績・成果>

歩行者ネットワークの形成に向け、各歩行者デッキの整備工事を実施した。

	所沢駅歩行者デッキ(B) 整備工事(その1)	所沢駅歩行者デッキ(B) 整備工事(その2)	所沢駅歩行者デッキ(C) 整備工事(その1)	所沢駅歩行者デッキ(C) 整備工事(その2)
選定方法	一般競争入札(3者)	一般競争入札(1者)	一般競争入札(1者)	随意契約
請負業者	西武建設株式会社	西武建設株式会社	西武建設株式会社	西武建設株式会社
工 期	令和5年6月23日 ～令和6年9月30日	令和5年11月8日 ～令和6年9月30日	令和5年12月6日 ～令和6年9月30日	令和6年1月29日 ～9月30日
契約金額	489,500,000円 (令和5年度支払額78,300,000円)	97,900,000円 (令和5年度支払額15,600,000円)	104,720,000円 (令和5年度支払額41,800,000円)	43,450,000円 (令和6年度支払)
内 容	橋梁上部工、橋梁下部工ほか	自動昇降機設置工ほか	橋梁上部工、橋梁下部工ほか	地覆工、橋梁用高欄工ほか

※本事業については、令和6年度へ予算額202,100,000円を通次繰越し、また予算額184,700,000円を繰越明許し、実施する。

# 建設部

---

## 1 建設総務課

- (1) 道路法に基づく道路財産の管理として、以下の事業を実施した。
  - ① 新設、改良、廃止した道路等について道路台帳の更新
  - ② 市道の認定（56 路線）、廃止（15 路線）、区域変更（115 路線）
  - ③ 道水路境界確認立会い（127 件）
  - ④ 道路境界確定証明書等の交付（501 件）
  - ⑤ 道水路座標管理図面作成業務（3 路線）
  - ⑥ 道路境界確定図修正測量業務（6 路線）
- (2) 道路照明灯の維持管理事業として、道路照明灯修繕（69 件）を実施するとともに、リース LED 道路照明灯（8,602 灯）の管理を行った。
- (3) 道路照明灯 LED 化整備事業として、新所沢駅西口ロータリー及びけやき並木通りの水銀灯 69 灯を LED 灯に改修した。
- (4) 防犯灯維持管理・補助事業として、自治会等が防犯を目的として設置し、維持管理している防犯灯に対し、新設費補助金（106 灯分）、維持管理費補助金（13,632 灯分）を交付した。また、市が一括リースした防犯灯（7,068 灯）の管理を行った。

## 2 道路建設課

- (1) 市道 4-1386 号線（上藤沢・林・宮寺間新設道路 3 工区）築造事業として、用地 367.65 m<sup>2</sup>を取得した。
- (2) COOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業として、市道 2-561 号線の道路改良舗装工事を実施した。
- (3) 所沢市総合治水対策事業（清柳橋改築事業）として、市道 1-900 号線改良舗装工事を実施した。
- (4) 道路改良事業及び道路舗装事業として、5 路線の工事を実施した。
- (5) 北野下富線道路築造事業として、1 工区の用地取得と道路築造工事を行ったが、年度内の引渡し及び完成が困難となったことから令和 6

年度に予算の一部を繰り越した。また、4工区において用地取得を行うとともに、西武新宿線との立体交差区間の橋りょう実施設計等を行った。

- (6) 松葉道北岩岡線道路築造事業として、市道 3-1124 号線から北野下富線までの延長 526m 区間の道路築造工事が完了した。
- (7) 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業として、測量図の作成を実施した。

### 3 道路維持課

- (1) 街路樹管理事業として、都市景観の形成や防災、環境保全などの機能を持つ街路樹を健全に保つため、定期的な剪定、除草を行い、樹冠拡大に向けたケヤキの剪定を 375 本（第 1 回目 111 本、第 2 回目 264 本）実施した。
- (2) 歩きたくなる街路樹づくり事業として、市道 5-1016 号線（さくら通り）において、延長 154m の区間の道路改良工事を実施したが、年度内の完成が困難となったことから、令和 6 年度に予算の一部を繰り越した。また、令和 6 年度の次工事より道路建設課へ所管替えし、引き続き事業を継続する。
- (3) 橋りょう長寿命化修繕事業として、所沢市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、西武鉄道の跨線橋 4 橋（所沢陸橋、小手指陸橋、むつみ橋、上新井陸橋）、道路橋 83 橋の法定点検及び老朽化が著しい 319 号橋の長寿命化修繕工事を実施し、併せて、認定外橋りょう 7 橋についても定期点検を実施した。

また、所沢市横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づき、老朽化が著しい柳瀬歩道橋の長寿命化修繕工事を実施した。

- (4) 道路安全施設整備事業として、市内の小中学校、自治会及び市民からの要望に基づき、道路反射鏡の新規設置を 36 基、道路区画線等の路面標示を 22,836.8m 実施した。また、道路反射鏡や区画線設置等の要望は 995 件あり、838 件の要望を処理した。
- (5) 道路施設維持管理事業として、舗装の打換えなど 8 路線、総延長

1,123.5mの工事を計画的に実施した。また市民等からの要望が2,592件あり、迅速に対応した結果、2,514件を処理した。

- (6) 道路清掃事業として、市道25.0kmの路面清掃及び雨水桝清掃を70か所実施した。

#### 4 公園課

- (1) 所沢カルチャーパークの管理運営として、所沢カルチャーパーク基本計画に示されている市民と行政のパートナーシップにより進める必要があることから、管理運営に係る公園の質や利用者の利便性の向上について議論することを目的に、市民会議「所沢カルチャーパークを考える未来会議」を開催した。
- (2) 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業として、用地2,856.84㎡を取得した。

#### 5 営繕課

- (1) 公共施設設計・施工監理事業として、以下の工事・業務委託の依頼を受けて実施した。

- ① 工事件数：33件

新所沢駅西口ロータリー等道路照明灯LED化工事 ほか32件

- ② 設計業務委託件数：11件

所沢市立南小学校外1校トイレ改修工事設計業務委託 ほか10件

- ③ 監理業務委託件数：4件

所沢市立若松小学校外3校屋内運動場トイレ改修工事監理業務委託 ほか3件

- (2) 公共施設長寿命化計画に基づく予防保全計画推進事業として、以下の工事・業務委託を実施した。

- ① 予防保全計画に基づく工事：12件

所沢市立老人憩の家とみおか荘空調設備改修工事 ほか11件

- ② 予防保全計画に基づく設計業務委託：4件

所沢市庁舎トイレ外改修工事設計業務委託 ほか 3 件

③ 予防保全計画に基づく監理業務委託：1 件

所沢市立第 1 学校給食センター受水槽外改修工事監理業務委託

## 6 河川課

- (1) 河川・水路の氾濫による浸水被害の軽減を図るため、若松町地内外の水路改修工事を実施した。
- (2) 河川・水路の機能を維持するため、清掃・除草等（73 件）、修繕（12 件）、設備保守（1 件）の業務委託を実施した。
- (3) ふるさとの川再生事業として、河川・水路において、区域を指定し、市民と市が協働して自然豊かな川づくりを行うため、清掃活動等を実施している登録団体（3 団体）に補助金を交付した。
- (4) 東川桜舞う遊歩道事業として、遊歩道の維持管理、市で管理している桜の剪定・伐採を実施した。
- (5) 砂川堀水辺保全・散策路整備事業として、散策路の維持管理、樹木の剪定・伐採、水路測量、用地購入を実施した。

事務事業名 道路の環境配慮推進事業	予算現額	300,000 円
	決算額	0 円
所 管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 2 目 3 説明 01 道路新設改良等工事費	不用額	300,000 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.123)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>道路の整備は全面アスファルト舗装が一般的であるが、緑の減少やヒートアイランド現象、河川の氾濫などの環境問題に配慮し、全面アスファルト舗装の施工を用いずに安全かつ円滑な交通を確保するための調査・研究を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、埼玉県、市内建設コンサルタント会社、道路会社、造園会社へ取組事例等に関する意見照会を行い、結果を取りまとめた。</li> <li>・埼玉県道路協会主催の建設技術発表会において、緑化舗装事例を発表した。</li> <li>・国土交通省国土技術政策総合研究所との意見交換及び市内現地視察を実施した。</li> <li>・緑化舗装整備箇所の近隣住民を対象としたアンケート調査を実施し、結果を市ホームページに公開した。</li> <li>・緑化舗装整備箇所（北野、大字山口地内）に周知看板を設置した。</li> <li>・グリーンインフラ官民連携プラットフォーム等が開催するグリーンインフラ産業展を現地見学した。</li> </ul>		

事務事業名 県道所沢青梅線狭山湖入口交差点改良事業	予算現額	124,438,000 円
	決算額	1,020,800 円
所 管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	121,774,000 円
予算区分 款 8 項 2 目 3 説明 01 道路新設改良等工事費	不用額	1,643,200 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.124)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>県道所沢青梅線と所沢市道 4-5 号線及び 5-4 号線が交差する狭山湖入口交差点において、埼玉県と協定を結び、クランク状に交差する交差点の改良及び道路整備を行い、交通の円滑化及び歩行者の安全の確保を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>道路拡幅用地を買収するに当たり、再積算業務委託を実施した。</p> <p>○県道所沢青梅線狭山湖入口交差点再積算業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社エムツウ補償構造設計</li> <li>・委託期間：令和 5 年 9 月 26 日～11 月 24 日</li> <li>・委託金額：154,000 円</li> <li>・内 容：物件補償のための調書作成</li> </ul> <p>※本事業については、予算額 121,774,000 円を令和 6 年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 市道 4-1386 号線（上藤沢・林・宮寺間新設道路 3 工区）築造事業	予算現額	47,733,000 円
	決算額	14,341,599 円
所 管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	28,919,755 円
予算区分 款 8 項 2 目 3 説明 01 道路新設改良等工事費	不用額	4,471,646 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.126)	前年度決算額	79,986,752 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため新設道路を整備するもので、3 工区については、「林運動場」付近から入間市宮寺の県道所沢青梅線「南矢萩」バス停付近までのうち、所沢市分の約 368m の区間を整備するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>本事業における用地を 367.65 m<sup>2</sup>取得した。</p> <p>○市道 4-1386 号線物件調査積算業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（4 者）</li> <li>・委 託 先：平成都市技研株式会社</li> <li>・委託期間：令和 5 年 6 月 8 日～8 月 28 日</li> <li>・委託金額：1,320,000 円</li> <li>・内 容：物件補償のための調書作成</li> </ul> <p>※本事業については、予算額 28,919,755 円を令和 6 年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 所沢市総合治水対策事業（清柳橋改築事業）	予算現額	75,000,000 円
	決算額	69,110,800 円
所 管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 2 目 5 説明 01 橋りょう新設改良費	不用額	5,889,200 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.128) (R5-4 議案第 119～125 号 P.63)	前年度決算額	277,333,163 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本市を流域に持つ柳瀬川における今後の浸水被害の軽減を図るために、東川との合流点下流に位置する清柳橋について、道路管理者である所沢市と清瀬市及び河川管理者である埼玉県とともに改築に取り組むものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○市道 1-900 号線改良舗装工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約方法：一般競争入札（4 者）</li> <li>・契 約 先：産経建設株式会社</li> <li>・工 期：令和 5 年 7 月 3 日～令和 6 年 3 月 27 日</li> <li>・契約金額：69,110,800 円</li> <li>・内 容：市道 1-900 号線における改良舗装工事及び歩道の整備</li> </ul> <p>○市道 1-900 号線改良舗装工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約方法：一般競争入札（4 者）</li> <li>・契 約 先：産経建設株式会社</li> <li>・工 期：令和 6 年 4 月 22 日～令和 7 年 2 月 15 日（契約日：令和 6 年 3 月 29 日）</li> <li>・契約金額：132,990,000 円（債務負担行為）</li> <li>・内 容：市道 1-900 号線における改良舗装工事及び歩道の整備</li> </ul> <p>※施工時期の平準化等のため、債務負担行為を設定</p>		

事務事業名 北野下富線道路築造事業	予算現額	652,153,999円
	決算額	317,844,382円
所管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	327,757,942円
予算区分 款 8 項 4 目 2 説明 03 北野下富線道路築造費	不用額	6,551,675円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.130)	前年度決算額	165,497,546円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>幹線道路の環状型ネットワークにより交通渋滞の緩和を図るため、国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から一般県道所沢堀兼狭山線下富駿河台交差点までの延長5,500mの道路を築造するものであり、これまでに小手指ヶ原交差点から岩岡町交差点までと、ラーク所沢前の市道3-5号線から下富駿河台交差点までの延長4,672mの区間が開通している。今後は、延長470m(1工区)の区間と、延長358m(4工区)の区間について整備を行い、早期の全線開通を目指すものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松葉道北岩岡線から市道3-5号線までの延長470m(1工区)について、用地取得と道路築造工事を行った。</li> <li>・主要地方道所沢狭山線から松葉道北岩岡線までの延長358m(4工区)について用地取得を行うとともに、西武新宿線との立体交差区間の橋りょう実施設計等を行った。</li> <li>・用地取得に係る不動産鑑定、物件調査積算業務委託及び登記委託を行った。</li> </ul> <p>○市道3-976号線(北野下富線1工区)道路築造工事(その5)      ○北野下富線橋りょう実施設計等業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札(4者)</li> <li>・契約先：日栄建設株式会社</li> <li>・工期：令和5年11月6日～令和6年4月30日</li> <li>・契約金額：41,580,000円 (令和5年度支払額16,600,000円)</li> <li>・内容：北野下富線1工区の整備</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(5者)</li> <li>・契約先：株式会社東急設計コンサルタント</li> <li>・契約期間：令和5年10月13日～令和6年3月29日</li> <li>・契約金額：7,700,000円</li> <li>・内容：北野下富線4工区の橋りょうの設計</li> </ul> <p>※本事業については、予算額327,757,942円を令和6年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 所沢カルチャーパークを考える未来会議事業	予算現額	366,000円
	決算額	352,000円
所管 建設部公園課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 3 説明 02 公園費	不用額	14,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.132)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢カルチャーパークの管理運営は、所沢カルチャーパーク基本計画に示されている市民と行政のパートナーシップにより進める必要がある。本事業は、管理運営に係る公園の質や利用者の利便性の向上について議論することを目的に、専門家を招いた市民会議を開催し今後の施策に繋げていくものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○学習会</p> <p>専門家を招き、所沢カルチャーパークの成り立ちや市民協働での公園管理についての学習会をWEB会議で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 7月25日開催 参加者 38人 「所沢カルチャーパークと心豊かに暮らせるまちづくり」</li> <li>・第2回 8月23日開催 参加者 36人 「雑木林を使つての活動事例(野山北・六道山公園等での活動)について」</li> <li>・第3回 9月28日開催 参加者 25人 「地域協働型の公園管理からまちづくりへ」</li> </ul> <p>○所沢カルチャーパークを考える未来会議</p> <p>学習会の参加者の中から公募委員を募り、市民会議を開催した。(公募委員：28人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 10月21日開催 所沢カルチャーパークの現地視察、ワークショップ</li> <li>・第2回 12月9日開催 グループワーク 「所沢カルチャーパークで「誰」と「どのようなこと」をやってみたいか」</li> </ul>		

事務事業名 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	予算現額	384,698,000 円
	決算額	384,618,360 円
所 管 建設部公園課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 3 説明 03 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業費	不用額	79,640 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.134)	前年度決算額	342,677,880 円

<事業の目的・内容>

本事業は、所沢市みどりの基本計画において、みどりの保全を重点的に推進する北秋津周辺保全配慮地区に位置付けられているまとまりのある貴重なみどりを保全するため、用地取得及び保全管理を行うものである。

<事業の実績・成果>

○北秋津・上安松地区都市緑地管理業務委託

- ・選定方法：指名競争入札（3 者）
- ・委 託 先：株式会社田中造園
- ・委託期間：令和 6 年 1 月 31 日～3 月 31 日
- ・委託金額：957,000 円
- ・内 容：都市緑地の樹木剪定及び除草

○用地取得

- ・2,856.84 m<sup>2</sup>
- （令和 5 年度末用地取得率：63.3%）

## 出 納 室

---

- (1) 法令等に基づく適正な予算の執行手続を実施するため、支出負担行為の確認、収入調定や支出命令の審査等を行い、現金等の出納処理を行った。収入件数は 33,769 件、支出件数は 119,033 件、全出納件数は 152,802 件となった。
- (2) 歳計現金、歳入歳出外現金及び基金の保管・運用に当たっては、安全性・流動性を確保しつつ、資金の効率的な保管・運用に努めた。
  - ① 市の歳入・歳出に属する歳計現金及び市の所有に属さない歳入歳出外現金は、主に日々の支払に充てる支払準備金として指定金融機関の普通預金で保管し、資金に余裕がある期間においては定期預金による運用を行った。運用利息は、普通預金が 86,621 円、定期預金が 5,777,052 円の合計 5,863,673 円であった。
  - ② 基金に属する現金は、特定の目的のためにあらかじめ資金を積み立てておくもので、貸付を目的とする基金の現金を除き、一括して普通預金に保管し、基金の取崩し予定を勘案して定期預金及び債券による運用を行った。運用利息は、普通預金が 18,047 円、定期預金が 12,317,665 円、債券が 11,521,526 円の合計 23,857,238 円であった。
- (3) 埼玉県から指定売さばき人の指定を受け、許認可申請の手数料や各種試験の受験料として使用される埼玉県収入証紙を販売した。販売枚数は 1,415 枚、販売金額は 2,709,010 円となり、販売に係る手数料収入は 35,310 円であった。なお、埼玉県収入証紙は令和 5 年 12 月 31 日をもって廃止されたことから、精算金 1,145,853 円の収入があった。



# 教 育 委 員 会

---

## 教育総務部

### 1 教育総務課

- (1) 所沢市教育振興基本計画審議会を令和 4 年度に 2 回、令和 5 年度に 3 回開催し、令和 6 年度以降の 5 年間を通して教育委員会が目指す方向性や基本理念を示し、施策を体系化した第 3 次所沢市教育振興基本計画を策定した。
- (2) 保護者負担軽減補助金交付事業において、令和 4 年度からの補助対象経費の範囲拡大を引き続き行い、保護者の経済的負担の軽減を図った。
- (3) 市立小中学校の就学援助事業として、経済的理由により就学が困難な世帯へ学用品費等を支給し、保護者への支援を進めた。

### 2 教育施設課

- (1) 学校トイレ改修事業として、校舎（小学校 2 校、中学校 1 校）、屋内運動場（小学校 8 校、中学校 4 校）について、洋式化、バリアフリー対策等の改修工事を実施した。また、次年度の工事に向けて、校舎（小学校 2 校、中学校 1 校）、屋内運動場（小学校 8 校、中学校 4 校）の設計業務委託を実施した。
- (2) 小中学校 LED 化整備事業として、屋内運動場及び武道場（小学校 24 校、中学校 11 校）について、照明器具の LED 化を実施した。
- (3) 小中学校校舎照明 LED 化事業として、校舎（小学校 10 校、中学校 5 校）について、照明器具の LED 化の設計業務委託を実施した。
- (4) 中学校校舎内部改修（木質化）事業として、南陵中学校について、校舎 3、4 階の内部改修工事を実施した。
- (5) 学校施設長寿命化改修事業（公共施設マネジメント推進事業の一環）として、上新井小学校、安松小学校及び林小学校について、基本計画等策定業務委託を実施した。
- (6) 小学校施設整備事業及び中学校施設整備事業として、椿峰小学校

屋上防水改修工事ほか2件、狭山ヶ丘中学校屋上防水及び外壁改修工事ほか1件の改修工事を実施した。

### 3 社会教育課

- (1) 家庭における教育力向上のため、家庭教育推進事業を実施し保護者の学習活動を支援した。小中学校区の運営委員会に委託して家庭教育学級を開催するとともに、就学時健康診断等の機会を利用して子育て講座を実施した。
- (2) 青少年の様々な体験活動の充実に取り組んだ。所沢こどもルネサンスの開催・支援では、こども文学のひろば、まんが・イラストコンクール、トコトコタウン、おはなしのひろば等の事業を開催し、7,849人が参加した。
- (3) 子ども写生大会（アート・プレイ・デイ）をところざわサクラタウン及び東所沢公園を会場として所沢市子ども写生大会実行委員会と共催で開催し、877人が参加した。
- (4) 人権教育の推進を図るため、様々なテーマで講座、研修会を11回開催し、453人が参加した。
- (5) 生涯学習推進センターでは、市民大学や官学連携共催セミナー、資格取得講座、親子の学習講座等を実施するとともに、生涯学習情報紙「翔びたつひろば」を発行し、所沢の魅力を様々な視点から発信した。

また、新たな事業として、子どもたちの居場所づくりの一環で「トコロん自習室」を143日開設し、558人が利用した。

### 4 スポーツ振興課

- (1) 新たな事業として、ところざわアスレチックフェスティバルを開催し、陸上競技を通じて市民の健康増進及びスポーツ振興を図った。市民参加型のイベントとして位置づけ、早稲田大学及び所沢市陸上競技協会と連携し、755人のエントリーがあった。
- (2) イタリア水泳代表チームが世界水泳選手権大会 2023 福岡大会に

参加するため、早稲田大学所沢キャンパスで事前合宿を行ったことから、歓迎セレモニーを行い、市内小中学生等を対象に練習を公開するなど、イタリア水泳代表チームと市民との交流事業を実施した。

- (3) 市民体育館が開館 20 周年を迎えたことから、記念事業として市民体力テストを実施し、応募のあった市民 210 人が参加した。当日は、所沢市ゆかりのアスリートである上関風雅選手によるドローンレースと佐藤拳太郎選手による陸上クリニックを実施した。

## 5 文化財保護課

- (1) 寿町に所在する国登録有形文化財「秋田家住宅」と敷地全体の整備と活用を図るため、業務委託による秋田家住宅の現況調査、測量調査、土壌調査及び保管部材調査などを実施した。
- (2) 夏季企画展「関東大震災百年～その時、所沢は～」や冬季企画展「所沢の養蚕一繭・蚕・糸・絹が語る昔と今一」、ふるさと研究講座「ふるさと所沢の味」など、ふるさと所沢への関心を深めるための事業を実施した。
- (3) 埋蔵文化財保護のため、開発行為等を原因とする確認調査（85 件）と記録保存の発掘調査（9 件）を行った。また、土地区画整理事業に伴い、北秋津・上安松地区（1 件）、若松町地区（1 件）、下安松東地区（2 件）、三ヶ島工業団地周辺地区（3 件）、上安松・下安松西地区（1 件）で確認調査を実施した。また、文化財を体験する機会として小中学生とその家族や市民を対象に「埋文まつり」を開催し、2 日間で延べ 449 人が参加した。

## 6 所沢図書館

- (1) 図書資料等収集整備事業として、市民に役立つ情報を提供し、知的財産である貴重な資料を次の世代に伝えるという公共図書館の役割を果たすため、引き続き機能を十分に発揮できる種類と量の資料整備を進めた。
- (2) 所沢図書館分館施設管理運営事業として、平成 24 年度から所沢

図書館分館に指定管理者制度を導入し、祝日開館や開館時間の延長などにより市民サービスの向上を図っている。運営及び管理状況について、館長会議や担当者会議の開催、四半期ごとのモニタリング実施により点検を行った。

- (3) コンビニエンスストア図書等取次事業として、平成 17 年度から、市と契約したコンビニエンスストア 2 店舗で予約図書等の取り次ぎサービスを開始し、令和 5 年度は 5 店舗でサービスを実施した。貸出点数は 32,254 点、利用者数は延べ 20,507 人であった。

## 学校教育部

### 1 学校教育課

- (1) 学習支援・学校支援体制については、学習支援員、特別支援教育支援員、心身障害児介助員、心のふれあい相談員などの会計年度任用職員を学校に配置するとともに、児童生徒一人一人の実情に応じた指導や、学校運営の充実を図った。
- (2) 令和元年度から開始したスクールカウンセラー学校派遣事業は、継続して市費で 4 人を任用した。中学校を中心に必要に応じて小学校にも派遣し、各学校の相談体制の充実を図るとともに、児童生徒が安心して SOS を発することのできる学校指導体制の実現に努めた。
- (3) 部活動指導員 6 人を中学校の運動部活動及び文化部活動にそれぞれ 3 人配置し、部活動の充実及び教員の負担軽減を図った。
- (4) 児童が放課後に安心して学び、遊べる居場所を提供する放課後支援事業について、昨年度に引き続き 10 校で実施した。
- (5) 平成 23 年度に開始した学力向上推進事業について、これまでの授業改善をさらに一歩前進し、地域総がかりで児童生徒の学力向上を図る「学び創造アクティブ PLUS」学力向上推進事業を実施した。
- (6) 教員が教材研究等授業準備の時間や児童と向き合う時間を増やし、子どもの学力向上を図る学力向上支援講師配置事業を引き続き実施した。

- (7) 新たな事業として、小学校第3学年から第6学年までを対象に、地域の教育力を活用して算数の基礎学力や学習意欲の向上を図る「トコロん のびのび塾」を実施した。

また、学校・家庭・地域が学校教育目標のビジョンを共有し、社会総がかりで子どもたちを育むことを目指す「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」をモデル校3校で試行的に実施した。

## 2 保健給食課

- (1) 学校給食における安全な食材の確保や衛生管理の向上、学校給食施設の設備の改修・整備等を行い、安全な学校給食の運営に努めた。

また、小中学校給食食材費補助事業及び小中学校給食費保護者負担軽減事業を実施し、エネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けやすい子育て世帯の負担軽減を図った。

- (2) 第1学校給食センター受水槽等について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて計画的に整備し、公共施設の安全上適正な管理を図るための工事を開始した。

- (3) 再生可能エネルギーの創出と電力使用における二酸化炭素の排出量削減を目的として、新たに設置する第2学校給食センターに電力購入契約（PPA方式）による太陽光発電設備を設置するため、プロポーザル方式により事業者を選定した。

- (4) 児童生徒が心身ともに健全な生活を営めるよう、学校保健活動を推進した。

## 3 教育センター

- (1) ICT支援員配置事業では、ICTを活用した授業のサポート等のスキルを有するICT支援員が、1日を1単位として各学校に月3回以上訪問し、授業や校務等でのICT活用のための支援や、ICTスキルアップのための研修会等を行った。

- (2) 教育相談アドバイザー支援事業では、生命尊重と児童生徒の望ましい教育的対応について、医療・心理・福祉の専門家をアドバイザー

ーとして学校へ派遣し、児童生徒及び児童生徒を支える教職員・保護者への支援を行った。

事務事業名 小学校施設整備事業	予算現額	143,677,000円
	決算額	134,102,320円
所管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 2 目 1 説明 02 小学校施設維持管理費	不用額	9,574,680円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.141) (R5-4 議案第119～125号 P.71)	前年度決算額	151,756,122円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt; 老朽化する公共施設について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて計画的に整備し、公共施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○所沢市立南小学校南校舎棟屋上防水改修工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：アポロ工業株式会社</li> <li>・工期：令和5年11月6日～令和6年3月19日</li> <li>・契約金額：44,462,000円</li> </ul> </li> <li>○所沢市立椿峰小学校屋上防水改修工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：和喜屋工業株式会社</li> <li>・工期：令和5年10月24日～令和6年3月15日</li> <li>・契約金額：38,710,320円</li> </ul> </li> <li>○所沢市立北野小学校屋内運動場屋根及び外壁改修工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（2者）</li> <li>・契約先：リニューアルトーヨー株式会社</li> <li>・工期：令和5年5月31日～9月29日</li> <li>・契約金額：44,000,000円</li> </ul> </li> <li>○所沢市立所沢小学校太陽光発電設備設置及び屋上防水改修工事設計業務委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（5者）</li> <li>・委託先：株式会社武蔵野建築研究所</li> <li>・委託金額：6,930,000円</li> <li>・委託期間：令和5年6月15日～令和6年2月29日</li> <li>・内容：屋上防水改修工事、校舎の屋上への太陽光発電設備の設置、受変電設備の改修工事のための設計業務委託</li> </ul> </li> <li>○所沢市立所沢小学校受変電設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（5者）</li> <li>・契約先：橋電株式会社</li> <li>・工期：令和6年3月13日～令和7年3月14日</li> <li>・契約金額：54,197,000円（債務負担行為）</li> <li>※施工時期の平準化等のため、債務負担行為を設定</li> </ul> </li> </ul>		

事務事業名 学校施設長寿命化改修事業（公共施設マネジメント推進事業の一環）	予算現額	75,000,000円
	決算額	52,360,000円
所管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 2 目 1 説明 02 小学校施設維持管理費	不用額	22,640,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.142)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt; 建築後40年以上を経過し、経年により老朽化が進む学校施設について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づき、築後80年以上使用することを目的として小学校16校、中学校7校の学校施設長寿命化事業を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○所沢市立上新井小学校外2校長寿命化改修事業基本計画等策定業務委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（9者）</li> <li>・委託先：株式会社松下設計</li> <li>・委託期間：令和5年5月11日～令和6年2月29日</li> <li>・委託金額：52,360,000円</li> <li>・内容：上新井小学校、安松小学校、林小学校それぞれの校舎の現状を把握し、長寿命化改修事業に相応しい整備を計画し、整備範囲及び改修費の積算並びに3校の改修順序などを定め、翌年度の1校目に改修することとなった学校の実施設計につなげる委託を行ったものである。</li> </ul> </li> </ul>		

事務事業名 小中学校校舎照明 LED 化事業	予算現額	388,903,000 円
	決算額	9,350,000 円
所 管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	377,619,000 円
予算区分 款 10 項 2 目 1 説明 02 小学校施設維持管理費 ほか	不用額	1,934,000 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.143) (R6-1 議案第 50 号 P.7)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>小中学校の校舎に設置されている既存照明の LED 化を実施し、二酸化炭素の排出削減及び光熱費等の維持管理費の削減を図ることにより、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立所沢小学校外 14 校校舎照明 LED 化工事設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（8 者）</li> <li>・委 託 先：株式会社武蔵野建築研究所</li> <li>・委託期間：令和 5 年 4 月 19 日～令和 6 年 2 月 28 日</li> <li>・委託金額：9,350,000 円</li> <li>・内 容：小学校 10 校及び中学校 5 校の校舎照明 LED 化工事のための設計業務</li> </ul> <p>※本事業については、予算額 377,619,000 円を令和 6 年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 中学校施設整備事業	予算現額	144,254,000 円
	決算額	132,660,000 円
所 管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 3 目 1 説明 03 中学校施設維持管理費	不用額	11,594,000 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.144) (R5-4 議案第 119～125 号 P.72)	前年度決算額	92,983,000 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>老朽化する公共施設について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて計画的に整備し、公共施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立狭山ヶ丘中学校屋上防水及び外壁改修工事（1/2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（5 者）</li> <li>・契 約 先：アポロ工業株式会社</li> <li>・工 期：令和 5 年 8 月 8 日～令和 6 年 3 月 15 日</li> <li>・契約金額：87,560,000 円</li> </ul> <p>○所沢市立安松中学校外壁改修工事（1/2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4 者）</li> <li>・契 約 先：和喜屋工業株式会社</li> <li>・工 期：令和 5 年 7 月 5 日～11 月 30 日</li> <li>・契約金額：45,100,000 円</li> </ul> <p>○所沢市立狭山ヶ丘中学校受変電設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（5 者）</li> <li>・契 約 先：株式会社橋本電工</li> <li>・工 期：令和 6 年 2 月 26 日～令和 7 年 3 月 14 日</li> <li>・契約金額：33,234,080 円（債務負担行為）</li> </ul> <p>※施工時期の平準化等のため、債務負担行為を設定</p>		

事務事業名 学校施設太陽光発電設備設置事業	予算現額	232,210,000円
	決算額	31,100,000円
所 管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	143,140,000円
予算区分 款 10 項 2 目 1 説明 02 小学校施設維持管理費	不用額	57,970,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.145)	前年度決算額	18,700,000円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>二酸化炭素の排出削減に向けた再生可能エネルギーの活用を促進し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するため、屋上防水改修工事を実施した学校に速やかに太陽光発電設備の設置を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和5年度での工事完了を予定し工事を進めていたが、全国的に電線ケーブル等の入手が困難となり、年度内での工事完了ができなくなったことから、予算額143,140,000円を令和6年度へ繰越明許し、実施する。</p> <p>○所沢市立明峰小学校太陽光発電設備設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（5者）</li> <li>・契約先：橋電株式会社</li> <li>・工 期：令和5年7月13日～令和6年8月30日</li> <li>・契約金額：96,250,000円</li> </ul> <p>○所沢市立三ヶ島小学校太陽光発電設備設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（5者）</li> <li>・契約先：株式会社北産電設</li> <li>・工 期：令和5年7月13日～令和6年8月30日</li> <li>・契約金額：77,990,000円</li> </ul> <p style="text-align: right;">（令和5年度支払額31,100,000円）</p> <p>※所沢市立所沢小学校太陽光発電設備設置工事に係る設計業務委託については、小学校施設整備事業において屋上防水改修工事と一括で実施した。</p>		

事務事業名 中学校校舎内部改修（木質化）事業	予算現額	255,310,000円
	決算額	109,670,000円
所 管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	136,400,000円
予算区分 款 10 項 3 目 1 説明 03 中学校施設維持管理費	不用額	9,240,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.146) (R6-1 議案第50号 P.8)	前年度決算額	3,430,699円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>市内中学校は、築後40年以上が経過する建物が多くを占め、生徒が一日の大半を過ごす校舎内は、これまでも更新が行われておらず、老朽化が進行している。</p> <p>本事業は、所沢市公共施設長寿命化計画に基づき、学習環境の整備を目的として木材を使用して校舎内部の改修工事を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立南陵中学校校舎内部改修（木質化）工事（1/2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：株式会社本橋組</li> <li>・工 期：令和5年6月23日～11月30日</li> <li>・契約金額：109,670,000円</li> <li>・内 容：仕上げ材や家具など生徒の手の触れる部分には県産材を使用し、校舎3、4階の校舎内部改修を行った。</li> </ul> <p>※本事業については、予算額136,400,000円を令和6年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 小中学校 LED 化整備事業	予算現額	865,350,662 円
	決算額	748,507,662 円
所 管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 2 目 1 説明 02 小学校施設維持管理費 ほか	不用額	116,843,000 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.147)	前年度決算額	249,082,338 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>小中学校の屋内運動場及び武道場の老朽化した既存照明について LED 化を実施し、二酸化炭素の排出削減及び光熱費等の維持管理費の縮減を図ることにより、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立小中学校屋内運動場照明 LED 化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：プロポーザル方式（1 者）</li> <li>・契約先：株式会社北産電設（代表事業者）、橋電株式会社、株式会社橋本電工、株式会社シンコー電機工業、有限会社関根設備設計事務所、株式会社金子設計</li> <li>・工 期：令和 4 年 9 月 14 日～令和 6 年 3 月 15 日</li> <li>・契約金額：973,500,000 円（令和 5 年度支払額 730,568,300 円）</li> <li>・内 容：小学校 24 校及び中学校 11 校の屋内運動場及び武道場の設計と工事を行う。</li> </ul> <p>○所沢市立小中学校屋内運動場照明 LED 化事業監理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（7 者）</li> <li>・委託先：株式会社武蔵野建築研究所</li> <li>・委託期間：令和 4 年 10 月 19 日～令和 6 年 3 月 15 日</li> <li>・委託金額：24,090,000 円（令和 5 年度支払額 17,939,362 円）</li> <li>・内 容：小学校 24 校及び中学校 11 校の屋内運動場及び武道場の工事監理業務委託を行う。</li> </ul>		

事務事業名 公民館施設整備事業	予算現額	97,490,000 円
	決算額	85,459,000 円
所 管 教育総務部社会教育課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 5 目 2 説明 02 公民館施設維持管理費	不用額	12,031,000 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.148) (R5-4 議案第 119～125 号 P.74)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>老朽化する公共施設について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて計画的に整備し、公共施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○小手指公民館屋上防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（5 者）</li> <li>・契約先：株式会社アベックス</li> <li>・工 期：令和 5 年 9 月 26 日～令和 6 年 1 月 31 日</li> <li>・契約金額：46,189,000 円</li> </ul> <p>○吾妻公民館自動昇降機改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（2 者）</li> <li>・契約先：リニューアルトヨー株式会社</li> <li>・工 期：令和 5 年 6 月 23 日～令和 6 年 3 月 15 日</li> <li>・契約金額：33,550,000 円</li> </ul> <p>○山口公民館太陽光発電設備設置及び屋根改修工事設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（5 者）</li> <li>・委託先：株式会社武蔵野建築研究所</li> <li>・委託期間：令和 5 年 5 月 24 日～令和 6 年 2 月 29 日</li> <li>・委託金額：5,720,000 円</li> </ul> <p>○三ヶ島公民館受変電設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（5 者）</li> <li>・契約先：株式会社北産電設</li> <li>・工 期：令和 6 年 3 月 6 日～令和 7 年 3 月 14 日</li> <li>・契約金額：51,700,000 円（債務負担行為）</li> </ul> <p>※施工時期の平準化等のため、債務負担行為を設定</p>		

事務事業名 小手指公民館太陽光発電設備設置事業	予算現額	121,440,000円
	決算額	0円
所管 教育総務部社会教育課	翌年度繰越額	121,440,000円
予算区分 款 10 項 5 目 2 説明 02 公民館施設維持管理費	不用額	0円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.150)	前年度決算額	5,500,000円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>太陽光発電設備を設置することにより、災害時の非常用電源の確保を図るとともに、二酸化炭素の排出削減に向けた再生可能エネルギーの活用を促進し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○小手指公民館太陽光発電設備設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：橋電株式会社</li> <li>・工期：令和6年3月6日～12月27日</li> <li>・契約金額：111,320,000円</li> </ul> <p>※本事業については、予算額121,440,000円を令和6年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 富岡公民館屋上防水改修事業	予算現額	19,101,000円
	決算額	0円
所管 教育総務部社会教育課	翌年度繰越額	19,101,000円
予算区分 款 10 項 5 目 2 説明 02 公民館施設維持管理費	不用額	0円
事業概要 (R5-4 議案第119～125号 P.73)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>施設の経年劣化により雨漏りが発生し、施設提供に支障が出ていたため、屋上防水の改修工事を行うことにより、利用者の安全及び施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○富岡公民館屋上防水改修工事（令和5・6年度継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：株式会社アベックス</li> <li>・工期：令和6年2月9日～7月16日</li> <li>・契約金額：40,480,000円</li> <li>・内容：性質を改良した新たなシートへの張替え及び塗膜の上塗り</li> </ul> <p>※本事業については、予算額19,101,000円を令和6年度へ逐次繰越し、実施する。</p>		

事務事業名 イタリア選手団事前キャンプ受入れ事業（世界水泳 2023 福岡大会）	予算現額	2,059,000 円
	決算額	556,650 円
所 管 教育総務部スポーツ振興課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 6 目 1 説明 05 体育事業費	不用額	1,502,350 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.153)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>世界水泳選手権 2023 福岡大会に伴い、イタリア選手団から本市と早稲田大学に対して事前キャンプ受入れの打診があった。この事前キャンプを受入れ、スポーツ活動を支援することで、海外のトップアスリートと触れ合う機会を創出し、第 2 次スポーツ推進計画の基本方針である「スポーツをくみる&gt;&lt;ささえる&gt;&lt;もりあげる&gt;」の視点からスポーツの推進を図るものである。</p>		
<p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>イタリア選手団コーチ及びスタッフ総勢 51 人を迎え、空港からキャンプ地までの移動の補助、歓迎セレモニー及び市内小中学生等との交流の場を設けた。</p>		
<p>○歓迎セレモニーの開催及び公開練習の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和 5 年 7 月 16 日（日）</li> <li>・場 所：早稲田大学所沢キャンパス</li> <li>・内 容：水泳を習っている市内小中学生、早稲田大学の学生等が参加し、イタリア代表チームをイタリア国旗の手旗等を振って出迎え、記念品を贈呈した。また、イタリア水泳代表チームが練習を公開し、練習終了後に選手への質疑応答、記念撮影を行った。</li> </ul>		
		
		
		

事務事業名 所沢市民武道館太陽光発電設備設置及び屋根改修事業	予算現額	5,280,000 円
	決算額	5,280,000 円
所 管 教育総務部スポーツ振興課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 6 目 2 説明 03 体育施設運営費	不用額	0 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.156)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>老朽化する公共施設について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて計画的に整備し、公共施設の安全上適正な管理を図るものである。</p>		
<p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市民武道館太陽光発電設備設置及び屋根外改修工事設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（6 者）</li> <li>・委 託 先：株式会社桂設計 さいたま事務所</li> <li>・委託期間：令和 5 年 5 月 24 日～令和 6 年 2 月 29 日</li> <li>・委託金額：5,280,000 円</li> <li>・内 容：令和 6 年度に計画している所沢市民武道館の太陽光発電設備設置、屋根改修、空調設備改修工事に向けた設計委託</li> </ul>		

事務事業名 歴史的建造物整備活用事業	予算現額	26,168,000円
	決算額	24,379,916円
所管 教育総務部文化財保護課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 5 目 4 説明 02 文化財保護費	不用額	1,788,084円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.159)	前年度決算額	6,994,604円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;          本事業は、寿町に所在する国登録有形文化財「秋田家住宅」と敷地全体の整備と活用を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;          令和5年度は、整備に関わる法令整備や活用方法の検討、基本設計及び実施設計を行うに当たって必要となる各種調査を行った。</p> <p>○歴史的建造物整備活用調査業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：株式会社日建設計</li> <li>・委託期間：令和5年5月8日～令和6年3月19日</li> <li>・委託金額：24,123,000円</li> <li>・内容：現況調査、測量調査、土壌調査、保管部材調査及び基本的な情報の収集・整理など整備活用に関する技術コンサルティング業務</li> </ul>		

事務事業名 埋蔵文化財調査センター空調設備改修事業（施工時期の平準化）	予算現額	—
	決算額	—
所管 教育総務部文化財保護課	翌年度繰越額	—
予算区分 款 10 項 5 目 4 説明 04 埋蔵文化財調査センター費	不用額	—
事業概要 (R5-4 議案119～125号 P.75)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;          埋蔵文化財調査センターは平成6年に開設した施設であり空調設備は30年が経過し、経年劣化による不具合が生じている。本事業は、施設の安全上適切な管理を図るため、令和5年6月に故障により動作停止した整理作業室の空調設備の改修を行うものである。</p> <p>令和6年度工事の発注時期及び施工時期等を平準化し、施工体制の効率化や工事の品質確保等を図るため、債務負担行為を設定するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;          ○所沢市立埋蔵文化財調査センター整理作業室空調設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：有限会社伏見設備工業</li> <li>・工期：令和6年3月8日～12月27日</li> <li>・契約金額：14,630,000円（債務負担行為）</li> </ul>		

事務事業名 第9期図書館電算システム再構築事業	予算現額	58,512,000円
	決算額	53,080,005円
所管 教育総務部所沢図書館	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 5 目 3 説明 02 図書館運営費	不用額	5,431,995円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.161)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;          本事業は、これまで利用者サービスの向上及び効率的な蔵書管理を図るための役割を果たしてきた図書館電算システムについて、令和6年2月のリース期間満了に伴い、システムを再構築し、セキュリティの強化及び安定的なシステム運用とともに、更なる利用者サービスの向上を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本館3階の参考図書室にICタグを用いた蔵書管理システム(RF-ID管理)の導入</li> <li>・図書利用券のスマートフォン表示、オーディオブック、電子図書館、Wi-Fi(本館・所沢分館・新所沢分館)等の導入、図書館ホームページのリニューアル・機能向上により利用者サービスの向上を図った。</li> </ul> <p>○所沢市立所沢図書館電算事務機器等保守業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：京セラコミュニケーションシステム株式会社 東京オフィス</li> <li>・委託期間：令和6年3月1日～3月31日</li> <li>・委託金額：1,346,675円</li> </ul> <p>○所沢市立所沢図書館電算システム開発業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：京セラコミュニケーションシステム株式会社 東京オフィス</li> <li>・委託期間：令和5年9月29日～令和6年2月29日</li> <li>・委託金額：25,322,000円</li> </ul> <p>○所沢市立所沢図書館ICタグ貼付等装備委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(4者)</li> <li>・委託先：株式会社図書館流通センター</li> <li>・委託期間：令和5年8月10日～12月31日</li> <li>・委託金額：1,320,000円</li> </ul> <p>○所沢市立所沢図書館電算システム事務機器等の賃貸借</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(10者)</li> <li>・契約先：三菱HCキャピタル株式会社</li> <li>・契約期間：令和6年3月1日～令和11年2月28日</li> <li>・契約金額：160,102,800円 (令和5年度支払額2,668,380円)</li> </ul>		

事務事業名 「南極・北極から地球の未来を考えてみよう」開催事業	予算現額	50,000円
	決算額	50,000円
所管 教育総務部所沢図書館	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 5 目 3 説明 02 図書館運営費	不用額	0円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.162)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;          本事業は、他の地域より急激に温暖化が進行している南極・北極から地球環境や生態系の未来像を予測して、持続可能な社会に向けて何ができるのかを考える契機となることを目的として開催するものであり、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催内容：講演会「南極・北極から地球の未来を考えてみよう！」の開催と関連本の展示</li> <li>・開催日：令和5年8月27日(日)</li> <li>・開催場所：所沢図書館本館3階集会室</li> <li>・講師：福西 浩氏(公益財団法人日本極地研究振興会 代表理事)</li> <li>・対象者：小学生以上</li> <li>・参加者数：26人(申込者数48人)</li> <li>・展示図書：『北極・南極探検の歴史』『南極から地球環境を考える』『地球温暖化の教科書』『南極・北極の気象と気候』等20点</li> <li>・アンケート結果：満足度91.7%('とてもよかった' 'よかった'の合計)</li> </ul>		
		

事務事業名 所沢図書館本館照明 LED 化整備事業	予算現額	8,289,000 円
	決算額	7,645,000 円
所 管 教育総務部所沢図書館	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 5 目 3 説明 03 図書館施設維持管理費	不用額	644,000 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.163)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>図書館本館の水銀照明灯を LED 照明灯に改修することにより、水銀による環境汚染・健康被害の防止、館内全照明の LED 化による消費電力の抑制による二酸化炭素の排出削減及び維持管理費の削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。また、LED 化に当たり、利用者の安心・安全の確保を図るため、高天井の落下防止対策も併せて行う。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢図書館本館 LED 化整備事業設計委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（5 者）</li> <li>・委 託 先：株式会社タック</li> <li>・委託期間：令和 5 年 5 月 24 日～令和 6 年 2 月 29 日</li> <li>・委託金額：7,645,000 円</li> <li>・内 容：令和 6 年度に予定している図書館本館の LED 化及び高天井補強工事のための設計業務</li> </ul>		

事務事業名 「トコロん のびのび塾」算数基礎学力向上プロジェクト事業	予算現額	638,000 円
	決算額	456,431 円
所 管 学校教育部学校教育課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 4 説明 02 教育指導費	不用額	181,569 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.166)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、埼玉県学力学習状況調査において、本市の小学校第 3 学年から第 6 学年の算数の平均正答率が県平均を下回っている現状から、地域の教育力を活用した学習の機会を設けることで算数の基礎学力向上を図り、学習意欲の向上及び中 1 ギャップ解消の一助とするものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○実施期日：令和 5 年 7 月 24 日（月）、25 日（火）、27 日（木）、28 日（金）の 4 日間</p> <p>○会 場：教育センター</p> <p>○参加者数：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童：延べ 352 人（内訳：3 年生 19 人、4 年生 45 人、5 年生 34 人、6 年生 19 人）</li> <li>・ボランティア：延べ 152 人（内訳：退職校長・退職教諭 21 人、市費支援員等 17 人、大学生 9 人、中学生 14 人）</li> </ul>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>		

事務事業名 「学び創造アクティブ PLUS」 学力向上推進事業	予算現額	2,358,000 円
	決算額	2,238,446 円
所 管 学校教育部学校教育課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 4 説明 02 教育指導費	不用額	119,554 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.167)	前年度決算額	2,204,124 円

<事業の目的・内容>

児童生徒の「必要感・達成感」を大切にすること、一人一人に寄り添い「自己肯定感」を高めること、学校・家庭・地域が手をつなぎ、「未来を切り拓く力」を育成することを「行動方針の3つの柱」とし、地域総がかりで児童生徒の学力の向上を図るものである。

※学力向上推進事業として平成 23 年度から開始したもので、3 年ごとに更新及び名称を変更している。

<事業の実績・成果>

- ・学び創造アクティブ PLUS 推進委員会を 2 回開催し、子どもの学力向上、学校・家庭・地域の連携、これまでの取組と課題について意見交換を行った。
- ・学校クリエイト研究校（5 校）による研究報告及び参加者による協議等を実施した。
- ・児童生徒の「メディアとの付き合い方」「家庭での役割」の取組推進の一環として「ウィークデイチャレンジシート」を活用し、5,771 人が参加した。また、その結果を市ホームページで公開した。

令和 5 年度 「学び創造アクティブ PLUS」 研究委託			
	学校クリエイト研究	小中連携研修	学校アクティブ研究
選定方法	いずれも随意契約		
委託先	市内小中学校 5 校	市内中学校 15 校	市内小中学校 15 校
委託期間	R5. 4. 11～ R6. 3. 11	R5. 4. 11～ R6. 3. 11	R5. 4. 11～ R6. 3. 11
内 容	教育力を上げる 先進的な研究	小中連携に 関する合同研修	授業づくり の研究

事務事業名 第 1 学校給食センター受水槽外改修事業	予算現額	98,843,000 円
	決算額	59,548,000 円
所 管 学校教育部保健給食課	翌年度繰越額	39,295,000 円
予算区分 款 10 項 6 目 3 説明 04 学校給食施設費	不用額	0 円
事業概要 (R5-1 議案第 9 号～18 号 P.168)	前年度決算額	—

<事業の目的・内容>

老朽化する公共施設について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて計画的に整備し、公共施設の安全上適正な管理を図るものである。

<事業の実績・成果>

○所沢市立第 1 学校給食センター受水槽外改修工事

- ・選定方法：一般競争入札（5 者）
- ・契 約 先：株式会社糟谷設備工業所
- ・工 期：令和 5 年 6 月 16 日～令和 7 年 3 月 14 日  
(令和 5・6 年度継続事業)
- ・契約金額：227,260,000 円  
(令和 5 年度支払額 54,400,000 円)
- ・内 容：機械設備工事（受水槽更新等）  
建築工事（廃水処理設備解体等）  
電気設備工事（キュービクル改修等）

○所沢市立第 1 学校給食センター受水槽外改修工事監理業務委託

- ・選定方法：指名競争入札（6 者）
- ・委 託 先：株式会社フケタ設計 さいたま事務所
- ・委託期間：令和 5 年 7 月 7 日～令和 7 年 3 月 28 日  
(令和 5・6 年度継続事業)
- ・委託金額：12,870,000 円  
(令和 5 年度支払額 5,148,000 円)
- ・内 容：建築工事監理、建築設備工事監理

※本事業については、予算額 39,295,000 円を令和 6 年度へ逡次繰越し、実施する。

事務事業名 小中学校給食食材費補助事業	予算現額	92,375,000円
	決算額	86,318,075円
所管 学校教育部保健給食課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 6 目 3 説明 03 学校給食運営費	不用額	6,056,925円
事業概要 (R5-2 議案第 43~44 号 P.16)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>電気・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けている保護者に負担を求めることなく、児童生徒に栄養バランスや量を保った学校給食を提供するため、学校に対し食材費の上昇分を補助するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：令和5年9月から令和6年3月まで</li> <li>・内 容：令和3年度前期と令和5年度前期の食材費（副菜）の差額を上昇分として補助</li> <li>・補助額：学校給食センター分：54,508,311円 単独校・親子方式分：31,809,764円</li> </ul>		

事務事業名 PPA方式による第2学校給食センター太陽光発電設備設置事業	予算現額	—
	決算額	—
所管 学校教育部保健給食課	翌年度繰越額	—
予算区分 款 10 項 6 目 3 説明 04 学校給食施設費	不用額	—
事業概要 (R5-4 議案第 119~125 号 P.77)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>再生可能エネルギーの創出と電力使用における二酸化炭素の排出量削減を目的とし、新たに設置する第2学校給食センターに電力購入契約（PPA方式）による太陽光発電設備を設置するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市 PPA方式による第2学校給食センター太陽光発電設備導入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：プロポーザル方式（2者）</li> <li>・契 約 先：所沢市 B&amp;T 共同企業体</li> <li>・契約期間：令和6年3月29日～電力供給開始日の20年を経過する日</li> <li>・契約単価：29円/kWh（債務負担行為限度額：88,940,000円）</li> </ul>		

事務事業名 小中学校給食費保護者負担軽減事業	予算現額	267,663,000円												
	決算額	259,645,435円												
所管 学校教育部保健給食課	翌年度繰越額	0円												
予算区分 款 10 項 6 目 3 説明 03 学校給食運営費	不用額	8,017,565円												
事業概要 (R5-4 議案第119号～125号 P.79)	前年度決算額	—												
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>エネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けやすい子育て世帯の負担軽減を図るため、学校給食費の保護者負担分を3か月無償とするものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象：市立小中学校に児童生徒が在籍している世帯</li> <li>期間：令和6年1月から3月まで</li> <li>補助実績：</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>児童生徒数(延べ人数)</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>41,353人</td> <td>173,841,354円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>18,647人</td> <td>84,942,064円</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>193人</td> <td>745,395円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※アレルギー等で弁当持参の児童生徒がいる世帯には、給食費相当額を保護者の口座に振り込むこととした。</p>			区分	児童生徒数(延べ人数)	補助額	小学校	41,353人	173,841,354円	中学校	18,647人	84,942,064円	保護者	193人	745,395円
区分	児童生徒数(延べ人数)	補助額												
小学校	41,353人	173,841,354円												
中学校	18,647人	84,942,064円												
保護者	193人	745,395円												

事務事業名 ホームページ作成システム導入事業	予算現額	4,535,000円
	決算額	4,534,156円
所管 学校教育部教育センター	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 1 目 5 説明 03 教育センター費	不用額	844円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.170)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、現在、各校において専用ソフトや独自システムを利用してホームページを作成していたが、クラウド版のホームページ作成システムを導入し統一することで、分かりやすい情報提供を迅速に地域住民や保護者に行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>統一した作成システムの導入により、閲覧者が必要な情報へ容易にアクセスできる環境を整えた。</li> <li>操作の簡略化により、教職員の人事異動における引継ぎが円滑になり、継続的な更新が可能となった。</li> <li>各月の学校便りに加え、学校生活の様子等も公開され、市民に向けて開かれた教育活動を推進した。</li> <li>平均アクセス数：1校当たり1日約162件、平均投稿数：1校当たり1日約0.56件</li> </ul> <p>○ホームページ作成システム運用管理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選定方法：指名競争入札(6者)</li> <li>委託先：富士電機ITソリューション株式会社</li> <li>委託期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日</li> <li>委託金額：2,862,156円</li> <li>内容：CMSを利用したホームページ作成システムの導入及び公開に至るまでの作業並びに運用保守作業</li> </ul>		

事務事業名 ICT 支援員配置事業	予算現額	65,737,000 円
	決算額	65,736,000 円
所 管 学校教育部教育センター	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 5 説明 03 教育センター費	不用額	1,000 円
事業概要 (R5-1 議案第 9-18 号 P.171)	前年度決算額	54,832,800 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、ICT インフラの有効活用と教員の負担軽減を図るため、令和 4 年度に学校に配置した ICT 支援員について、令和 5 年度においても、継続して配置するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者 1 人、リーダー 1 人、支援員 8 人を配置</li> <li>・1 日単位を 1 回として、原則、47 校に対して月 3 回以上訪問</li> <li>・教職員の ICT スキルアップのための研修会を 92 回開催</li> <li>・教職員への ICT 活用支援（授業、校務等）を計 9,740 回実施</li> </ul> <p>○ICT 支援員業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（8 者）</li> <li>・委 託 先：富士電機 IT ソリューション株式会社</li> <li>・委託期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：65,736,000 円</li> <li>・内 容：授業時の端末操作やトラブル対応、ICT スキルアップ支援等</li> </ul>		

事務事業名 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業	予算現額	379,000 円
	決算額	378,440 円
所 管 学校教育部教育センター	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 5 説明 03 教育センター費	不用額	560 円
事業概要 (R5-3 議案第 79～82 号 P.39)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、埼玉県からの委託を受け、学習指導要領を踏まえた効果的かつ多様な指導方法の普及等による教員の指導力向上、家庭・地域との連携強化など、課題改善のための効果的な取組を推進するとともに、その成果について発信し、全県的な共有を図ることを目的として実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>保護者に対して実施した児童の変容調査「規律ある態度」達成目標アンケートでは、いずれの項目においても数値が向上した。</p> <p>○受 託 校：並木小学校</p> <p>○取組内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対してのアンケート実施、分析及び授業活用</li> <li>・保護者や地域の方が参加できる授業を実施（1 回実施）</li> <li>・取組を道徳だよりにまとめ、保護者や地域に発信（5 回発行）</li> <li>・道徳教育に係る外部講師の受入れ（5 回実施）</li> <li>・研究事業発表会・研究協議会（4 回開催）</li> </ul>		
「規律ある態度」達成目標アンケート結果		
アンケート項目	令和 5 年 4 月	令和 6 年 1 月
整理整頓	77.6%	80%
時刻を守る	94.5%	96%
正しい言葉遣い	91.4%	92%



## 議 会 事 務 局

---

- (1) 令和 5 年度中の議会は、定例会を 4 回、臨時会を 2 回開催した。  
また、議員が円滑に活動を行えるよう、議長の秘書業務をはじめ、議員報酬の支出や栄典事務、会議録の調製、広報などの事務処理を行った。
- (2) 令和 5 年 4 月に執行された任期満了に伴う所沢市議会議員選挙により、33 人の議員が当選した。この改選に伴う各種届出の処理をはじめとする事務処理を行った。また、議会運営、議員活動がより円滑に行えるよう、初当選した議員に向けた事務説明会や市内施設見学会を開催した。
- (3) 通年会期制について、平成 24 年の地方自治法改正以降、本市議会においても継続的な協議を行い、パブリックコメント手続の実施及び住民説明会等の開催を経て、令和 5 年第 4 回定例会において導入に伴う議員提出議案が可決に至った。
- (4) 所沢市議会 ICT 化推進基本計画に基づく議会活動の積極的な展開を図るとともに、市民にとって分かりやすい議会運営に資するため、高音質で音声録音機能を持ったマイクシステムを全員協議会室に導入した。
- (5) 議会活動や審議内容、審議結果について、多くの市民に分かりやすく周知するため、インターネットや SNS を活用した情報提供の充実、議会報告会の開催、市議会だよりの全戸配布の実施により、市議会の情報発信を行った。（市議会ホームページアクセス件数 1,319,085 件、インターネット議会中継アクセス件数 37,418 件）
- (6) 令和 6 年 2 月、「市民の声をどう政策につなげるか？～市民から議員になって～」をテーマに、令和 5 年 4 月に初当選した議員 5 人による政策討論会を開催した。



## 選挙管理委員会事務局

---

- (1) 選挙管理委員会の職務の円滑な遂行のために、事務補助を行った。
- (2) 市民が選挙制度を正しく理解し、自らが進んで投票に参加するとともに、選挙が適正に行われるよう啓発事業に取り組んだ。
  - ① 常時啓発として、明るい選挙推進協議会との協働により明るい選挙啓発ポスターコンクールを開催し、市内の小中学校及び高等学校より 861 点の作品が寄せられた。また、満 18 歳を迎えた新有権者へバースデーカードを送付し、選挙権を得たことを周知するなど、若年層への選挙啓発を図った。
  - ② 選挙時啓発として、市内高等学校の生徒から協力を得て、新たな体験型の取組として、防災無線等を活用した高校生による選挙啓発放送を実施した。
- (3) 任期満了に伴う 4 つの選挙において、特に混乱もなく適正に選挙を執行した。
  - ① 令和 5 年 4 月 29 日の任期満了に伴う埼玉県議会議員一般選挙を令和 5 年 4 月 9 日(告示日 3 月 31 日)に執行した。投票率は 38.03% (男 37.76% 女 38.30%) であった。
  - ② 令和 5 年 4 月 30 日の任期満了に伴う所沢市議会議員一般選挙を令和 5 年 4 月 23 日(告示日 4 月 16 日)に執行した。投票率は 40.20% (男 39.71% 女 40.67%) であった。
  - ③ 令和 5 年 8 月 30 日の任期満了に伴う埼玉県知事選挙を令和 5 年 8 月 6 日(告示日 7 月 20 日)に執行した。投票率は 24.21% (男 24.31% 女 24.11%) であった。
  - ④ 令和 5 年 10 月 29 日の任期満了に伴う所沢市長選挙を令和 5 年 10 月 22 日(告示日 10 月 15 日)に執行した。投票率は 38.80% (男 38.39% 女 39.20%) であった。



## 監 査 事 務 局

---

- (1) 監査委員が公正公平かつ効率的に監査等を執行できるよう、通年でその補助事務を適正に行った。
- (2) 監査計画に則り、監査委員に毎年度実施が義務付けられている監査等を行った。
  - ① 一般・各特別会計及び各企業会計（水道・下水道・病院）に係る例月現金出納検査を実施した。
  - ② 一般・各特別会計及び企業会計に係る決算審査（2件の物品及び1件の土地の公有財産調査、各企業会計の貯蔵品実査を含む。）及び定額基金に係る基金運用状況審査を実施した。
  - ③ 健全化判断比率及び資金不足比率並びにそれらの算定の基礎となる書類を対象として、健全化判断比率及び資金不足比率の審査を実施した。
  - ④ 定期・行政監査においては、9部局の物品等調査、施設調査及び説明聴取を実施した。また、12校の学校監査を実施した。
- (3) その他、監査委員が必要と認めた次の監査を行った。
  - ① 「公共用地の借地について」をテーマとして行政監査を実施した。
  - ② 株式会社明日葉、株式会社がくどう舎を対象団体とした財政援助団体等監査を実施した。



## 農業委員会事務局

---

- (1) 4月21日に通常総会を開催し、委員会活動の基本方針や事業計画を決定した。さらに、国や市に対して農業施策に関する意見書を提出した。
- (2) 令和5年7月20日から令和8年7月19日までの3年間を任期として、農業委員17人の任命及び農地利用最適化推進委員12人の委嘱を行い、新たな体制で活動を開始した。
- (3) 月例総会を開催し、農地法に基づく農地の権利移動及び転用に係る許可申請の審議並びに届出等の報告を行った。
  - ① 農地法第3条に基づく農地の権利移動許可を22件、52,388㎡の農地について行った。
  - ② 農地法第4条に基づく転用許可の審議を2件、513㎡の農地について行った。
  - ③ 農地法第5条に基づく農地の権利移動及び転用許可の審議を32件、39,125㎡の農地について行った。
- (4) 農地利用状況調査を7月下旬から8月上旬まで実施し、1,136,438㎡の農地を調査した。農地が適正管理されていない場合は指導等を行い、約82.7%に当たる939,669㎡が適正管理された。
- (5) 農地の出し手と受け手を取り次ぐ所沢市農地サポート事業を実施することにより、6件の所有権移転及び15件の貸借が成立し、合計で21件、66,846㎡の農地の流動化を図った。
- (6) 農地法第52条の2に基づく農地基本台帳情報整備事業を実施し、一筆ごとの農地情報を整理した。
- (7) 農業委員会情報紙「農委だよりとろろざわ」を年2回発行し、農業委員会の活動業務や農業情報を農地所有者及び耕作者に発信した。



# 特 別 会 計



## 令和5年度所沢市交通災害共済特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
共済会費収入	31,183,000	△ 12,413,000	0	18,770,000	18,771,000	1,000	100.0%
繰入金	0	0	0	0	0	0	-
繰越金	1,000	38,043,000	0	38,044,000	38,044,688	688	100.0%
諸収入	16,000	0	0	16,000	14,104	△ 1,896	88.2%
歳入合計	31,200,000	25,630,000	0	56,830,000	56,829,792	△ 208	100.0%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
事務費	8,020,000	0	0	0	8,020,000	6,579,305	0	1,440,695	82.0%
事業費	23,180,000	25,630,000	0	0	48,810,000	11,280,000	0	37,530,000	23.1%
歳出合計	31,200,000	25,630,000	0	0	56,830,000	17,859,305	0	38,970,695	31.4%

## 交通災害共済特別会計

---

歳入は、予算現額 5,683 万円に対し、収入済額 5,682 万 9,792 円、収入率は 100%であった。

歳出は、予算現額 5,683 万円に対し、支出済額 1,785 万 9,305 円、執行率は 31.4%であった。

歳入歳出差引き 3,897 万 487 円の繰越しとなった。

## 市民部

---

### 防犯交通安全課

交通災害共済事業については、加入者相互扶助の共済制度であり交通事故に遭った会員に対して、見舞金を支給した。

- ① 市民の 9.8%に当たる、33,584 人の加入があった。
- ② 傷害の程度に応じ、10,000 円から 1,000,000 円の見舞金を合計件数 171 件、合計金額 11,280,000 円を支給した。

令和5年度所沢市所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
事業収入	0	0	0	0	1,985,907	1,985,907	0.0%
繰入金	228,999,000	△ 7,892,000	0	221,107,000	221,107,000	0	100.0%
繰越金	0	0	720,485,666	720,485,666	720,880,092	394,426	100.1%
諸収入	1,000	0	0	1,000	8,358	7,358	835.8%
市債	0	0	900,000	900,000	0	△ 900,000	0.0%
歳入合計	229,000,000	△ 7,892,000	721,385,666	942,493,666	943,981,357	1,487,691	100.2%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
狭山ヶ丘土地区画整理事業費	229,000,000	△ 7,892,000	721,385,666	0	942,493,666	194,225,525	748,268,141	0	20.6%
歳出合計	229,000,000	△ 7,892,000	721,385,666	0	942,493,666	194,225,525	748,268,141	0	20.6%

## 狭山ヶ丘区画整理特別会計

---

歳入は、予算現額 9 億 4,249 万 3,666 円に対し、収入済額 9 億 4,398 万 1,357 円、収入率は 100.2%であった。

歳出は、予算現額 9 億 4,249 万 3,666 円に対し、支出済額 1 億 9,422 万 5,525 円、執行率は 20.6%であった。

歳入歳出差引き 7 億 4,975 万 5,832 円の繰越しとなった。

## 街づくり計画部

---

狭山ヶ丘区画整理事務所

狭山ヶ丘土地区画整理事業については事業期間である令和 10 年度完成を目指し、事業を進めている。

総事業費は 153 億 9,300 万円であり、令和 5 年度末現在の事業全体の進捗率は、87.92%（支出累計額 135 億 3,421 万 9,127 円）となった。

令和5年度所沢市所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
事業収入	136,621,000	0	0	136,621,000	95,113,060	△ 41,507,940	69.6%
国庫支出金	720,000,000	△ 208,332,000	214,498,000	726,166,000	294,470,000	△ 431,696,000	40.6%
繰入金	284,779,000	4,126,000	0	288,905,000	288,905,000	0	100.0%
繰越金	0	0	144,251,818	144,251,818	145,028,456	776,638	100.5%
諸収入	0	4,200,000	0	4,200,000	5,196,858	996,858	123.7%
市債	813,600,000	234,300,000	293,200,000	1,341,100,000	720,400,000	△ 620,700,000	53.7%
歳入合計	1,955,000,000	34,294,000	651,949,818	2,641,243,818	1,549,113,374	△ 1,092,130,444	58.7%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
所沢駅西口土地区画整理事業費	1,955,000,000	34,294,000	651,949,818	0	2,641,243,818	1,468,079,248	1,173,164,570	0	55.6%
歳出合計	1,955,000,000	34,294,000	651,949,818	0	2,641,243,818	1,468,079,248	1,173,164,570	0	55.6%

## 所沢駅西口区画整理特別会計

---

歳入は、予算現額 26 億 4,124 万 3,818 円に対し、収入済額 15 億 4,911 万 3,374 円、収入率は 58.7%であった。

歳出は、予算現額 26 億 4,124 万 3,818 円に対し、支出済額 14 億 6,807 万 9,248 円、執行率は 55.6%であった。

歳入歳出差引き 8,103 万 4,126 円の繰越しとなった。

## 街づくり計画部

---

所沢駅西口区画整理事務所

所沢駅西口土地区画整理事業として、既存の水道管や下水管の切り直し工事、道路や宅地の整備、移転補償契約の締結等を行っている。

総事業費は 110 億 8,200 万円であり、令和 5 年度末現在の事業全体の進捗率は、79.2%（支出累計額 87 億 7,796 万 1 千円）となった。

## 令和5年度所沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
国民健康保険税	7,156,302,000	△ 360,224,000	0	6,796,078,000	6,962,118,315	166,040,315	102.4%
国庫支出金	1,001,000	0	0	1,001,000	989,000	△ 12,000	98.8%
県支出金	22,015,107,000	51,591,000	0	22,066,698,000	20,839,957,819	△ 1,226,740,181	94.4%
財産収入	2,000	34,000	0	36,000	31,737	△ 4,263	88.2%
繰入金	2,562,365,000	468,417,000	0	3,030,782,000	2,972,831,488	△ 57,950,512	98.1%
繰越金	1,000	21,401,000	0	21,402,000	21,401,845	△ 155	100.0%
諸収入	86,222,000	0	0	86,222,000	113,217,960	26,995,960	131.3%
歳入合計	31,821,000,000	181,219,000	0	32,002,219,000	30,910,548,164	△ 1,091,670,836	96.6%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
総務費	270,952,000	6,581,000	0	0	277,533,000	249,471,829	0	28,061,171	89.9%
保険給付費	21,809,655,000	29,800,000	0	0	21,839,455,000	20,427,385,239	0	1,412,069,761	93.5%
国保事業費納付金	9,324,782,000	0	0	0	9,324,782,000	9,324,781,084	0	916	100.0%
共同事業拠出金	6,000	0	0	0	6,000	800	0	5,200	13.3%
保健事業費	363,599,000	0	0	0	363,599,000	297,602,726	0	65,996,274	81.8%
基金積立金	2,000	21,435,000	0	0	21,437,000	21,433,554	0	3,446	100.0%
諸支出金	51,004,000	123,403,000	0	0	174,407,000	161,502,747	0	12,904,253	92.6%
予備費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0%
歳出合計	31,821,000,000	181,219,000	0	0	32,002,219,000	30,482,177,979	0	1,520,041,021	95.3%

## 国民健康保険特別会計

---

歳入は、予算現額 320 億 221 万 9 千円に対し、収入済額 309 億 1,054 万 8,164 円、収入率は 96.6%であった。

歳出は、予算現額 320 億 221 万 9 千円に対し、支出済額 304 億 8,217 万 7,979 円、執行率は 95.3%であった。

歳入歳出差引き 4 億 2,837 万 185 円の繰越しとなった。

## 財務部

---

### 収税課

所沢市収納率向上計画に基づき、未整理事案の解決を中心とした滞納整理を行った。

国民健康保険税収入は、調定額 80 億 4,523 万円に対し、収入済額 69 億 6,211 万 8 千円、収納率は 86.5%であった。

## 健康推進部

---

### 国民健康保険課

- (1) 埼玉県モデル事業として平成 26 年度より開始された糖尿病性腎症重症化予防プログラムに引き続き参加した。内容は、糖尿病性腎症のハイリスク者に対して保健指導等を行い、人工透析への移行を防ぎ、被保険者の病状維持及び改善を図るとともに、医療費の抑制を図るというものである。
- (2) 医療費適正化について、ジェネリック医薬品の利用促進を引き続き取り組んだ結果、令和 6 年 3 月診療分で 82.5%となり、前年同時期と比べ 2.4 ポイント上昇した。

また、平成 29 年度より、所沢市医師会・所沢市薬剤師会・明治薬科大学と連携し、かかりつけ医・かかりつけ薬局の推進とともに、服薬の適正化事業に取り組んでおり、令和 5 年度も前年度に引き続き、ポリファーマシー（多剤併用）に着目したお薬相談事業を実施した。

事務事業名 トコトコ健幸マイレージ事業	予算現額	5,238,000円
	決算額	4,992,122円
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 5 項 1 目 2 説明 01 疾病予防費	不用額	245,878円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.177)	前年度決算額	4,197,815円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;          本事業は、令和元年度まで実施してきた「トコロん健幸マイレージ事業」のコンセプトを継承し、参加者の拡大と事業費抑制の両立を図るため、令和2年7月より埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ事業」に参入したものである。気軽に実践できる「歩き」を中心に、市民が楽しんで健康づくりを継続できるよう支援するとともに、県のポイント・景品に加えて、市独自のポイント・景品を設定することで、より充実した事業を展開している。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;          ・令和6年2月末参加者：14,738人 ※事業の見直しに伴い、令和6年2月末が最終値となっている。          (スマホアプリ利用者：11,715人、歩数計利用者：3,023人)          ・参加者の1日平均歩数：7,231歩</p> <p>○健幸マイレージ事業業務委託          ・選定方法：随意契約          ・委託先：日本健保株式会社          ・委託期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日          ・委託金額：3,564,000円のうち当課負担分784,080円 ※健康づくり支援課と案分(22:78)          ・内 容：参加者の情報及び歩数履歴の管理、市独自ポイントの集計とポイント付与メールの一斉配信</p> <p>○健幸マイレージ景品業務委託          ・選定方法：随意契約          ・委託先：株式会社corot(コロット)          ・委託期間：令和6年1月15日～3月31日          ・委託金額：16,072,100円のうち当課負担分3,535,862円 ※健康づくり支援課と案分(22:78)          ・内 容：店舗との交渉及び連絡調整、お食事券等の印刷及び発送</p>		

事務事業名 特定保健指導業務委託事業	予算現額	5,456,000円																														
	決算額	2,170,300円																														
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0円																														
予算区分 款 5 項 2 目 1 説明 01 特定健康診査等事業費	不用額	3,285,700円																														
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.178)	前年度決算額	2,281,400円																														
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;          平成20年4月より義務付けられた特定健康診査と特定保健指導の実施において、令和元年度から、特定保健指導の一部(動機付け支援)を直営体制から業務委託に切り替え、国の目標値が達成できる体制を再構築し、国保加入者の生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療を通して、健康保持増進と生活の質の向上を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;          令和元年度から動機付け支援対象者の特定保健指導業務委託に切り替えた結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度を除いて、委託の効果により、実施率の上昇がみられる。</p> <p>○令和5年度特定保健指導実施率          ・全体：27.9%          ・動機付け支援：29.5%          ・積極的支援：22.2%          ※令和6年7月25日現在(最終確定は11月)</p> <p>○令和5年度所沢市国民健康保険特定保健指導業務委託          ・選定方法：随意契約          ・委託先：所沢市医師会          ・委託期間：令和5年4月18日～令和6年3月31日          ・委託金額：1,978,900円</p> <p>○平成30年～令和4年度特定保健指導実施率</p> <table border="1"> <caption>平成30年～令和4年度特定保健指導実施率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数(人)</th> <th>実施者数(人)</th> <th>実施率(%)</th> <th>市町村平均実施率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>2,531</td> <td>522</td> <td>20.6%</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>2,260</td> <td>724</td> <td>32.0%</td> <td>19.8%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,158</td> <td>549</td> <td>25.4%</td> <td>20.2%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,274</td> <td>706</td> <td>31.0%</td> <td>19.4%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2,138</td> <td>693</td> <td>32.4%</td> <td>18.9%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	対象者数(人)	実施者数(人)	実施率(%)	市町村平均実施率(%)	平成30年度	2,531	522	20.6%	20.0%	令和元年度	2,260	724	32.0%	19.8%	令和2年度	2,158	549	25.4%	20.2%	令和3年度	2,274	706	31.0%	19.4%	令和4年度	2,138	693	32.4%	18.9%
年度	対象者数(人)	実施者数(人)	実施率(%)	市町村平均実施率(%)																												
平成30年度	2,531	522	20.6%	20.0%																												
令和元年度	2,260	724	32.0%	19.8%																												
令和2年度	2,158	549	25.4%	20.2%																												
令和3年度	2,274	706	31.0%	19.4%																												
令和4年度	2,138	693	32.4%	18.9%																												

事務事業名 税系システム改修事業（産前産後期間の保険税軽減措置）	予算現額	2,964,000円
	決算額	2,948,000円
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 1 項 2 目 1 説明 01 賦課事務費	不用額	16,000円
事業概要 (R5-4 議案第 119～125 号 P.81)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>国民健康保険税の算定において令和6年1月から出産被保険者に係る産前産後期間の所得割額及び均等割額の軽減措置が講じられることとなった。これを受け、申請のあった被保険者の軽減額を算定するために税系システムを改修するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○税系システム改修事業委託（産前産後期間の保険税軽減措置）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：Acrocity ソリューションズ株式会社</li> <li>・委託期間：令和6年1月18日～2月29日</li> <li>・委託金額：2,948,000円</li> </ul>		



## 令和5年度所沢市介護保険特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
保険料	6,192,229,000	0	0	6,192,229,000	5,984,552,200	△ 207,676,800	96.6%
使用料及び手数料	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	-
国庫支出金	5,851,943,000	0	0	5,851,943,000	5,796,850,851	△ 55,092,149	99.1%
支払基金交付金	7,289,128,000	40,617,000	0	7,329,745,000	6,643,540,100	△ 686,204,900	90.6%
県支出金	3,995,741,000	0	0	3,995,741,000	3,972,170,316	△ 23,570,684	99.4%
財産収入	2,298,000	1,081,000	0	3,379,000	3,098,689	△ 280,311	91.7%
繰入金	4,729,052,000	40,910,000	0	4,769,962,000	4,769,960,010	△ 1,990	100.0%
繰越金	1,000	1,803,297,000	0	1,803,298,000	1,803,292,857	△ 5,143	100.0%
諸収入	607,000	0	0	607,000	6,497,171	5,890,171	1,070.4%
歳入合計	28,061,000,000	1,885,905,000	0	29,946,905,000	28,979,962,194	△ 966,942,806	96.8%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
総務費	338,635,000	28,732,000	0	0	367,367,000	339,329,386	0	28,037,614	92.4%
保険給付費	26,344,546,000	0	0	0	26,344,546,000	24,012,906,341	0	2,331,639,659	91.1%
地域支援事業費	1,368,302,000	0	0	0	1,368,302,000	1,147,704,434	0	220,597,566	83.9%
基金積立金	2,298,000	743,010,000	0	0	745,308,000	745,027,395	0	280,605	100.0%
諸支出金	7,219,000	1,114,163,000	0	0	1,121,382,000	1,121,345,678	0	36,322	100.0%
歳出合計	28,061,000,000	1,885,905,000	0	0	29,946,905,000	27,366,313,234	0	2,580,591,766	91.4%

## 介護保険特別会計

---

歳入は、予算現額 299 億 4,690 万 5 千円に対し、収入済額 289 億 7,996 万 2,194 円、収入率は 96.8%であった。

歳出は、予算現額 299 億 4,690 万 5 千円に対し、支出済額 273 億 6,631 万 3,234 円、執行率は 91.4%であった。

歳入歳出差引き 16 億 1,364 万 8,960 円の繰越しとなった。

## 福祉部

---

### 1 高齢者支援課

- (1) 介護予防・生活支援サービス事業として、訪問型サービス、通所型サービス及び通所型短期集中予防サービスを実施した。
- (2) 介護予防事業として、高齢者みまもり相談員設置事業、いきいき健康体操教室事業、介護予防普及啓発事業、お達者倶楽部の推進等を行った。
- (3) 地域包括支援センター運営事業として、市内 14 か所に設置している地域包括支援センターにおいて、総合相談などに応じるとともに地域との協力を図った（総合相談件数 34,682 件）。
- (4) 認知症施策推進事業として、認知症初期集中支援チームの配置（訪問支援 51 件、相談 8 件）、みんなのカフェ（認知症カフェ）の開設（12 か所、79 回開催）、認知症地域支援推進員の配置を行った。
- (5) 在宅医療・介護連携推進事業として、住み慣れた地域で最期まで暮らし続けられるよう医療と介護の円滑な連携体制の構築に努めた。
- (6) 生活支援体制整備事業として、市全体を担当する「第 1 層生活支援コーディネーター」と各日常生活圏域（14 圏域）を担当する「第 2 層生活支援コーディネーター」を配置し、地域資源やニーズの把握を行った（地域における社会資源数 845 件）。

## 2 介護保険課

- (1) 年度末の65歳以上の第1号被保険者数は95,018人、要支援・要介護認定者数は17,479人、介護保険給付サービスを受けている人数は13,003人であった。
- (2) 保険給付費については、全額を第1号被保険者の保険料で賄う特別給付を含め、240億1,290万6,341円、また、地域支援事業費については11億4,770万4,434円であった。
- (3) 介護保険料賦課徴収事業、趣旨普及事業、サービス事業者支援事業、介護認定審査会事業、介護保険給付事業、高額介護サービス費の給付、紙おむつ給付事業、住宅改修支援助成事業等を行った。

## 健康推進部

---

### 健康づくり支援課

栄養士、歯科衛生士、理学療法士、保健師による介護予防のためのつどい、栄養教室、歯科健康教室等の事業を実施した。

事務事業名 介護保険システム改修事業（法改正対応等分）	予算現額	28,732,000 円
	決算額	24,068,000 円
所 管 福祉部介護保険課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 01 総務事務費	不用額	4,664,000 円
事業概要 (R5-3 議案第 79~82 号 P.44)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>介護保険制度に基づく保険者事務処理を行う介護保険システムについて、介護認定調査支援システムとのデータ連携、自治体情報システム標準化へ向けた準備作業等及び令和 6 年 4 月施行分介護保険法改正へ対応するための改修を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○介護認定調査システム連携対応業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社日立システムズ 関東甲信越支社</li> <li>・委託期間：令和 5 年 10 月 24 日～令和 6 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：3,102,000 円</li> <li>・内 容：介護認定調査支援システムとのデータ連携に係るシステム改修</li> </ul> <p>○所沢市介護保険システム改修委託（法改正対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社日立システムズ 関東甲信越支社</li> <li>・委託期間：令和 6 年 2 月 9 日～3 月 31 日</li> <li>・委託金額：14,102,000 円</li> <li>・内 容：令和 6 年 4 月施行分介護保険法改正へ対応するためのシステム改修</li> </ul> <p>○所沢市介護保険システム標準化準備及び改修委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社日立システムズ 関東甲信越支社</li> <li>・委託期間：令和 5 年 10 月 24 日～令和 6 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：6,864,000 円</li> <li>・内 容：自治体情報システム標準化へ向けた準備作業及び当市独自施策ツールの改修</li> </ul>		

## 令和5年度所沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
保険料	4,968,677,000	0	0	4,968,677,000	4,633,155,343	△ 335,521,657	93.2%
使用料及び手数料	2,000	0	0	2,000	5,000	3,000	250.0%
繰入金	805,543,000	△ 21,659,000	0	783,884,000	783,883,299	△ 701	100.0%
繰越金	1,000	50,817,000	0	50,818,000	50,816,172	△ 1,828	100.0%
諸収入	10,777,000	0	0	10,777,000	8,024,281	△ 2,752,719	74.5%
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0.0%
歳入合計	5,785,000,000	29,158,000	0	5,814,158,000	5,475,884,095	△ 338,273,905	94.2%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
総務費	65,747,000	4,620,000	0	0	70,367,000	66,916,160	0	3,450,840	95.1%
後期高齢者医療広域連合納付金	5,709,178,000	△ 14,549,000	0	0	5,694,629,000	5,348,004,442	0	346,624,558	93.9%
諸支出金	10,075,000	39,087,000	0	0	49,162,000	46,311,522	0	2,850,478	94.2%
歳出合計	5,785,000,000	29,158,000	0	0	5,814,158,000	5,461,232,124	0	352,925,876	93.9%

## 後期高齢者医療特別会計

---

歳入は、予算現額 58 億 1,415 万 8 千円に対し、収入済額 54 億 7,588 万 4,095 円、収入率は 94.2%であった。

歳出は、予算現額 58 億 1,415 万 8 千円に対し、支出済額 54 億 6,123 万 2,124 円、執行率は 93.9%であった。

歳入歳出差引き 1,465 万 1,971 円の繰越しとなった。

## 健康推進部

---

国民健康保険課

- (1) 保険料の決定や医療給付等については、埼玉県後期高齢者医療広域連合が行い、保険料の徴収及び窓口業務を市が行っている。被保険者数については、令和 6 年 3 月末現在で、52,963 人、前年同月比では 2,092 人の増、増加率は 4.1%である。
- (2) 後期高齢者医療保険料の収納状況は、歳入予算現額 49 億 6,867 万 7 千円に対し、調定額 46 億 7,427 万 6,893 円、収入済額 46 億 3,315 万 5,343 円であった。

予算現額に対する収入済額比率は 93.2%、対調定収入率は 99.1%である。

( 参 考 )  
事 業 会 計



# 令和5年度所沢市水道事業会計決算表

## 1. 収入

### 収益的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額				決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額	予算現額			
1	水道事業収益	6,786,740	0	0	6,786,740	6,608,311	△ 178,429	97.4
	01 営業収益	6,205,469	0	0	6,205,469	6,131,565	△ 73,904	98.8
	02 営業外収益	581,271	0	0	581,271	474,582	△ 106,689	81.6
	03 特別利益	0	0	0	0	2,164	2,164	—

### 資本的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	予算現額			
1	資本的収入	1,888,613	0	28,690	0	1,917,303	1,397,361	△ 519,942	72.9
	01 企業債	1,650,000	0	0	0	1,650,000	1,186,300	△ 463,700	71.9
	02 負担金	238,613	0	28,690	0	267,303	211,061	△ 56,242	79.0

## 2. 支出

収益的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額						決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	法第26条 第2項の規定 による繰越額	不 用 額
		当 初 予算額	補 正 予算額	予備費 支出額	流用増減額	法第24条 第3項の規定 による支出額	予算現額				
1	水道事業費	6,410,565	0	0	0	0	6,410,565	6,008,745	93.7	0	401,820
	01 営業費用	6,318,550	0	0	△ 35,076	0	6,283,474	5,894,214	93.8	0	389,260
	02 営業外費用	82,015	0	0	35,076	0	117,091	114,531	97.8	0	2,560
	03 予備費	10,000	0	0	0	0	10,000	0	0.0	0	10,000

資本的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額						決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	翌年度繰越額		不 用 額
		当 初 予算額	補 正 予算額	流 用 増減額	法第26条 の規定による 繰 越 額	継 続 費 遞 次 繰 越 額	予算現額			法第26条 の規定による 繰 越 額	継続費 遞 次 繰越額	
1	資本的支出	4,808,638	0	0	202,992	0	5,011,630	3,287,294	65.6	816,805	27,890	879,641
	01 建設改良費	4,213,706	0	0	202,992	0	4,416,698	2,692,363	61.0	816,805	27,890	879,640
	02 企業債償還金	594,932	0	0	0	0	594,932	594,931	100.0	0	0	1

## 水道事業会計

---

水道事業会計の決算については次のとおりである。

令和 5 年度の収益的収支については、水道事業収益が 60 億 5,875 万 3,492 円（税込金額 66 億 831 万 1,159 円）となり、前年度に比べ 0.91% の減少となった。

このうち水道料金は 49 億 2,048 万 9,620 円（税込金額 54 億 1,239 万 7,714 円）で前年度に比べ 2.10% の増加、水道利用加入金は 3 億 3,552 万円（税込金額 3 億 6,907 万 2,000 円）で前年度に比べ 11.19% の増加となった。また、営業収益の他会計負担金は 2 億 7,892 万 4,303 円（税込金額 3 億 179 万 4,431 円）となった。

一方、支出については、水道事業費が 56 億 7,923 万 1,512 円（税込金額 60 億 874 万 4,818 円）となり、前年度に比べ 0.56% の減少となった。

以上の結果、当年度純利益 3 億 7,952 万 1,980 円を計上した。

令和 5 年度の資本的収支については、資本的収入が 13 億 8,230 万 8,620 円（税込金額 13 億 9,736 万 1,065 円）となった。

一方、資本的支出は 30 億 5,590 万 766 円（税込金額 32 億 8,729 万 4,385 円）となった。

このうち建設改良費は 24 億 6,096 万 9,695 円（税込金額 26 億 9,236 万 3,314 円）で前年度に比べ 31.06% の減少、企業債償還金（元金）は 5 億 9,493 万 1,071 円で前年度に比べ 8.94% の増加となった。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 18 億 8,993 万 3,320 円（税込金額）は、過年度分損益勘定留保資金 9 億 476 万 1,188 円、当年度分損益勘定留保資金 122 万 8,235 円、減債積立金 4 億 3,565 万 1,577 円、過年度分消費税資本的収支調整額 3 億 3,317 万 9,381 円及び当年度分消費税資本的収支調整額 2 億 1,511 万 2,939 円で補てんした。

# 上 下 水 道 局

---

本市水道事業は、安全な水の安定供給により市民生活と産業活動を支えるため、災害に強いライフラインの構築に向けた水道施設の整備を進めるとともに、施設の維持管理や水質検査を適切に実施している。

また、持続可能な水道に向けて、50年先の将来像を描き実現に向けて策定した所沢市水道ビジョン及び所沢市水道事業経営計画に基づき、一層の効率化と経営基盤の安定化を進めていく。

## 1 総務課

上下水道局庁舎の照明をLED照明に改修することにより、維持管理費の削減及び消費電力量の抑制による二酸化炭素の排出削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与した。

## 2 窓口サービス課

消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）が令和5年10月から導入されたことに伴い、水道料金及び下水道使用料の納入通知書等をインボイス制度に対応するため、システム改修を行った。

## 3 水道建設課

水道管の整備状況については、老朽管の更新を中心とした配水管網の整備を図るため、市内各地区に耐震性を有するダクタイル鋳鉄管等10,199.1mを整備した。

## 4 給水管理課

- (1) 浄水場整備事業として、災害時における安定給水を図るため、着水井等の耐震診断を実施した。
- (2) 西部浄水場については、ダウンサイジングを見据えた当該施設全体の更新に向け、基本計画を策定するとともに設計・施工一括発注等の導入可能性を調査した。

事務事業名 上下水道局庁舎照明 LED 化整備事業	予算現額	47,030,000 円
	決算額	19,140,000 円
所 管 上下水道局総務課	翌年度繰越額	27,890,000 円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 資本的支出	不用額	0 円
事業概要 (R5-1 議案第 9~18 号 P.180)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>上下水道局庁舎の照明は老朽化が進んでおり、既設照明設備の大部分の安定器が製造を終了している。</p> <p>本事業は、消費電力の少ない LED 照明に改修することにより、庁舎照明設備の安定稼働を図るとともに、維持管理費の削減及び消費電力量の抑制による二酸化炭素の排出削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○上下水道局庁舎照明 LED 化工事（令和 5・6 年度継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（5 者）</li> <li>・契 約 先：三光通信株式会社</li> <li>・工 期：令和 5 年 8 月 7 日～令和 7 年 2 月 20 日</li> <li>・契約金額：81,840,000 円（令和 5 年度支払額 19,140,000 円）</li> </ul> <p>※本事業については、予算額 27,890,000 円を令和 6 年度に逐次繰越し、実施する。</p>		

事務事業名 インボイス制度の開始に伴う料金システム改修事業	予算現額	4,326,000 円
	決算額	4,325,200 円
所 管 上下水道局窓口サービス課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 1 項 1 目 4 説明 収益的支出	不用額	800 円
事業概要 (R5-1 議案第 9~18 号 P.182)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、令和 5 年 10 月の消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）導入に伴い、水道料金及び下水道使用料の納入通知書等をインボイス制度に対応するものとするため、システムを改修するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>水道料金・下水道使用料の納入通知書等に必要事項（登録番号、適用税率、消費税額等）を記載するため、システムの改修を行った。</p> <p>○インボイス制度の開始に伴う料金システム改修業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：第一環境株式会社</li> <li>・委託期間：令和 5 年 5 月 18 日～9 月 30 日</li> <li>・委託金額：4,325,200 円</li> </ul>		

事務事業名 水道管整備事業	予算現額	3,330,897,800円
	決算額	2,130,736,761円
所 管 上下水道局水道建設課	翌年度繰越額	437,030,000円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 資本的収支	不用額	763,131,039円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.184) (R5-4 議案第126・127号 P.95)	前年度決算額	3,417,963,421円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は所沢市水道事業経営計画に基づき、老朽化した水道管について、法定耐用年数を考慮した上で更新を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>【令和5年度工事概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大口径管更新工事 1件 実施延長 717.7m</li> <li>・小口径管更新工事 14件 実施延長 8,931.3m</li> <li>・配水管布設工事 3件 実施延長 550.1m</li> <li style="padding-left: 20px;">計 18件 総延長 10,199.1m</li> <li>・業務委託 測量委託：6件、設計委託：4件 合計 10件</li> </ul> <p>※本事業については、地方公営企業法第26条の規定による繰越額として437,030,000円を令和6年度に繰り越し、実施する。</p>		

事務事業名 浄水場整備事業（耐震補強工事）	予算現額	48,654,000円
	決算額	18,128,000円
所 管 上下水道局給水管理課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 資本的支出	不用額	30,526,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.185)	前年度決算額	52,404,000円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢市水道事業経営計画に基づき、着水井等について耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場所に耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配水池等の耐震化率：95.1%(令和5年度末)</li> <li>・着水井等の耐震化率：61.8%(令和5年度末)</li> </ul> <p>○南部浄水場着水井耐震診断業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(6者)</li> <li>・委 託 先：株式会社中央設計技術研究所 所沢事務所</li> <li>・委託期間：令和5年7月26日～令和6年3月15日</li> <li>・委託金額：18,128,000円</li> <li>・内 容：耐震補強による災害に強いライフラインの構築</li> </ul> <p>※北野・山口加圧ポンプ場着水井等耐震補強工事設計業務委託は、予算編成後、令和4年度末の耐震診断結果で「耐震性有」と判明したため実施不要となった。</p>		

事務事業名 浄水場整備事業（西部浄水場更新工事）	予算現額	39,578,000 円
	決算額	39,578,000 円
所 管 上下水道局給水管理課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 資本的支出	不用額	0 円
事業概要 (R5-1 議案第 9～18 号 P.186)	前年度決算額	6,600,000 円
<p>&lt;&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>西部浄水場について、ダウンサイジングを見据えた当該施設全体の再構築を行い、配水池や管理棟など全ての場内施設を計画的に更新するものである。</p> <p><b>【施設概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転開始：昭和 37 年 7 月</li> <li>・ 令和 5 年度配水量：12,226,990 m<sup>3</sup>（市全体の 34.2%）</li> </ul> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和 4 年度から令和 5 年度にかけて、基本計画の策定、設計・施工一括発注等の効率的な手法の導入可能性についての調査を実施した。</p> <p>○西部浄水場更新基本計画策定等業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選定方法：指名競争入札(6 者)</li> <li>・ 委 託 先：株式会社日水コン 埼玉事務所</li> <li>・ 委託期間：令和 4 年 6 月 14 日～令和 6 年 3 月 15 日</li> <li>・ 委託金額：39,578,000 円</li> <li>・ 内 容：更新工事による老朽化施設の耐震性及び施設規模の適正化</li> </ul>		



# 令和5年度所沢市下水道事業会計決算表

## 1. 収入

収益的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額				決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	法第24条第3項 の規定による支出額 に係る財源充当額	予算現額			
1	下水道事業収益	6,324,835	0	0	6,324,835	6,271,755	△ 53,080	99.2
	01 営業収益	4,835,465	0	0	4,835,465	4,768,418	△ 67,047	98.6
	02 営業外収益	1,477,689	0	0	1,477,689	1,503,337	25,648	101.7
	03 特別利益	11,681	0	0	11,681	0	△ 11,681	0.0

資本的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	法第26条 の規定による 繰越額に係る 財源充当額	継続費通次繰 越額に係る 財 源 充 当 額	予算現額			
1	資本的収入	2,206,687	0	826,400	0	3,033,087	2,291,279	△ 741,808	75.5
	01 企業債	1,441,200	0	826,400	0	2,267,600	1,618,200	△ 649,400	71.4
	02 固定資産売却代金	12	0	0	0	12	0	△ 12	0.0
	03 負担金	517,423	0	0	0	517,423	523,415	5,992	101.2
	04 補助金	243,100	0	0	0	243,100	146,600	△ 96,500	60.3
	05 長期貸付金償還金	4,952	0	0	0	4,952	3,064	△ 1,888	61.9

## 2. 支出

収益的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決算額	予算額に対する 比率 (%)	法第26条 第2項の規定 による繰越額	不 用 額	
		当 初 予算額	補 正 予算額	予備費 支出額	流用増減額	法第24条 第3項の規定 による支出額					予算現額
1	下水道事業費	6,063,031	0	0	0	0	6,063,031	5,870,867	96.8	0	192,164
	01 営業費用	5,738,601	0	0	0	0	5,738,601	5,579,086	97.2	0	159,515
	02 営業外費用	314,430	0	0	0	0	314,430	291,781	92.8	0	22,649
	03 予備費	10,000	0	0	0	0	10,000	0	0.0	0	10,000

資本的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決算額	予算額に対する 比率 (%)	翌年度繰越額		不 用 額	
		当 初 予算額	補 正 予算額	流 用 増減額	法第26条 の規定による 繰越額	継 続 費 通 次 繰 越 額			予算現額	法第26条 の規定による 繰越額		継続費 通次 繰越額
1	資本的支出	4,825,846	0	0	1,293,173	90,070	6,209,089	5,035,117	81.1	777,450	0	396,522
	01 建設改良費	3,774,681	0	0	1,293,173	90,070	5,157,924	3,988,737	77.3	777,450	0	391,737
	02 企業債償還金	1,045,165	0	0	0	0	1,045,165	1,045,164	100.0	0	0	1
	03 長期貸付金	6,000	0	0	0	0	6,000	1,216	20.3	0	0	4,784

## 下水道事業会計

---

下水道事業会計の決算については次のとおりである。

令和5年度の収益的収支については、下水道事業収益が58億4,701万1,208円(税込金額62億7,175万5,208円)となり、前年度に比べ0.09%の減少となった。

このうち下水道使用料は32億874万4,424円(税込金額35億2,922万1,679円)で前年度に比べ0.74%の減少となった。また、営業収益の他会計負担金は12億2,547万8,000円(不課税)、営業外収益の他会計補助金は9,700万円(不課税)となった。

一方、支出については、下水道事業費が57億3,939万4,827円(税込金額58億7,086万6,649円)となり、前年度に比べ1.06%の増加となった。

以上の結果、当年度純利益1億761万6,381円を計上した。

令和5年度の資本的収支については、資本的収入が22億7,364万1,291円(税込金額22億9,127万9,263円)となった。

一方、資本的支出は46億9,452万518円(税込金額50億3,511万6,929円)となった。

このうち建設改良費は36億4,814万415円(税込金額39億8,873万6,826円)で前年度に比べ28.03%の増加、企業債償還金(元金)は10億4,516万4,103円で前年度に比べ0.52%の増加となった。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に不足する額27億4,383万7,666円(税込金額)は、過年度分損益勘定留保資金24億5,020万1,675円、当年度分損益勘定留保資金3,011万7,624円、減債積立金7,305万4,645円及び当年度分消費税資本的収支調整額1億9,046万3,722円で補てんした。

# 上 下 水 道 局

---

本市下水道事業は、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全及び市街地の浸水防除のため、施設の整備と災害に強いライフラインの構築を進めるとともに、適切な維持管理や普及促進事業を実施している。

また、所沢市下水道事業経営計画に基づく戦略的な事業展開を図るなど、重要なインフラを預かる公営企業として、より効率的な事業運営と健全経営に努めている。

## 1 経営課

所沢市下水道事業経営計画について、令和7年度から令和16年度までを新たな計画期間として改定を行うに当たり、経営計画の中心となる投資・財政計画について助言を受けるため、業務委託を実施した。

## 2 下水道整備課

- (1) 上新井四丁目地区について、効率的な浸水被害の軽減を目的として、既存管渠を利用し、一時的に雨水を貯留する施設（雨水調整池）を公園地下に築造するため、詳細設計業務委託を実施した。
- (2) 下水管の整備状況については、第1次市街化調整区域下水道整備計画に基づく第4期整備事業により6,331.7m、その他の事業により1,647.4m、合計7,979.1mの下水管を布設した。
- (3) 管渠222mの耐震化や市内約25kmの管路施設耐震診断など、下水道施設に対する地震対策を実施した。

## 3 下水道維持課

下水道整備課及び窓口サービス課との共同による雨天時浸入水対策事業として、柳瀬川1号幹線管路施設のテレビカメラ調査及び大字下安松地内の下水管布設工事を実施するとともに、汚水管への雨水の流入を抑制するため、新たに排水設備を接続した家屋を対象として外水道用栓の無料配布を行った。

事務事業名 下水道事業経営計画改定事業	予算現額	2,801,000円
	決算額	2,625,000円
所管 上下水道局経営課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 1 項 1 目 60 説明 収益的支出	不用額	176,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.187)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>国（総務省）は、下水道事業を営む全ての地方公営企業に対して、中長期的な経営の基本計画である経営戦略（本市においては経営計画に相当）の策定並びに3年から5年以内の見直し及び改定を要請している。本事業は、令和6年度に計画の期限を迎える所沢市下水道事業経営計画について、国の技術的な助言に基づき、令和7年度から令和16年度までの10年間で新たな計画期間として改定を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>専門的な知識を有する外部業者に委託の上、現状分析及び将来の事業環境予測を行い、経営計画の根幹となる財政シミュレーションを作成した。本シミュレーション結果を踏まえ、令和5年度末に所沢市上下水道事業運営審議会での審議を実施した。</p> <p>○第2次所沢市下水道事業経営計画策定支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（3者）</li> <li>・委託先：株式会社日水コン 埼玉事務所</li> <li>・委託期間：令和5年8月29日～令和6年3月29日</li> <li>・委託金額：2,090,000円</li> <li>・内容：投資・財政計画（案）の作成</li> </ul>		

事務事業名 雨水貯留施設（雨水調整池）築造事業	予算現額	40,000,000円
	決算額	0円
所管 上下水道局下水道整備課	翌年度繰越額	39,749,600円
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 資本的支出	不用額	250,400円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.188)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>上新井四丁目地区について、効率的な浸水被害の軽減を目的として、既存管渠を利用し、一時的に雨水を貯留する施設（雨水調整池）を公園地下に築造するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○上新井地区雨水貯留施設詳細設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（8者）</li> <li>・委託先：株式会社NJS 関東事務所</li> <li>・委託期間：令和5年5月19日～令和6年4月30日</li> <li>・委託金額：39,749,600円</li> <li>・内容：詳細設計（上新井四丁目地内 1,400 m<sup>3</sup>）</li> </ul> <p>※本事業については、地方公営企業法第26条の規定による繰越額として39,749,600円を令和6年度に繰り越し、実施する。</p>		

事務事業名 雨天時浸入水対策事業	予算現額	311,823,000円
	決算額	252,390,704円
所 管 上下水道局窓口サービス課・下水道整備課・下水道維持課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 収益的支出・資本的支出	不用額	59,432,296円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.189)	前年度決算額	67,248,242円

<事業の目的・内容>

近年、下水道施設の老朽化に伴い、台風やゲリラ豪雨などの雨天時に、汚水管への雨水の流入を起因とした被害が多発していることから、汚水管への雨水の流入を抑制するため、汚水管の改築や雨水施設の設置等により、発生原因箇所への対策を行うとともに、汚水貯留施設等の築造により、流量の調整を行うものである。

<事業の実績・成果>

件 名	柳瀬川1号幹線管路施設調査業務委託	下安松地内下水道管路施設改築詳細設計業務委託	件 名	下安松地内下水管布設工事(令和4・5年度継続工事)
選定方法	指名競争入札(6者)	指名競争入札(6者)	選定方法	一般競争入札(7者)
委 託 先	株式会社オール	株式会社シーエスエンジニアズ	契 約 先	株式会社新光工業
委託期間	令和5年12月21日～令和6年3月22日	令和5年7月7日～令和6年3月15日	工 期	令和4年7月27日～令和6年2月29日
委託金額	19,470,000円	22,550,000円	契約金額	224,623,300円 (令和5年度支払額204,693,300円)
内 容	柳瀬川1号幹線の花園四丁目地内から並木一丁目地内までの管渠テレビカメラ調査 3,470m	令和6・7年度に実施予定工事の詳細設計(更生・布設替等延長727m、雨水取付管布設替等279か所)	内 容	下水管布設工事 令和5年度 903.9m

○外水道用栓の無料配布

- ・新たに排水設備を接続した家屋を対象として、汚水管への雨水の流入を防ぐために外水道用栓の無料配布を実施

事務事業名 下水道管渠布設事業	予算現額	3,299,035,400円
	決算額	2,542,571,232円
所 管 上下水道局下水道整備課	翌年度繰越額	650,357,529円
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 資本的収支	不用額	106,106,639円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.190) (R5-4 議案第126・127号 P.106)	前年度決算額	1,773,396,095円

<事業の目的・内容>

生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、第1次市街化調整区域下水道整備計画に基づく第4期整備事業として、整備区域の拡大を図るものである。あわせて、第2一般廃棄物最終処分場下水道整備事業として、環境クリーン部の依頼に基づき汚水管の布設を進める。

<事業の実績・成果>

○下水道管渠布設工事

- ・第4期整備事業に係る汚水管布設事業 工事：15件 延長：6,331.7m 整備面積：11.8ha
- ・第4期以外の汚水管布設事業 工事：2件 延長：124.8m
- ・第2一般廃棄物最終処分場下水道整備事業 工事：1件 延長：645.9m
- ・北秋津・上安松・若松町下水道整備事業 工事：2件 延長：830.4m
- ・雨水管布設事業 工事：1件 延長：46.3m

○北秋津・上安松・若松町地内新設汚水詳細設計業務委託(5-1)

- ・選定方法：指名競争入札(6者)
- ・委 託 先：株式会社日本水道設計社 さいたま営業所
- ・委託期間：令和5年5月17日～令和6年1月31日
- ・委託金額：19,800,000円

※本事業については、地方公営企業法第26条の規定による繰越額として650,357,529円を令和6年度に繰り越し、実施する。

事務事業名 下水道地震対策事業	予算現額	305,862,000円		
	決算額	290,375,800円		
所 管 上下水道局下水道整備課	翌年度繰越額	0円		
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 資本的収支	不用額	15,486,200円		
事業概要 (R5-1 議案第9~18号 P.191)	前年度決算額	163,567,800円		
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設している下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠やマンホール、調整池の耐震化を進めるものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道地震対策整備工事 (5-1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札(4者)</li> <li>・契約先：洋光建設株式会社</li> <li>・工期：令和5年10月6日～令和6年3月15日</li> <li>・契約金額：134,200,000円</li> <li>・内容：管渠222m(東町地内ほか)</li> </ul> </li> <li>○下水道耐震診断業務委託 (5-1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(8者)</li> <li>・委託先：株式会社日新技術コンサルタント 埼玉出張所</li> <li>・委託期間：令和5年6月14日～令和6年3月15日</li> <li>・委託金額：31,303,800円</li> <li>・内容：管路施設耐震診断調査(市内約15,077m)</li> </ul> </li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道地震対策詳細設計業務委託 (5-1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(6者)</li> <li>・委託先：株式会社日本水工コンサルタント 所沢営業所</li> <li>・委託期間：令和5年9月15日～令和6年3月22日</li> <li>・委託金額：13,300,100円</li> <li>・内容：詳細設計(北有楽町地内 352.6m)</li> </ul> </li> </ul> </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道地震対策整備工事 (5-1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札(4者)</li> <li>・契約先：洋光建設株式会社</li> <li>・工期：令和5年10月6日～令和6年3月15日</li> <li>・契約金額：134,200,000円</li> <li>・内容：管渠222m(東町地内ほか)</li> </ul> </li> <li>○下水道耐震診断業務委託 (5-1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(8者)</li> <li>・委託先：株式会社日新技術コンサルタント 埼玉出張所</li> <li>・委託期間：令和5年6月14日～令和6年3月15日</li> <li>・委託金額：31,303,800円</li> <li>・内容：管路施設耐震診断調査(市内約15,077m)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道地震対策詳細設計業務委託 (5-1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(6者)</li> <li>・委託先：株式会社日本水工コンサルタント 所沢営業所</li> <li>・委託期間：令和5年9月15日～令和6年3月22日</li> <li>・委託金額：13,300,100円</li> <li>・内容：詳細設計(北有楽町地内 352.6m)</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道地震対策整備工事 (5-1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札(4者)</li> <li>・契約先：洋光建設株式会社</li> <li>・工期：令和5年10月6日～令和6年3月15日</li> <li>・契約金額：134,200,000円</li> <li>・内容：管渠222m(東町地内ほか)</li> </ul> </li> <li>○下水道耐震診断業務委託 (5-1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(8者)</li> <li>・委託先：株式会社日新技術コンサルタント 埼玉出張所</li> <li>・委託期間：令和5年6月14日～令和6年3月15日</li> <li>・委託金額：31,303,800円</li> <li>・内容：管路施設耐震診断調査(市内約15,077m)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道地震対策詳細設計業務委託 (5-1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(6者)</li> <li>・委託先：株式会社日本水工コンサルタント 所沢営業所</li> <li>・委託期間：令和5年9月15日～令和6年3月22日</li> <li>・委託金額：13,300,100円</li> <li>・内容：詳細設計(北有楽町地内 352.6m)</li> </ul> </li> </ul>			



# 令和5年度所沢市病院事業会計決算表

## 1. 収入

### 収益的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額			決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 算 現 額			
1	病院事業収益	2,089,504	0	2,089,504	2,050,846	△ 38,658	98.1
	01 医業収益	1,596,873	0	1,596,873	1,551,259	△ 45,614	97.1
	02 医業外収益	492,621	0	492,621	499,553	6,932	101.4
	03 特別利益	10	0	10	34	24	340.0

### 資本的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額			決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 算 現 額			
1	資本的収入	0	0	0	0	0	—

## 2. 支出

収益的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	法第26条 第2項の規定 による繰越額	不 用 額
		当初 予算額	補正 予算額	予備費 支出額	流用増減額	予算現額				
1	病院事業費	2,294,117	0	0	0	2,294,117	1,913,570	83.4	0	380,547
	01 医業費用	2,238,287	0	0	0	2,238,287	1,864,051	83.3	0	374,236
	02 医業外費用	51,775	0	0	0	51,775	45,767	88.4	0	6,008
	03 特別損失	4,000	0	0	0	4,000	3,752	93.8	0	248
	04 予備費	55	0	0	0	55	0	0.0	0	55

資本的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額						決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	翌年度繰越額		不 用 額
		当初 予算額	補正 予算額	流用増減額	法第26条 の規定による 繰越額	継続費 通次 繰越額	予算現額			法第26条 の規定による 繰越額	継続費 通次 繰越額	
1	資本的支出	70,613	0	0	0	0	70,613	60,816	86.1	0	0	9,797
	01 建設改良費	31,146	0	0	0	0	31,146	26,849	86.2	0	0	4,297
	02 企業債償還金	33,967	0	0	0	0	33,967	33,967	100.0	0	0	0
	03 予備費	5,500	0	0	0	0	5,500	0	0.0	0	0	5,500

## 病 院 事 業 会 計

---

病院事業の決算については次のとおりである。

令和5年度の収益的収入については、病院事業収益が19億9,968万1,679円（税込額20億5,084万5,533円）となり、前年度に比べ4.2%の減少となった。このうち医業収益は15億37万4,732円（税込額15億5,125万9,221円）で前年度に比べ5.1%の増加、医業外収益は4億9,927万3,298円（税込額4億9,955万2,663円）で前年度に比べ21.5%の減少となり、特別利益は、3万3,649円となった。

一方、支出については、病院事業費が18億5,554万7,811円（税込額19億1,356万9,781円）となり、前年度に比べ1.5%の減少となった。このうち医業費用は18億602万9,496円（税込額18億6,405万1,466円）で前年度に比べ1.3%の減少、医業外費用は4,576万6,813円（税込額同額）で前年度に比べ10.8%の減少となり、特別損失は375万1,502円となった。

以上の結果、当年度純利益1億4,413万3,868円を計上した。

令和5年度の資本的収支については、資本的収入は0円、資本的支出は5,930万2,237円（税込額6,081万5,945円）となった。

このうち建設改良費は2,533万5,444円（税込額2,684万9,152円）、企業債償還金は3,396万6,793円となった。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金5,930万2,237円及び当年度分消費税資本的収支調整額151万3,708円で補てんした。

## 市民医療センター

---

- (1) 令和3年度に策定した所沢市市民医療センター再整備基本構想を具体化するために、事業実施のための指針となる所沢市市民医療センター再整備基本計画を策定した。また、総務省から令和3年度末に示された公立病院経営強化ガイドラインに基づき、所沢市市民医療センター経営強化プランを策定した。
- (2) 安心して子育てができる医療環境を整備するため、関係医療機関と連携しながら、所沢市域全体で365日の小児初期救急医療体制が維持できるよう努め、小児夜間2,851人、小児深夜1,311人、休日急患5,328人、延べ9,490人を診察した。
- (3) 外来での診療後に入院が必要と判断された患者のほか、市内かかりつけ医からの紹介患者や救急搬送患者、民間病院での受入れが困難な患者などについて、入院の受入れを行い、住民が地域で適切な医療が受けられる環境を整備した(急性期一般病床8,582人、地域包括ケア病床3,359人)。
- (4) 本市の保健医療の向上及び健康維持・増進のため、人間ドック検診9,176人、生活習慣病検診847人、指定検診20,637人、特定健診973人、合計31,633人の健康診査を実施した。
- (5) 一般内科のほかに循環器内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、小児科、放射線科を診療科目として標ぼうしている。また、糖尿病外来や夜尿症外来などの専門外来診療や、一般健康診断、各種予防接種なども実施し、医療サービスの充実を図った(内科外来19,145人、二次救急105人、小児科外来27,448人)。

事務事業名 所沢市市民医療センター再整備基本計画・経営強化プラン策定事業	予算現額	16,058,000円
	決算額	16,012,000円
所 管 市民医療センター	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 項 目 説明	不用額	46,000円
事業概要 (R5-1 議案第9～18号 P.193)	前年度決算額	13,277,000円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>令和3年度に策定した所沢市市民医療センター再整備基本構想を具体化するために、令和4年度から5年度の2か年で、担うべき医療機能、機能に沿った施設整備や経営形態等について検討し、再整備基本計画を策定するものである。</p> <p>また、令和4年3月に総務省から示された持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインに基づき、役割・機能の最適化と連携の強化、医師・看護師等の確保と働き方改革、新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組などを盛り込んだ経営強化プランを策定するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○庁内検討組織による検討、所沢市市民医療センター運営委員会からの意見聴取、市民説明会の開催</li> <li>○パブリックコメント手続の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・再整備基本計画 実施期間：令和5年11月21日～12月20日 意見数：11件</li> <li>・経営強化プラン 実施期間：令和6年1月16日～2月14日 意見数：16件</li> </ul> </li> <li>○所沢市市民医療センター再整備基本計画・経営強化プラン策定支援業務委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：プロポーザル方式（5者） ・委託先：株式会社病院システム</li> <li>・委託期間：令和4年6月9日～令和6年3月31日</li> <li>・委託金額：29,205,000円（令和5年度支払額15,928,000円）</li> <li>・内 容：基礎調査、部門計画、再整備基本計画（案）及び経営強化プラン（案）の策定支援</li> </ul> </li> </ul>		